

虎娃少女
PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA

WHICH WOULD BE AN INCIDENT
WHICH WOULD BE THE BEGINNING

おりこ★マギカ

1



虎娃少女
PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA

おりこ★マギカ 1



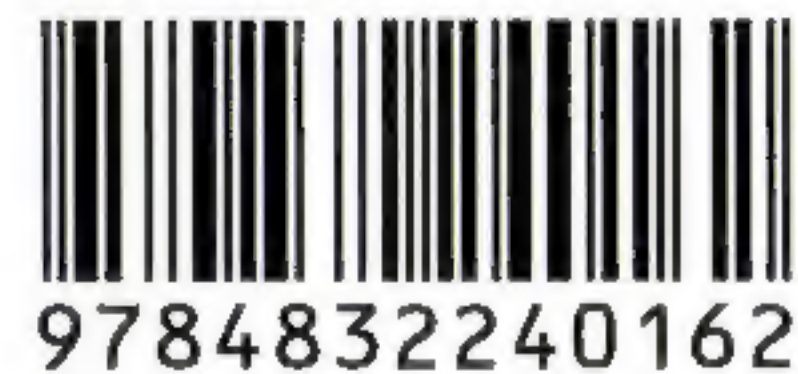
原案 ● Magica Quartet
漫画 ● ムラ黒江

芳文社

原案 ● Magica Quartet
漫画 ● ムラ黒江

©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Partners・MBS

MANGA TIME
KR
COMICS



ISBN978-4-8322-4016-2

C9979 ¥657E



雑誌 52205-21

定価：本体657円+税

孤高の戦いにあけくれる佐倉杏子、
正義を胸に見滝原市を守る巴マミ、
静かに鹿目まどかに寄り添う晓美はむら。
交わることのないはずの三人の
魔法少女としての戦いが、
「魔法少女狩り」という事件を中心に
一本の物語を紡ぎ出す。
それは、彼女たちの運命を変えてしまうような事件——
それは、もうひとつの魔法少女物語の始まり——



PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA

WHICH WOULD BE AN INCIDENT
THAT WOULD CHANGE HER DESTINY—
WHICH WOULD BE THE BEGINNING OF
A WHOLE ANOTHER MAGICAL-GIRL TALE—

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA

Presented by Mura Kuzne / Based on the story by Magica Quartet
Published by HOUBUNSHA

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA

VOLUME ONE

WHICH WOULD BE, AN INCIDENT THAT WOULD CHANGE HER DESTINY —
WHICH WOULD BE, THE BEGINNING OF A WHOLE ANOTHER MAGICAL-GIRL TALE —

MANGA TIME
KR
COMICS

魔法少女おりん★マジカ 1

PUELLA
MAGI
ORIKO
MAGICA

原作 ● Magica Quartet 漫画 ● ムラカミ 芳文社

芳文社

Presented by Mura Kuree
Based on the story by Magica Quartet
Illustrated by MURAKAMI

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA

1

© Magica Quartet / Aniplex・Madoka Partners・MBS



原案・Magica Quartet 漫画・ムラ黒江

虎咩少女
PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA

おりこマジカ 1

第 1 話

魔法少女になろうなんて考えるな

003

第 2 話

泣いてなんかないよ

045

第 3 話

愛は無限に有限なんだ

087

PUELLA MAGI
ORIKO MAGICA

VOLUME ONE

WHICH WOULD BE, AN INCIDENT THAT WOULD CHANGE HER DESTINY —
WHICH WOULD BE, THE BEGINNING OF A WHOLE ANOTHER MAGICAL-GIRL TALE —



第1話

魔法少女になろううなんで考えるな

さあ

キミの魔法を

チカラ

試してごらん





あ

願いは
叶ったかい？

ああ……





あれは
誰にも
倒せない

あれを
解き放つては

いけない



どうしたん
だい 織莉子?

顔が真っ青だよ
具合でも
悪いのかい?



どうすれば
あれを阻止
出来る!!




私の魔法は

貴方の役にも立つみたい



キユウベえ
いいお知らせよ



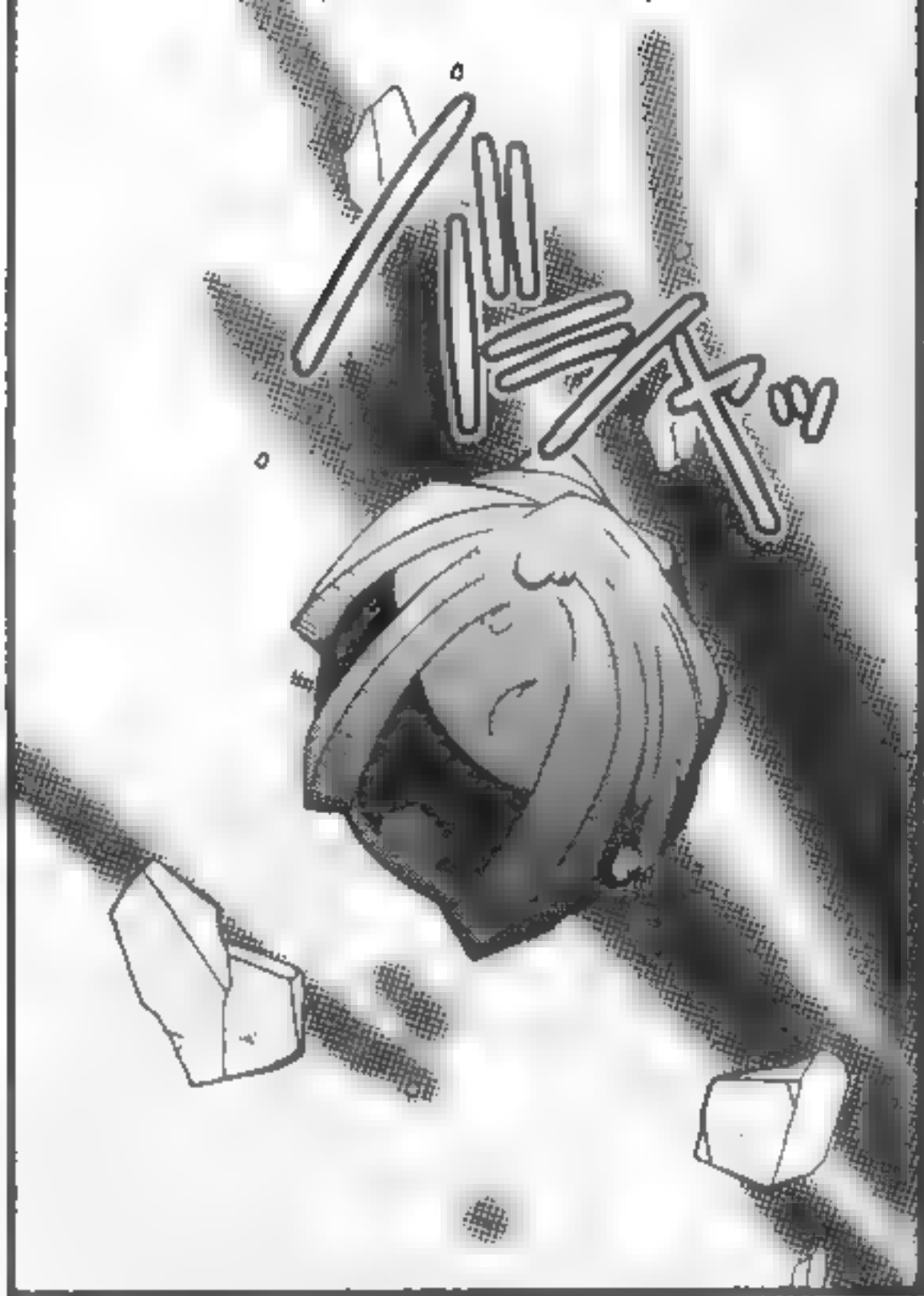
貴方にとって
とてもいい

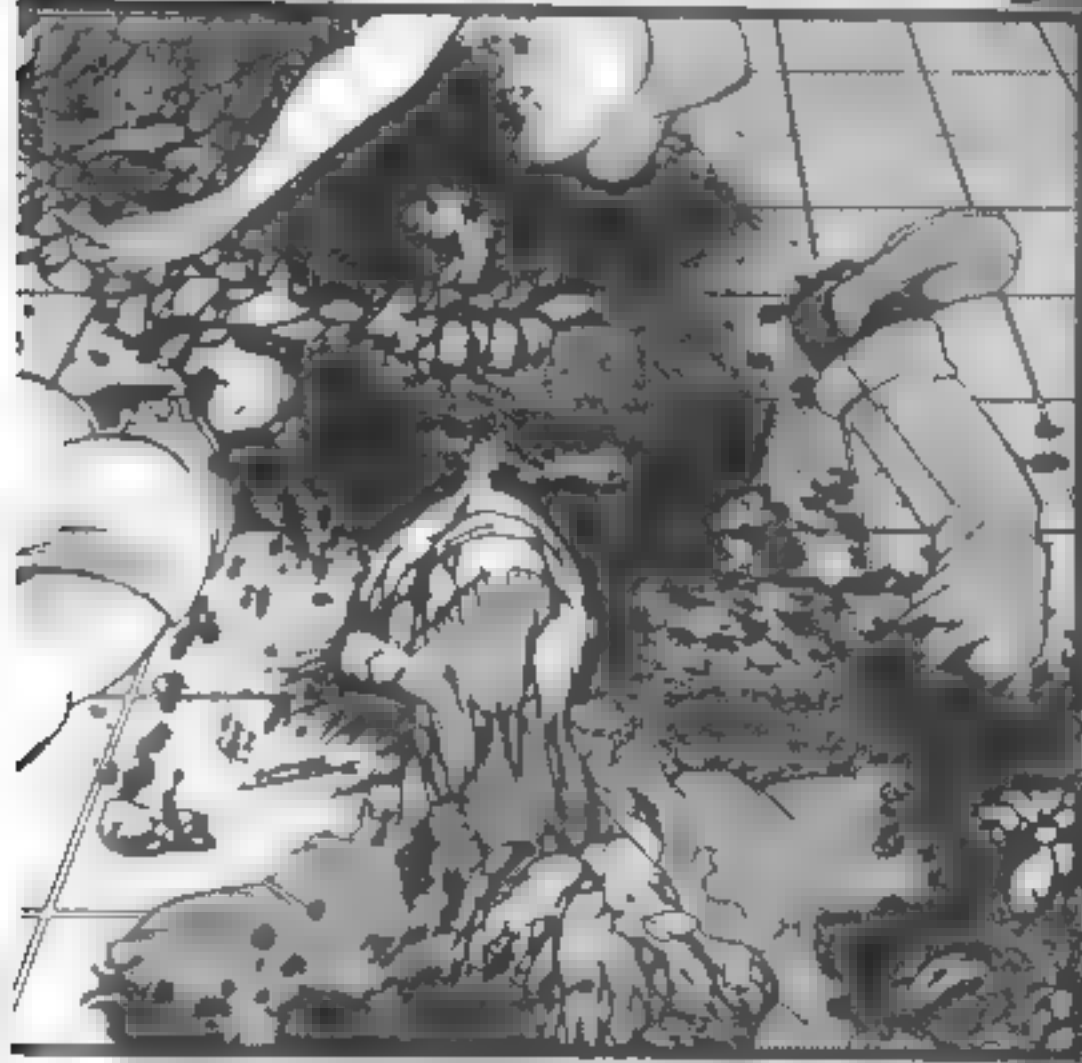
魔法少女の
素体がいるようよ



へえ…

それは
楽しみ
だね

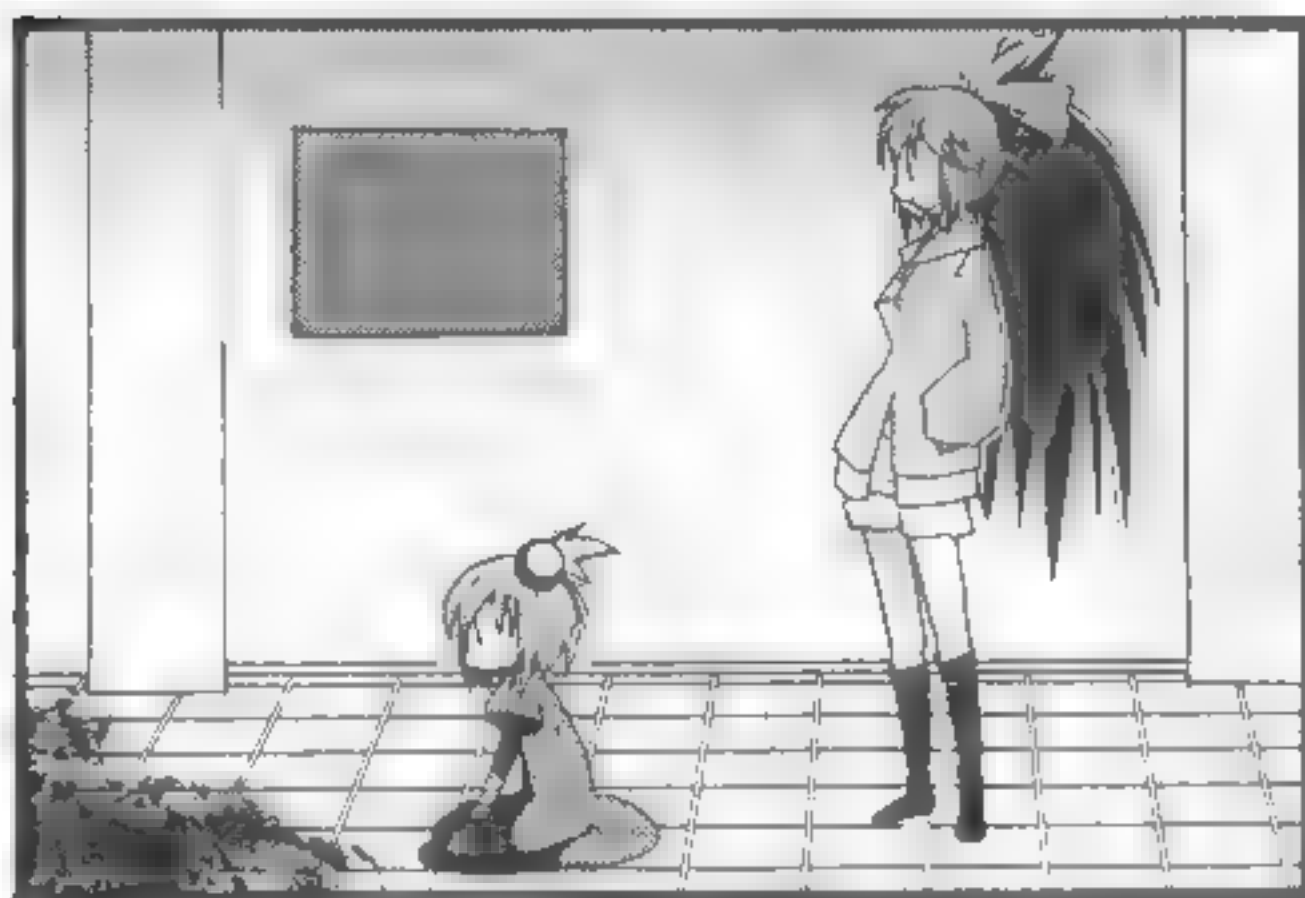






災難だったね

でも現実なんて
こんなもんさ
震えたって泣いたって
死んだ両親は
帰ってこないよ

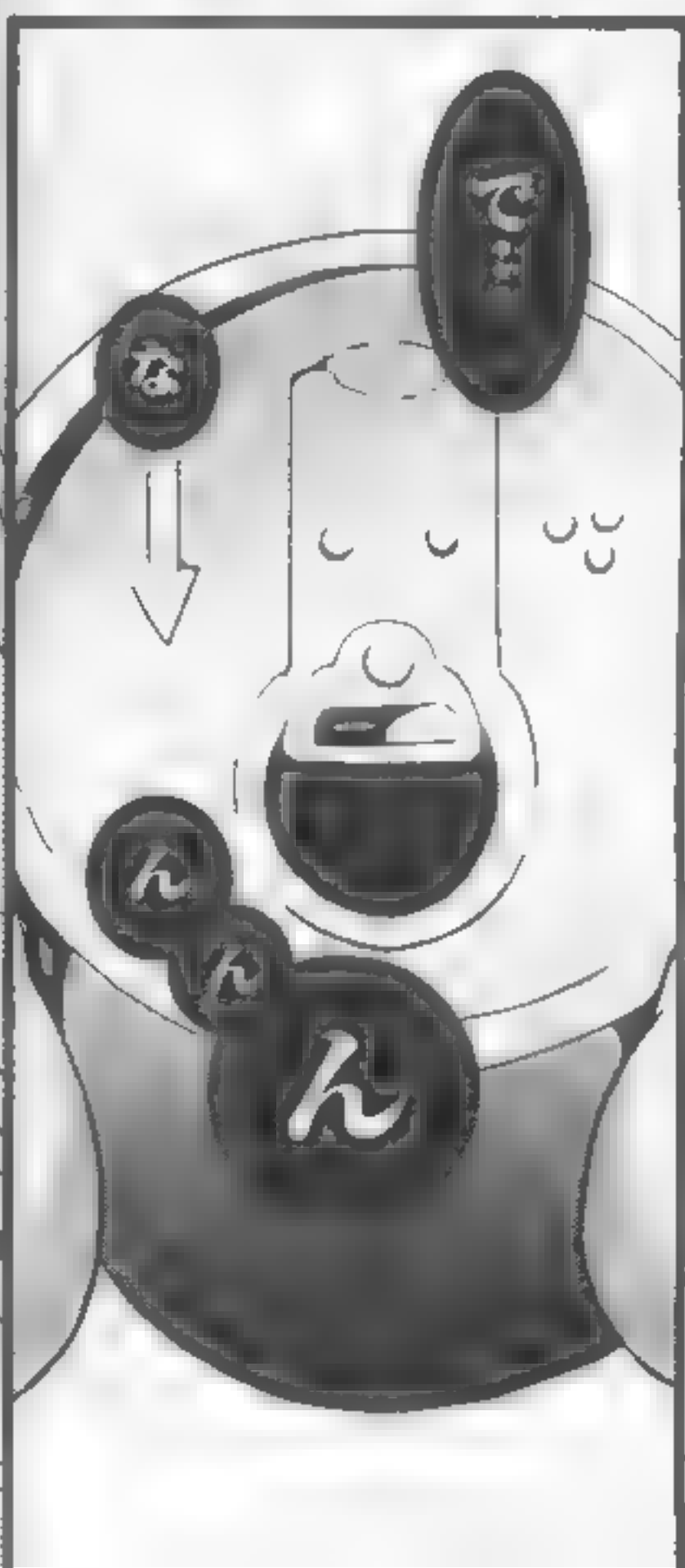


生き残った
幸運に感謝
するんだね











すごーい

へんなお花が
咲いてるー



パパとママは
どこだろ…



ひはっ

ひ…
ひいいたい

たず…
け…



ママ？



おまえの
両親を
殺したのは

魔女っていう
化けモンさ



まじよ
……?



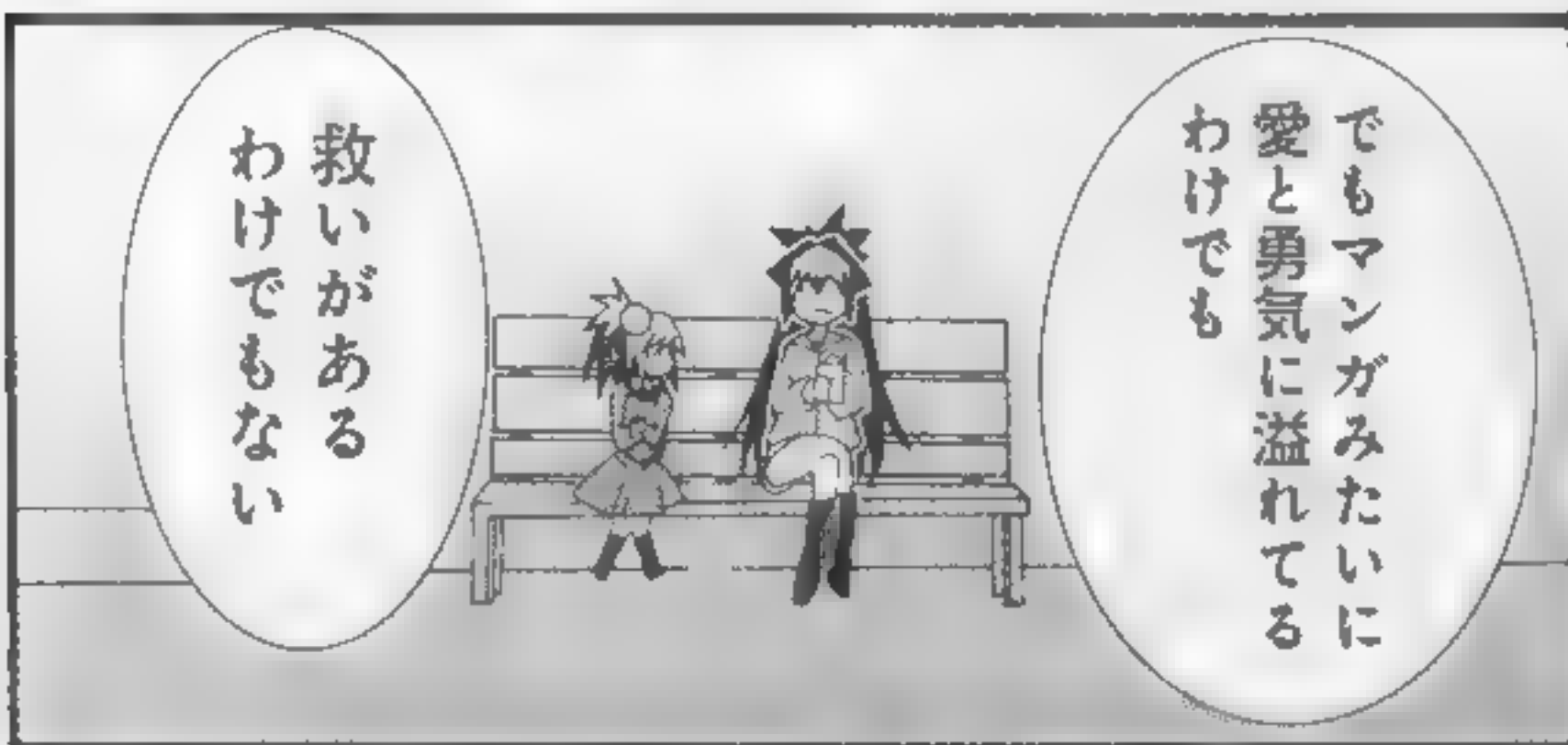
魔法少女
ってやつ

それであたしは
それと戦う



まるでマンガ
みたいだろ？

……！



でもマンガみたい
に愛と勇気に溢れて
るわけでも

救いがある
わけでもない



居なくなっちゃった
家族も戻って
きやしないし





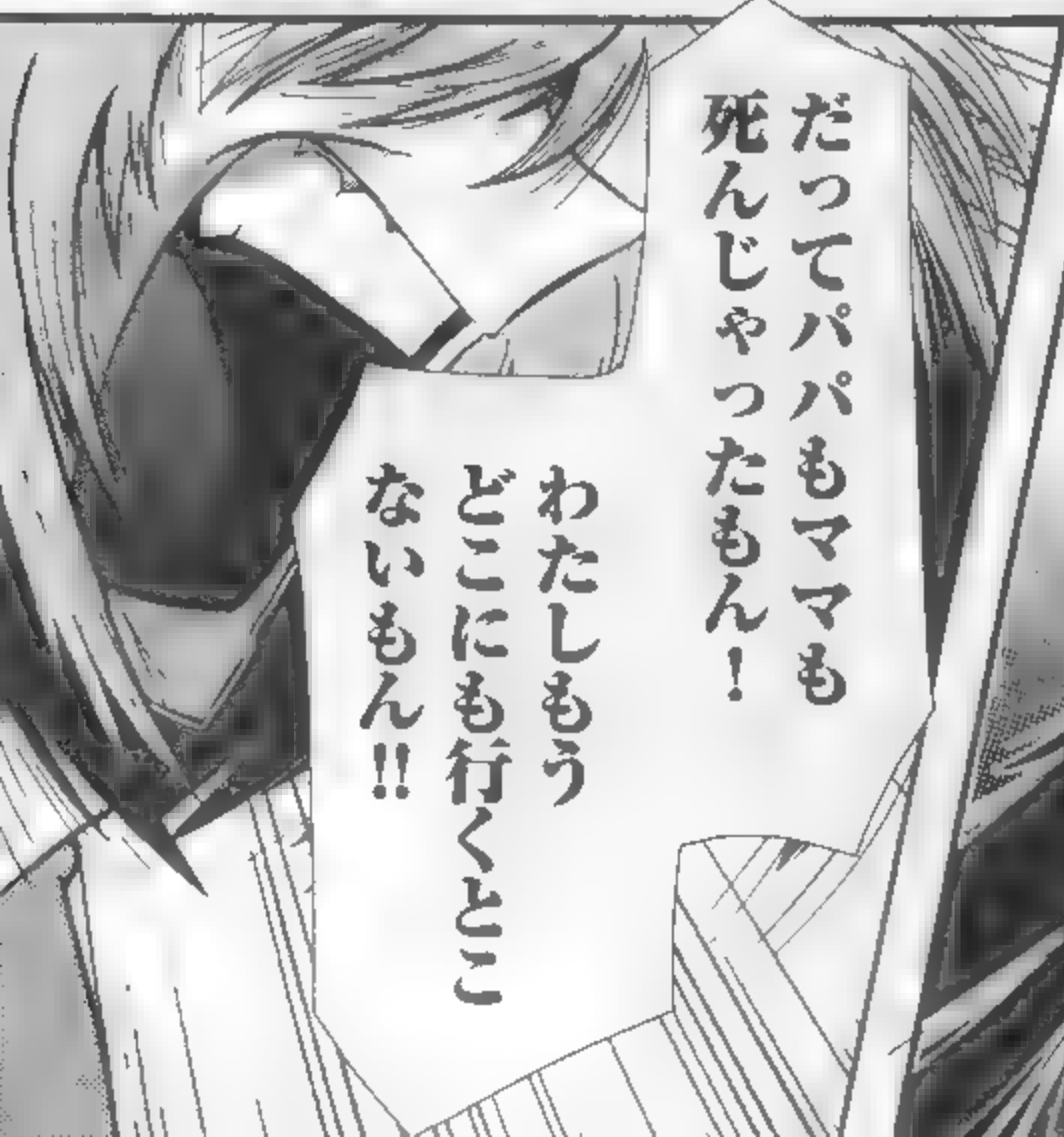
はあ？

わたしも
魔法少女になって
魔女と戦いたい！



じゃあ

わたしも
戦えるかな



だってパパもママも
死んじゃったもん！

わたしもう
どこにも行くところ
ないもん！！



くだらないこと
言ってるじゃ
ねえよ……！



ねえ！
どうしたら
魔法少女に
なれるの!?

わたし
何だってやるよ！

…甘ったれるな



同じ命を
懸けるなら

まっすぐに生きる
ことに懸けな



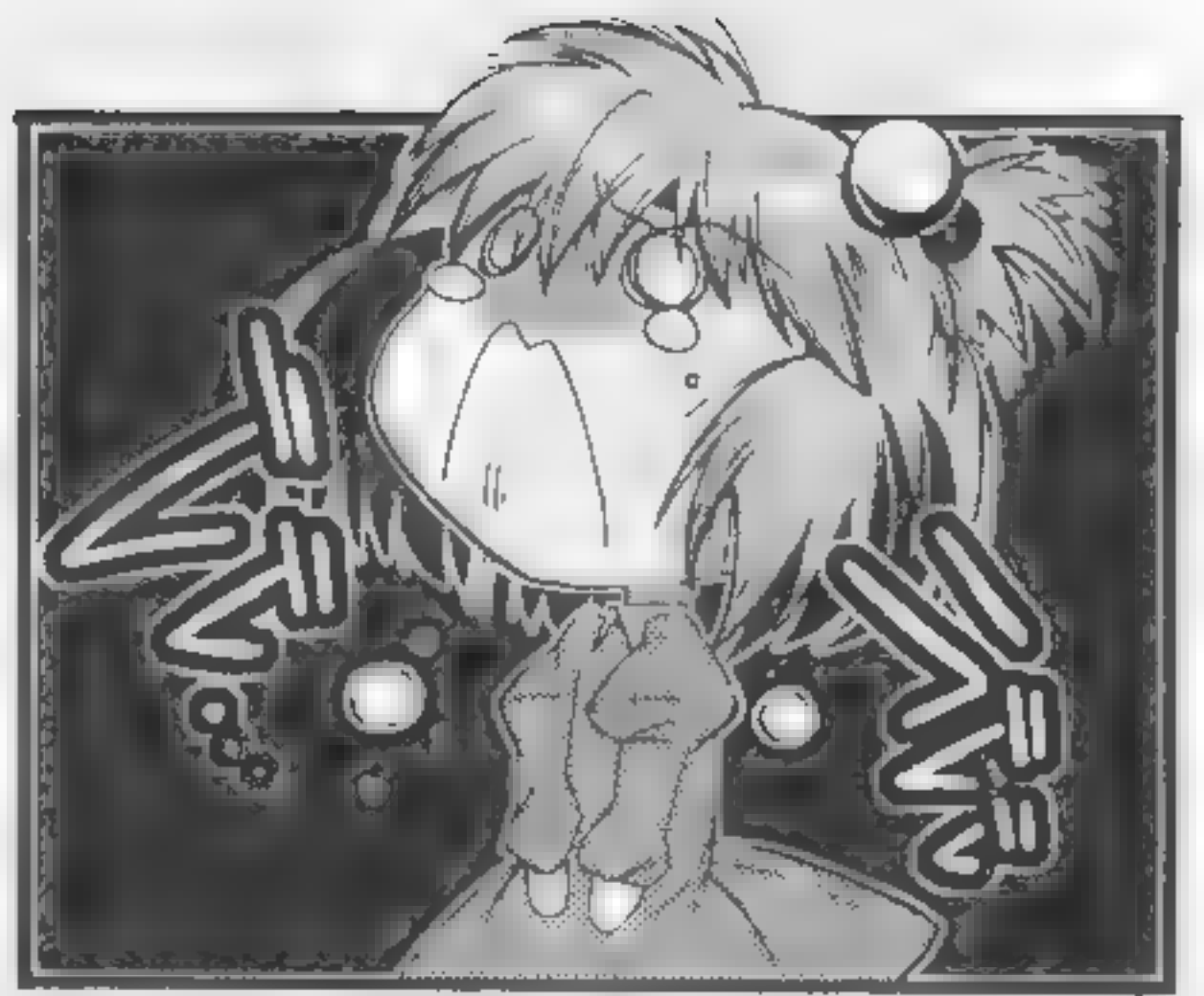
文字通り
命懸けなんだよ



でも…
だって…
わたし
ひとりじゃ

だって
だって…





……まったくマジで
しょーがない
ガキだね

いいか
よく聞け

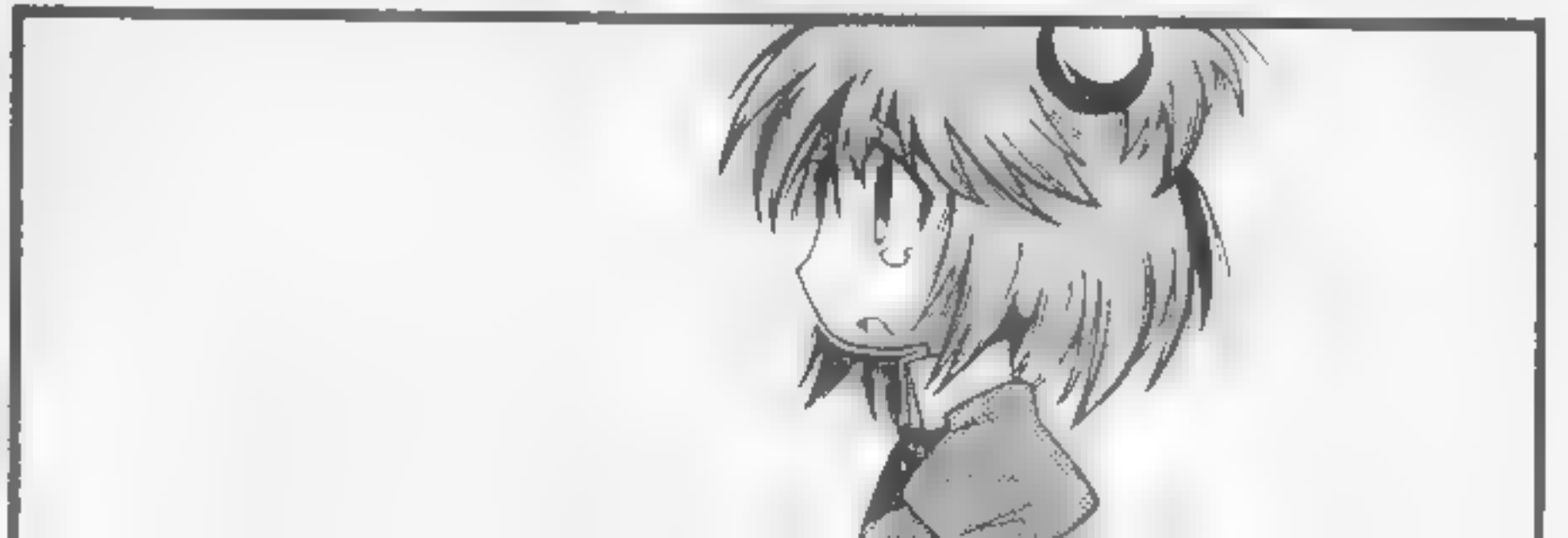


佐倉杏子だ

あたしは
「おねえちゃん」
じゃない

キョーコ？

ああ
一人で生きる術なら
あたしが教えてやるよ



きやはは
はは

おい
走るな！

ゆま
ホテル
初めて！

わあい！
すごいすごい

ふかふかつ

まだ寝るには
早いだろ

ひと仕事
するぞ

ひっくひっく
ぐすっ…

ママあ
どこー？

ぐすっ

あらあら
どうしたの
迷子？

うえーん
うえーん

どこから来たのかな
泣いてたら
わからないわよー



ばっか！
こっち見るなよ
バレるだろ？

う…うん…

うん



わーい
気持ちいいね！
キョーコ！

あんまり騒ぐなよ
目付けられるからな

いいか
この時間が
フロに忍び込む
いい時間なんだ



これ
きらい

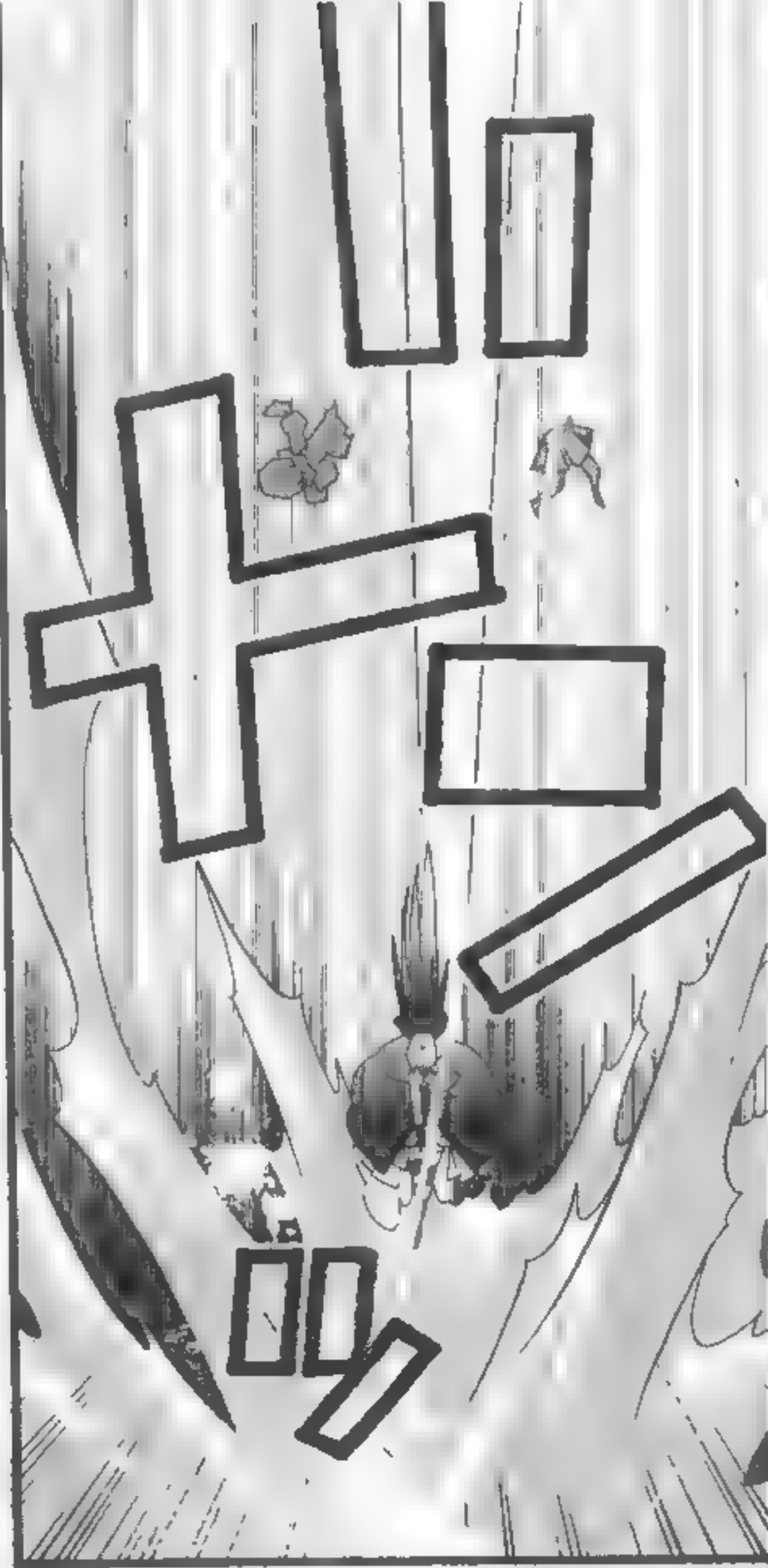
















話したくなけりや
訊かないけどな



.....
.....
.....



わたし
ほんとには
パパもママも
好きじゃ
なかった



パパとママは
けんかばかり

パパは家に全然
いないし

ママはゆまに
いじわるするの

パパが
帰って
こないって

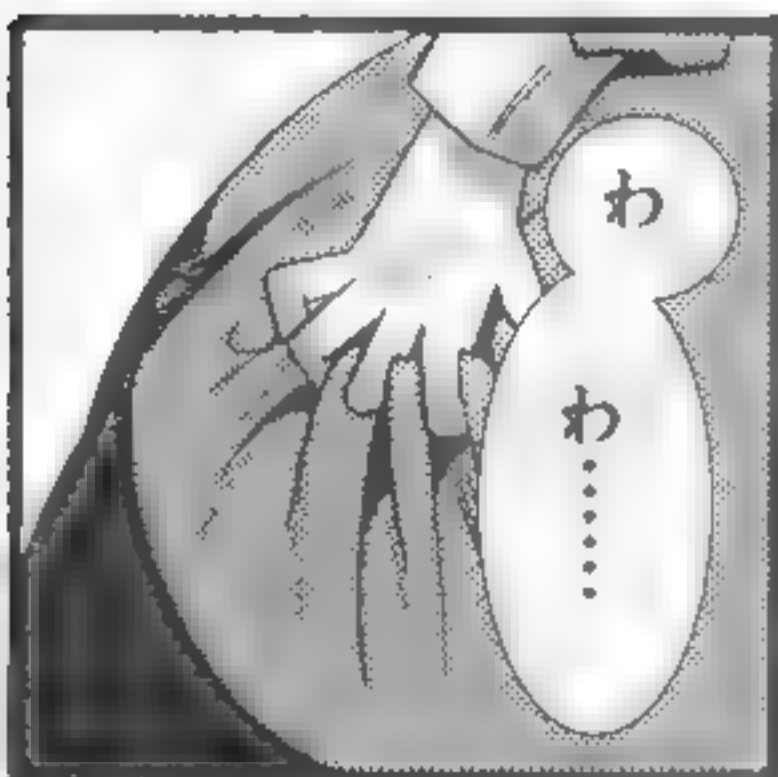
パパが

おそとに遊びに
いっちゃうのは

ゆまがかわいくない
せいだって

せちがらい
ねえ...

すごく
いじわるするの





ねえ！キヨコは
なんで魔女と
戦ってるの！

それしかやること
がないからだよ

キヨコが
強いのは
魔法少女
だから？



ゆまが
いじめられるのは



ゆまが
弱いから



ゆまを
すてちゃうんだ



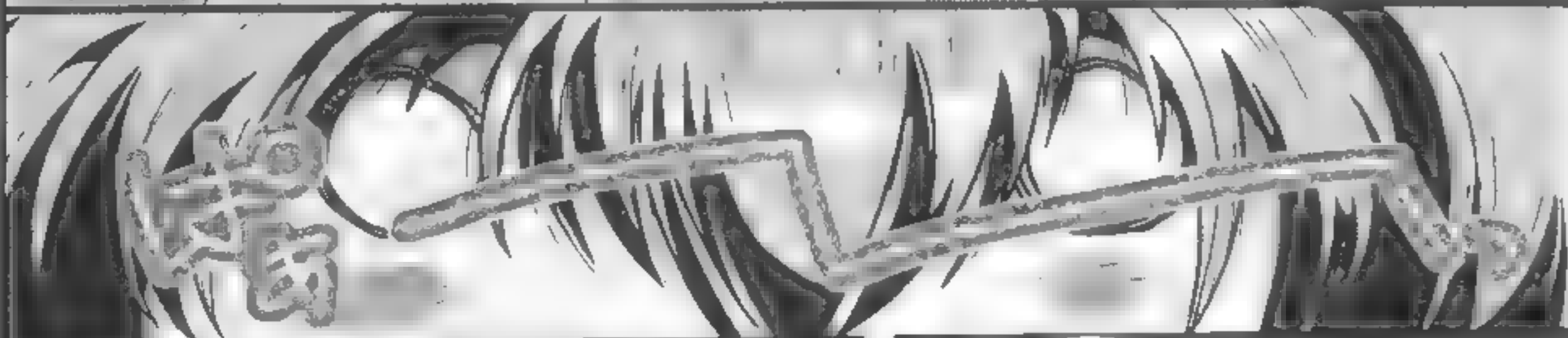
ねえ！

友達は？
学校は？

ゴチャゴチャ
言ってるで…

魔法少女って
ほかにいるの？

いるよ





さっきも言ったけど
キミも魔法少女に
なることはできるよ



ほんと？

わたしもキョーコ
みたいになれるの!?



本当だよそれに
魔法少女になれば――



それ以上
ガキに余計なこと
吹き込むんじゃ
ねえよ



ふーん

…ふーん
杏子にしては
珍しいね



いや

やったのは
別の魔法少女
だね



ああどうやら
やられちゃった
みたいだよ



うぜえ！

それより
この街の魔法少女は
どこいっちゃったんだ？



…へえ



やられた…って
魔女にか？



さあ？
それはボクにも
わからない

まあグリーンフィードは
限られているわけだし
想定できないことでは
ないだろう？



で？
ソイツ
一体犯人
何モンだ？



杏子
キミもせいぜい
気をつけてね

...

まあボクは
いざとなったら
そっちの――



!



オイッ!



はいはい


ふふふ











貴方の望んだものが
創られるのだから！

魔法少女

PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA

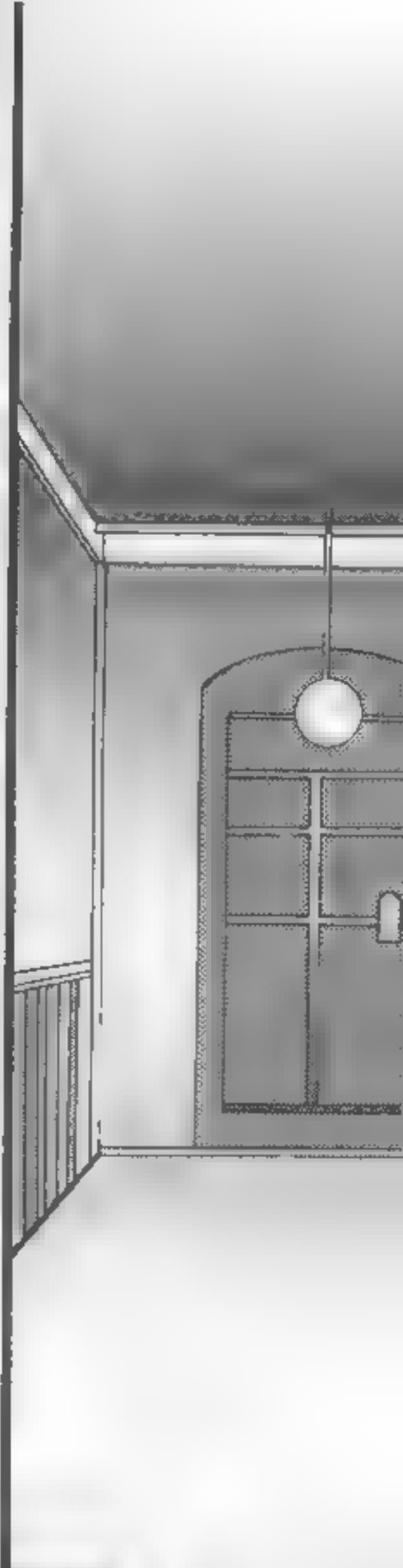
おりこマジカ

© 2013 Aniplex • Madoka Partners • MBS

第2話

泣いてなんかないよ







キユウベえは
なんでゆまに
目をつけたんだ？



織莉子の
言うとおりに

織莉子ってのは
何者だ？



魔法少女狩りつてのも
気にはなるし

○
なんだか妙なことに
なってきたな



いざとなったら
そっちの…

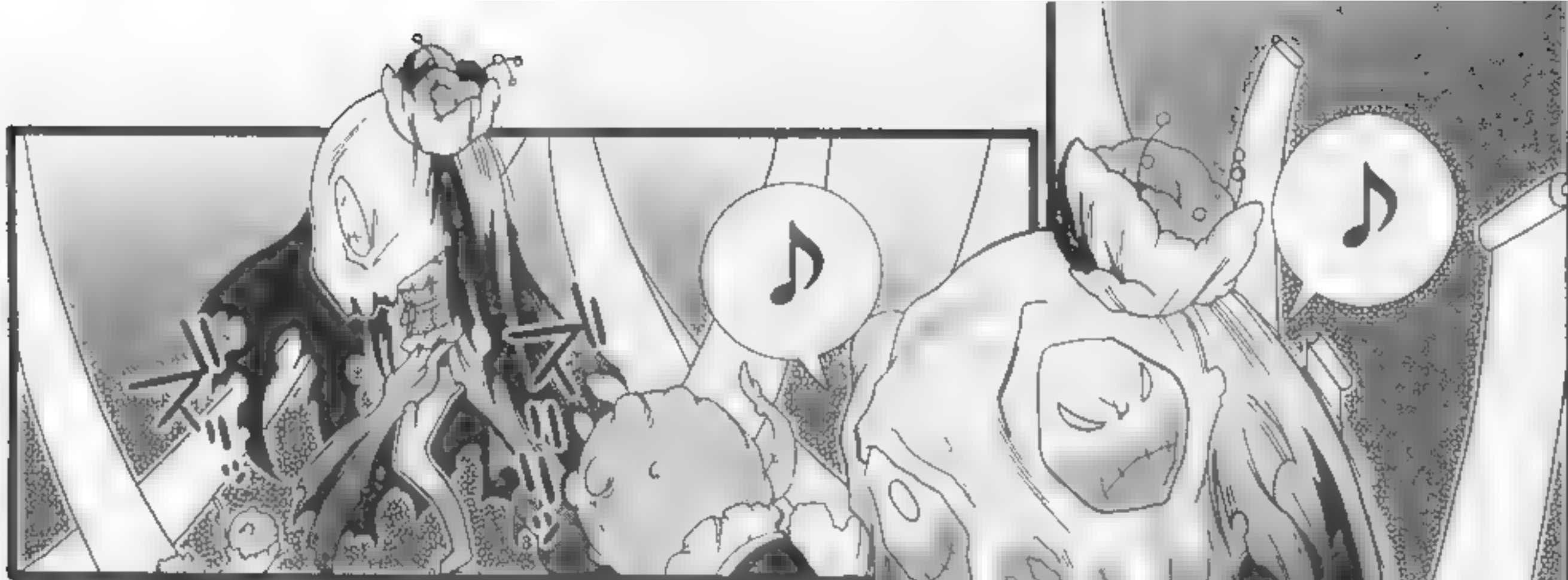


…やっぱり

関わるべきじゃ
なかったか

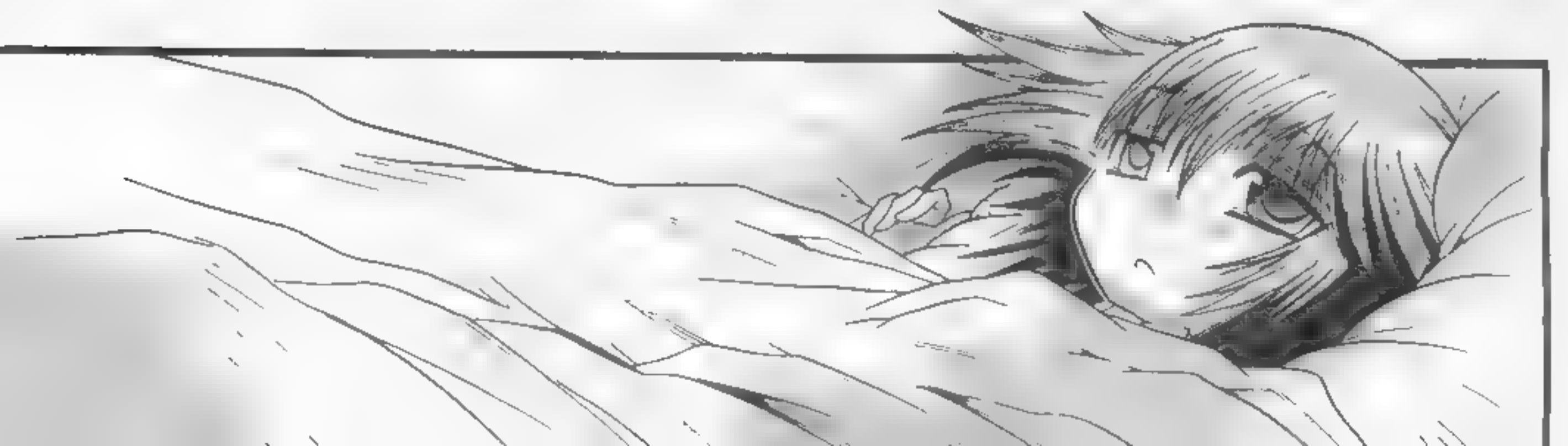
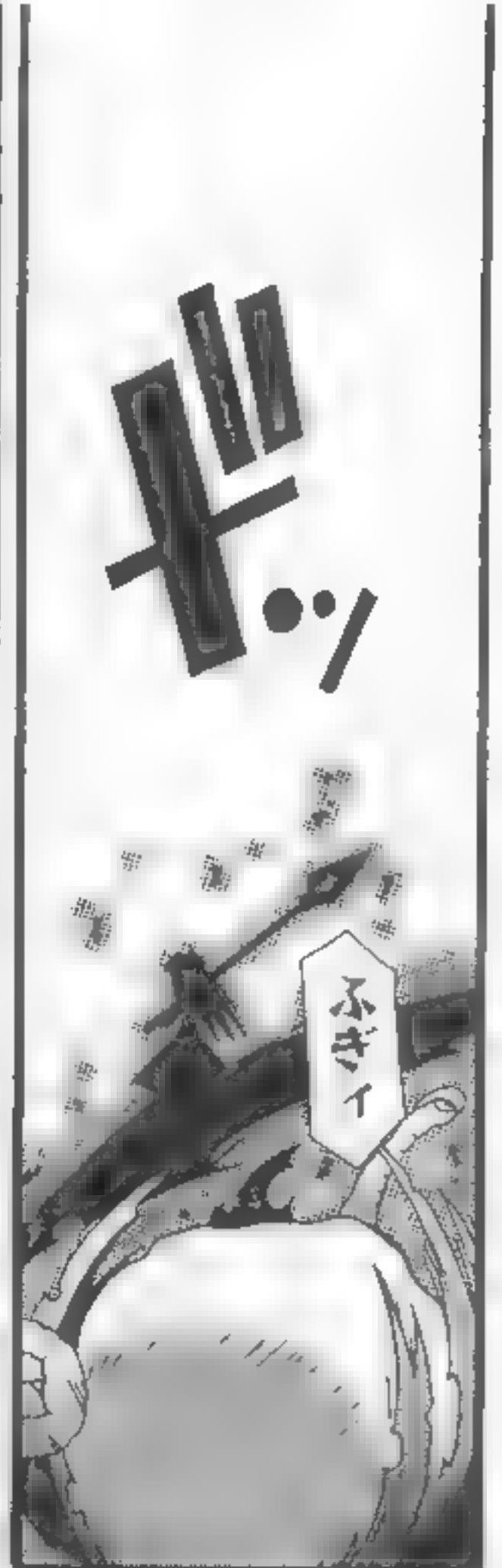












う？

キョーコ……？

キョーコ
どこ？

どこに
いっちゃったの？

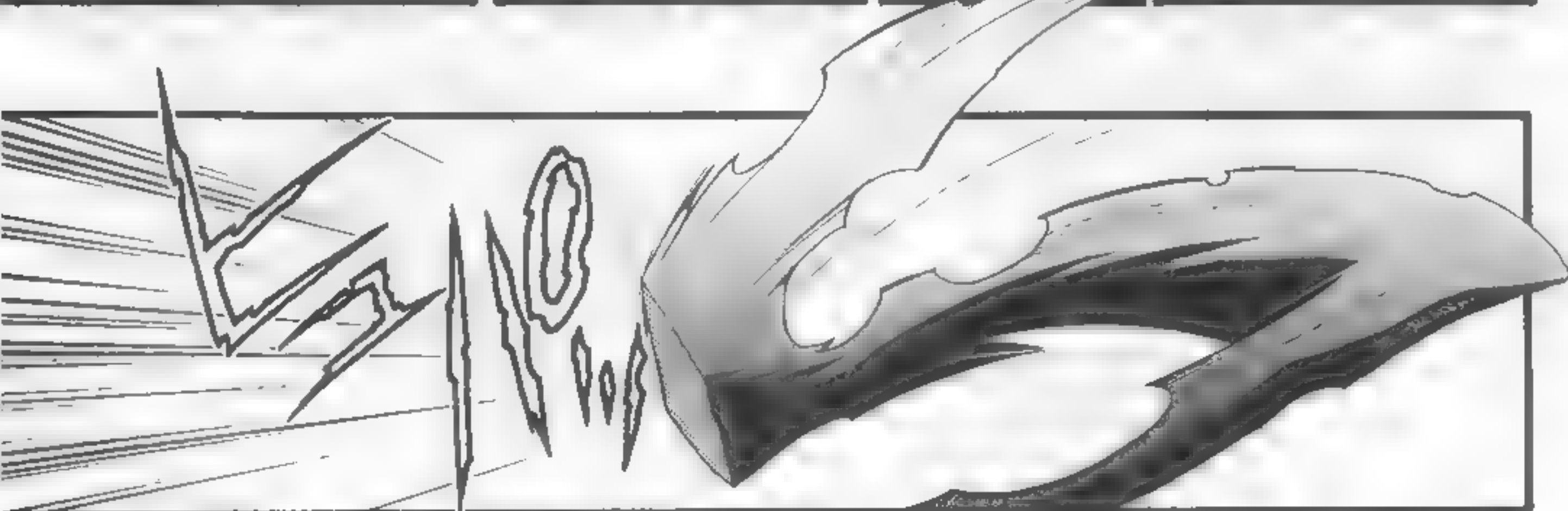
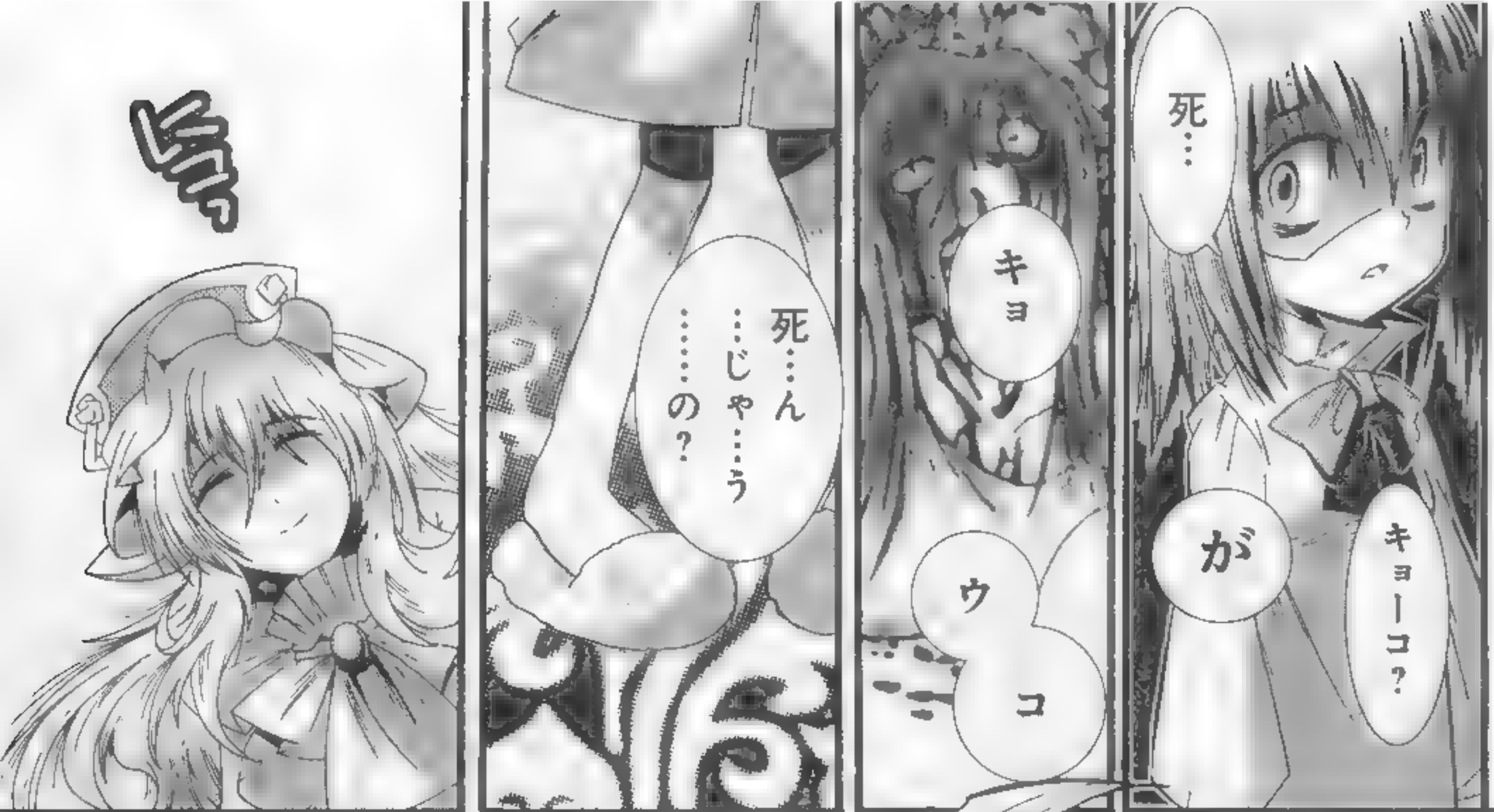
まきろ

佐倉杏子

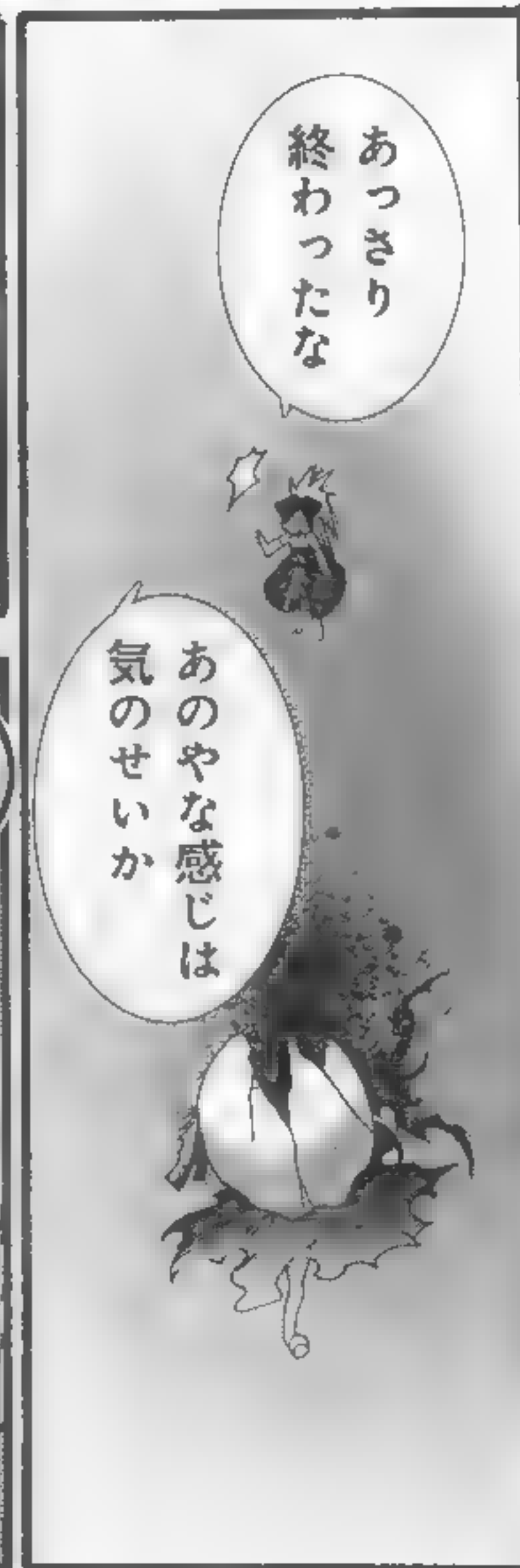
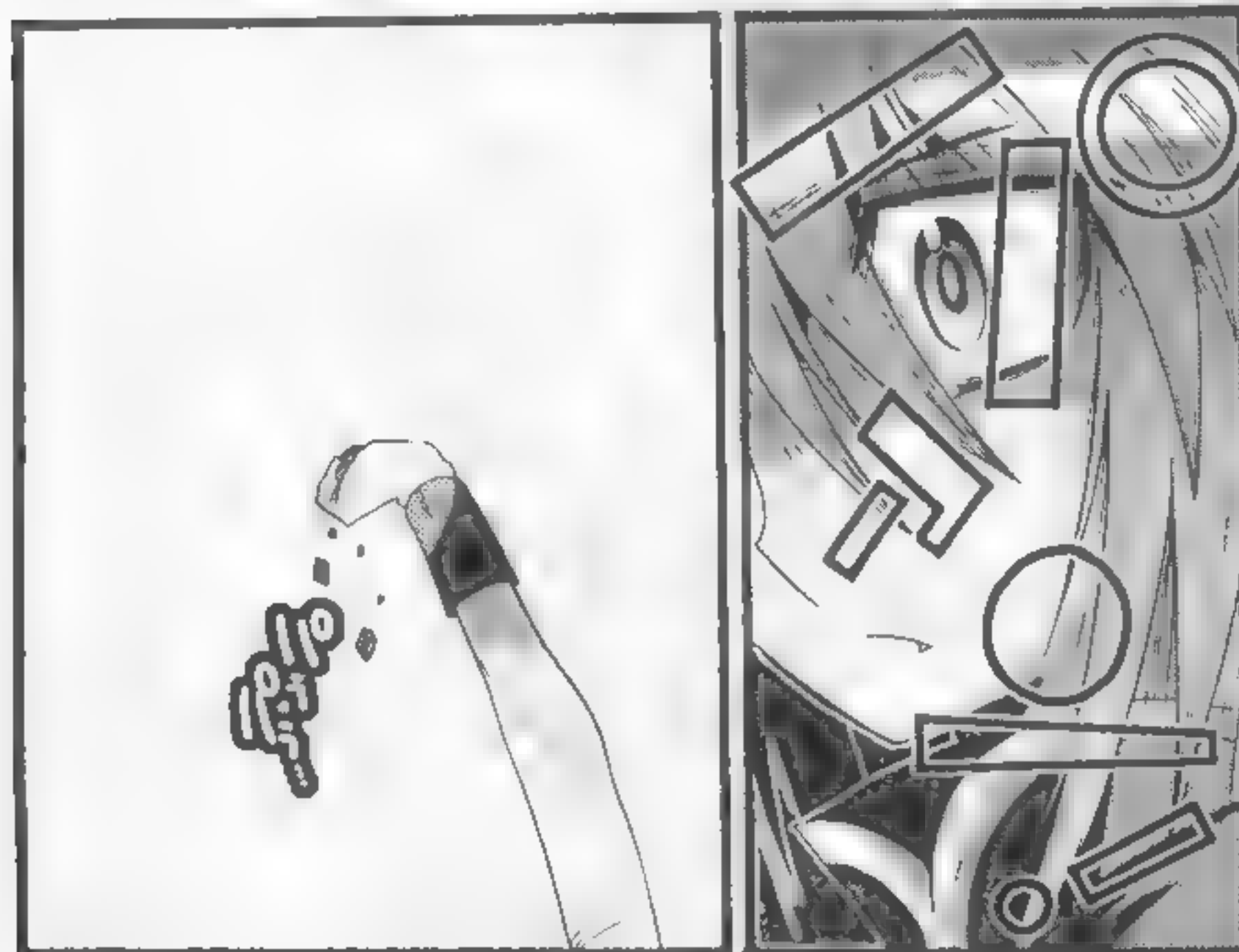
彼女はまだ
現世にいるのかしら

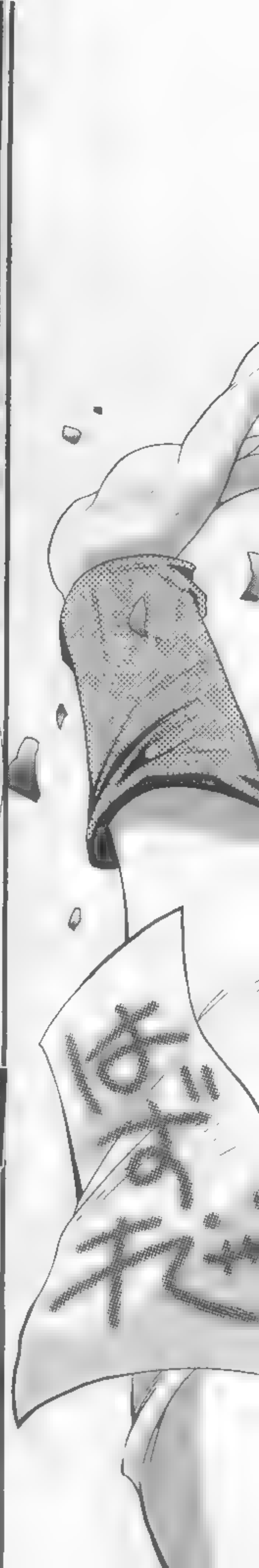
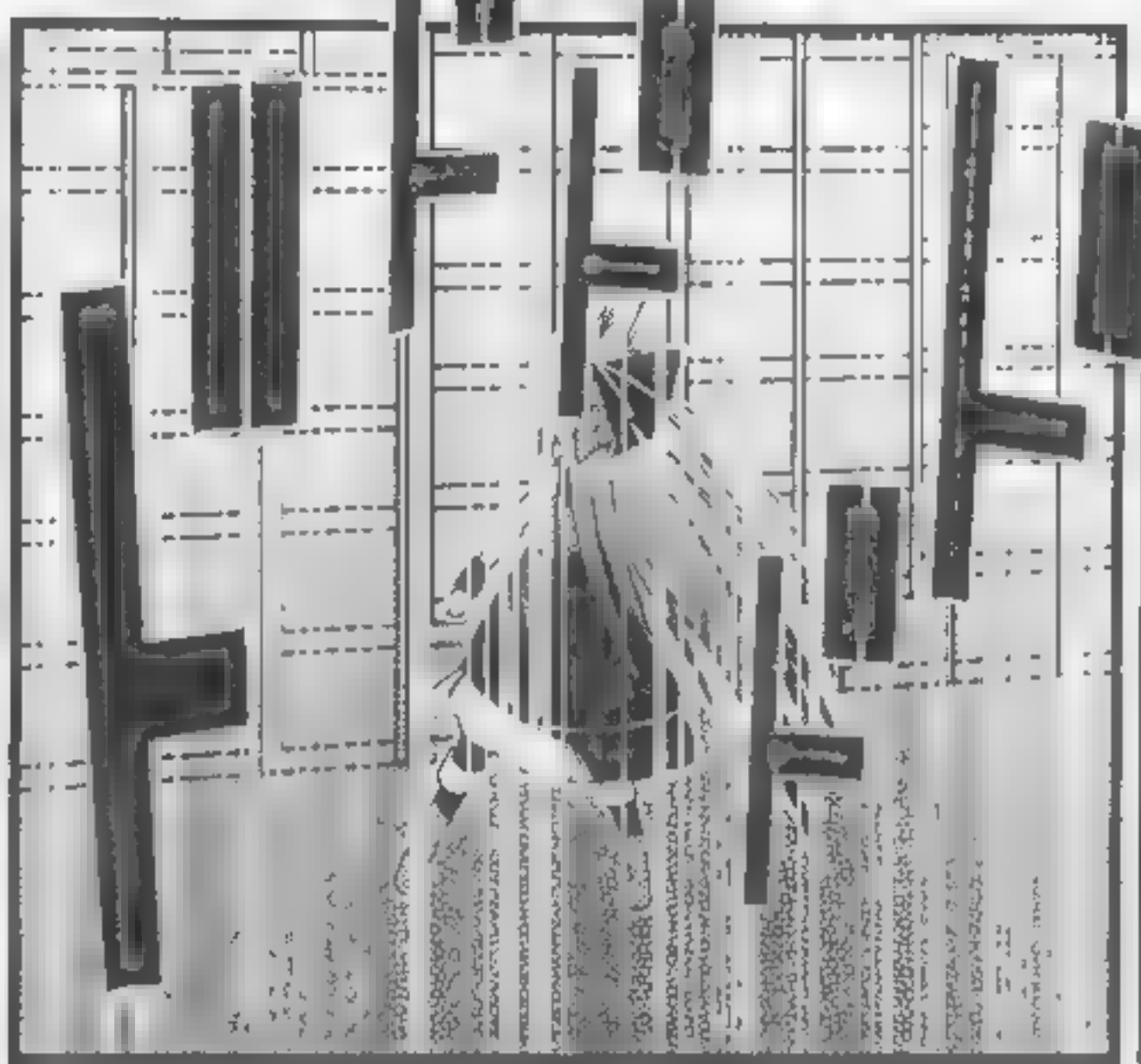
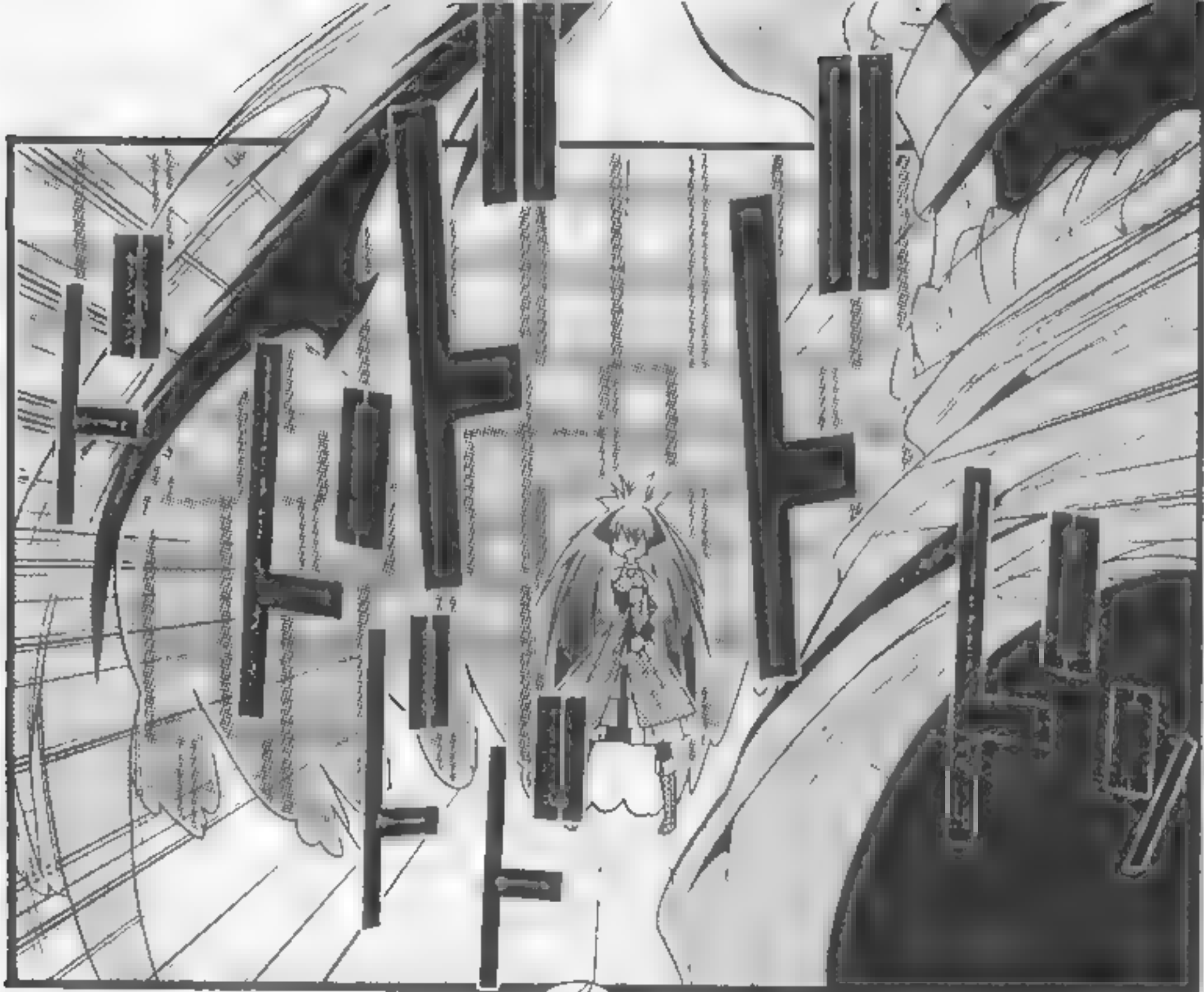
それとも最早
死神は彼女を
連れ去って
仕舞ったのかしら

しにがみ
……？

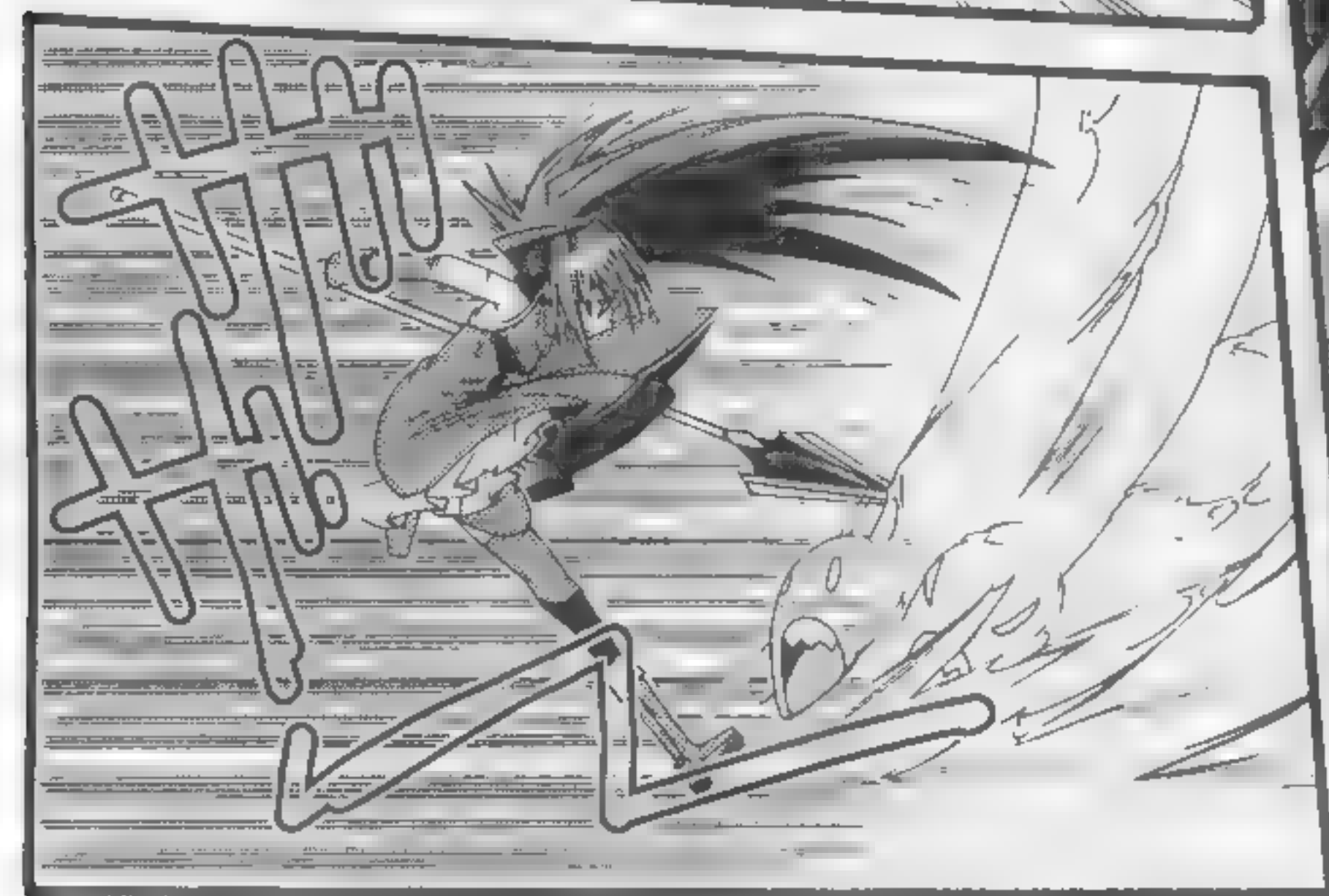
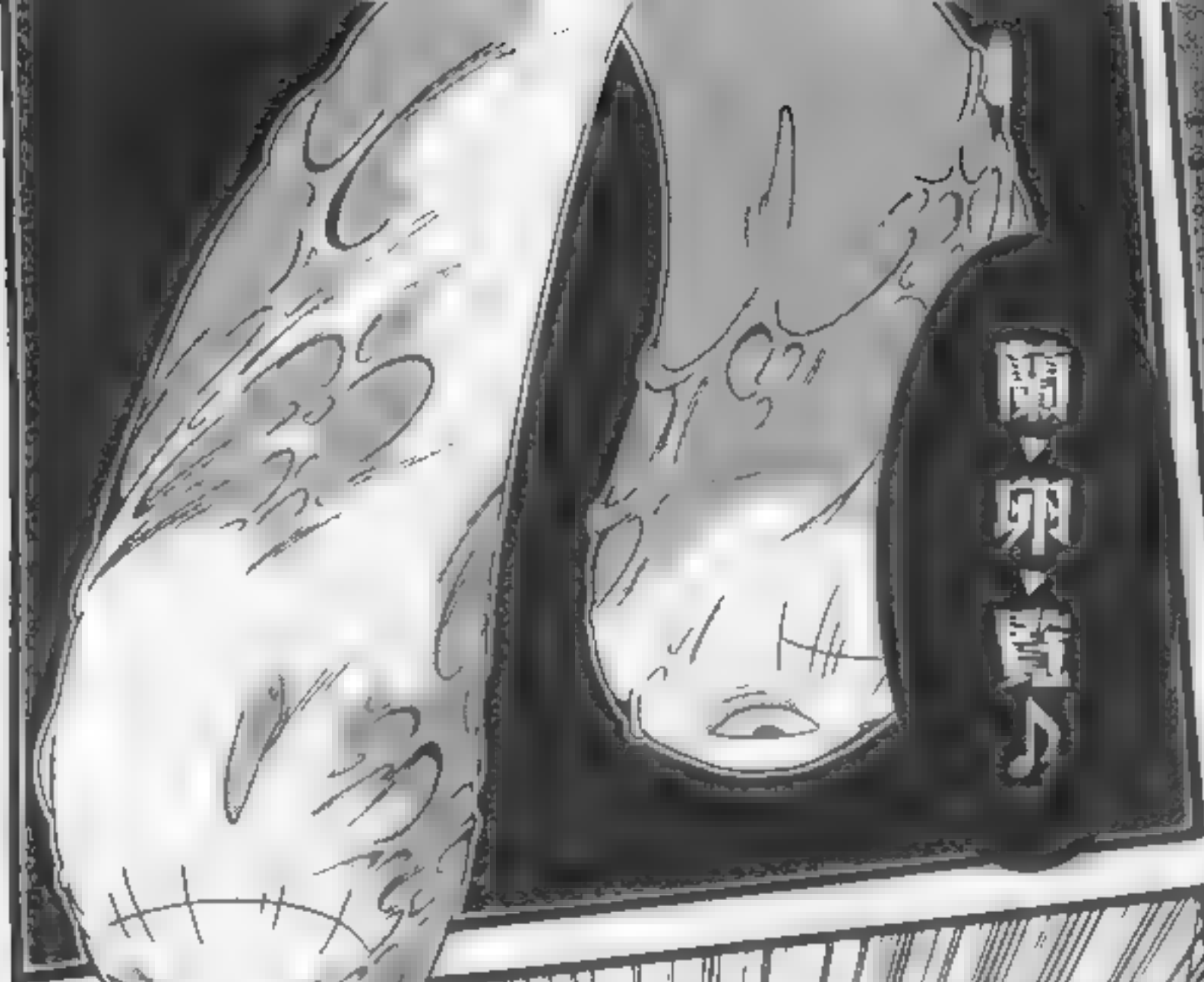

















なんてね！






あたしの武器に
合わせて攻撃
■らしたんだろうけど

はあ

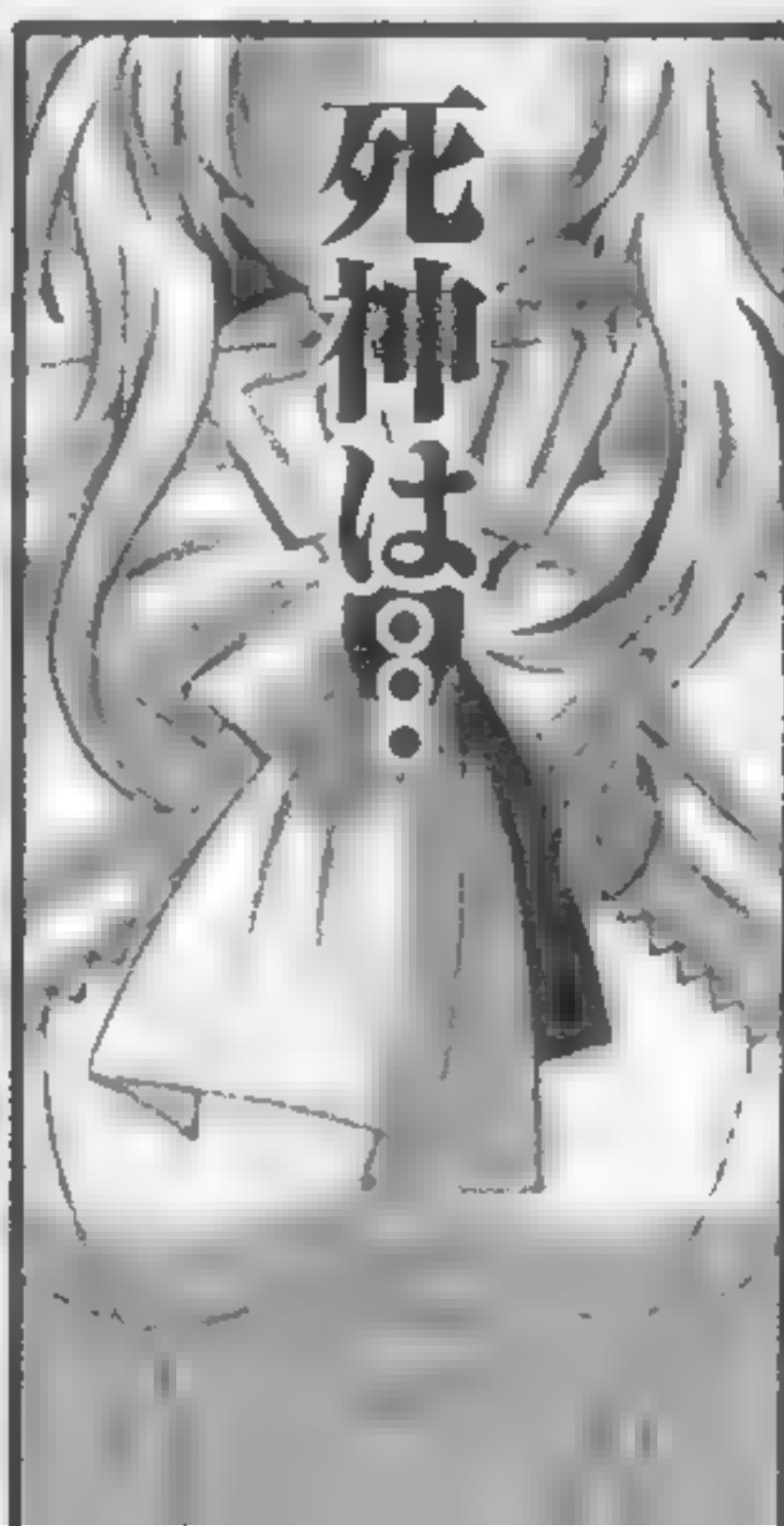
はあ

はあっ

範囲攻撃が
出来る槍も
あるってことさ

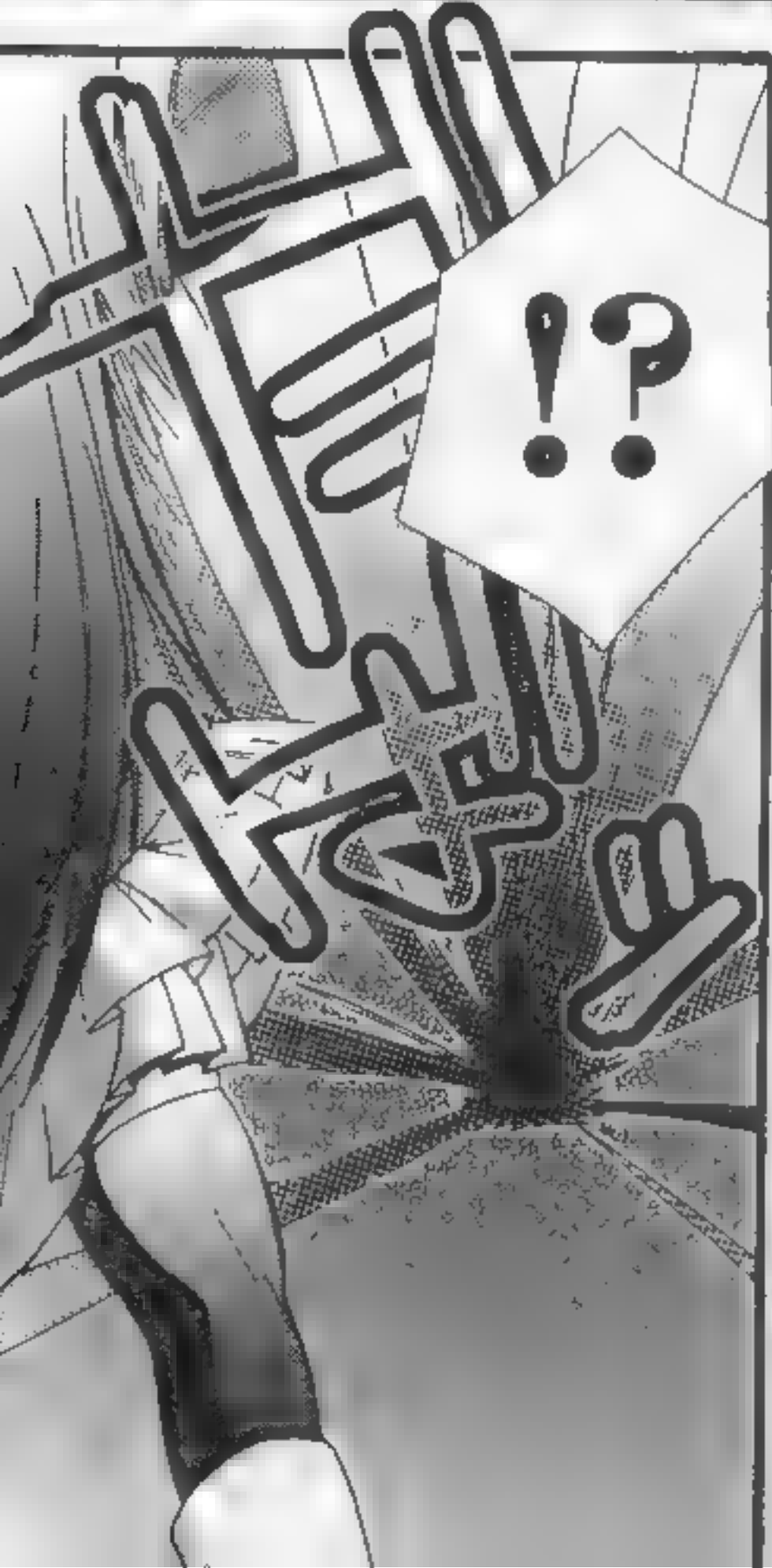


アンタ
甘く見すぎだよ







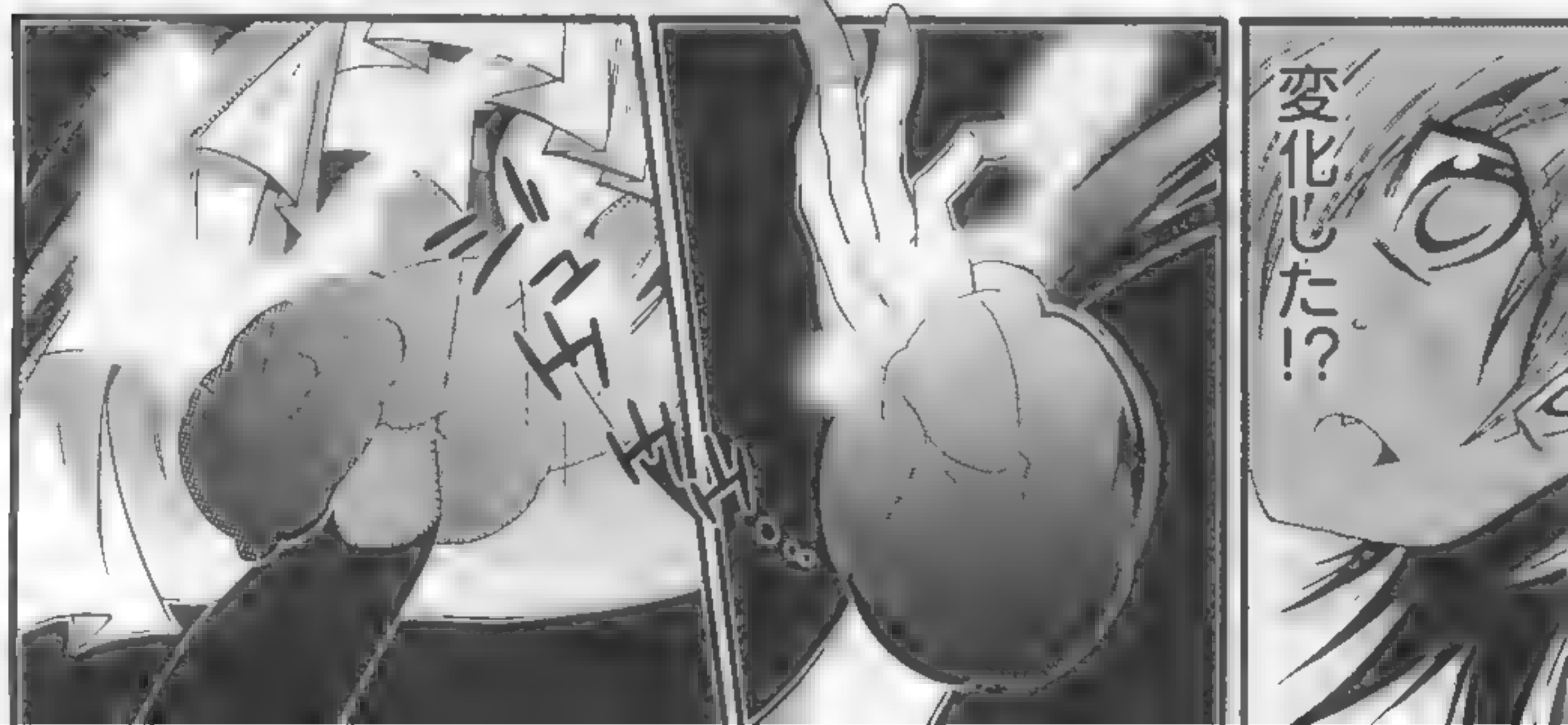




血？



なっ



変化した!?





まいったなこれ
死ぬじゃん……

しけた人生
だったなあ……

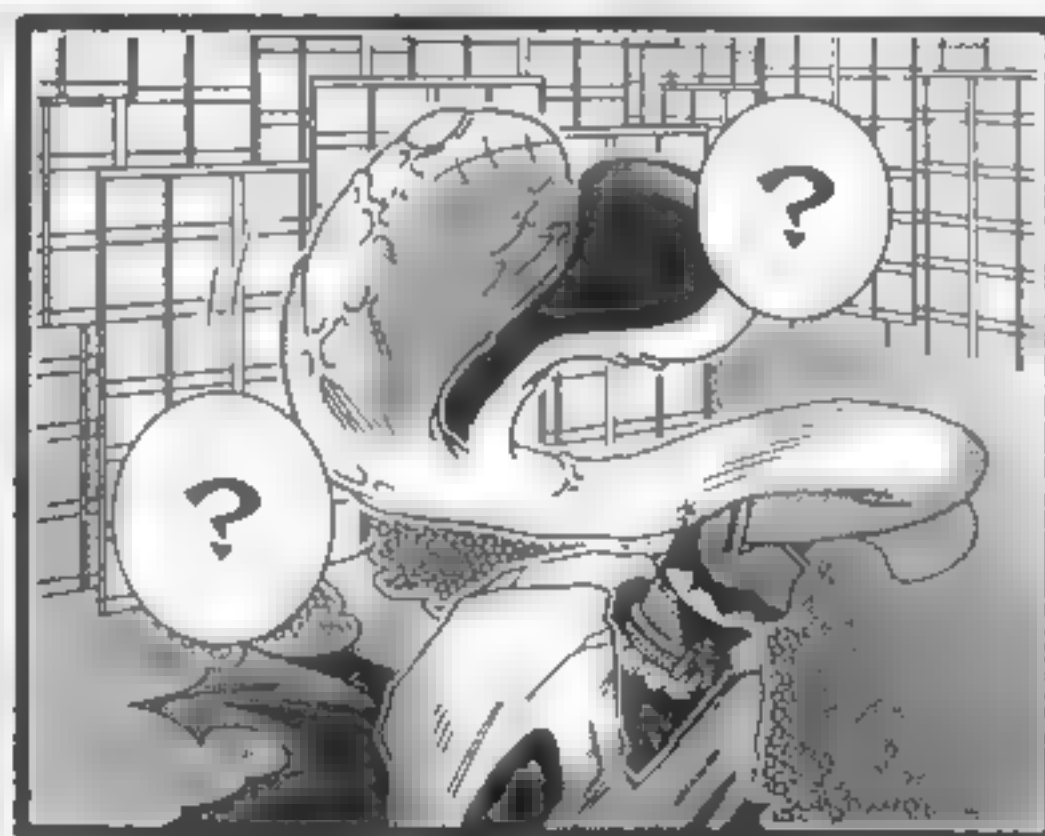
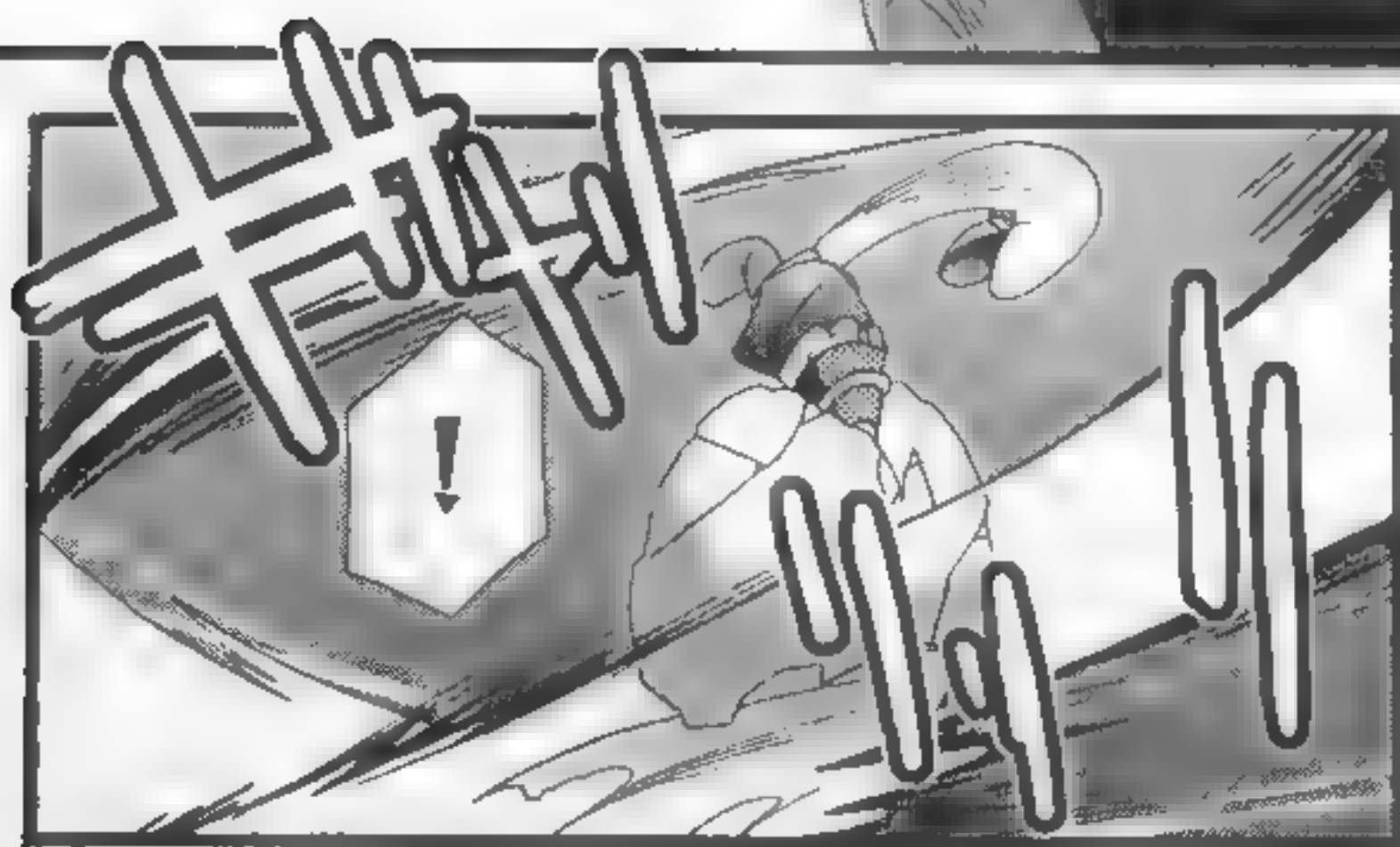


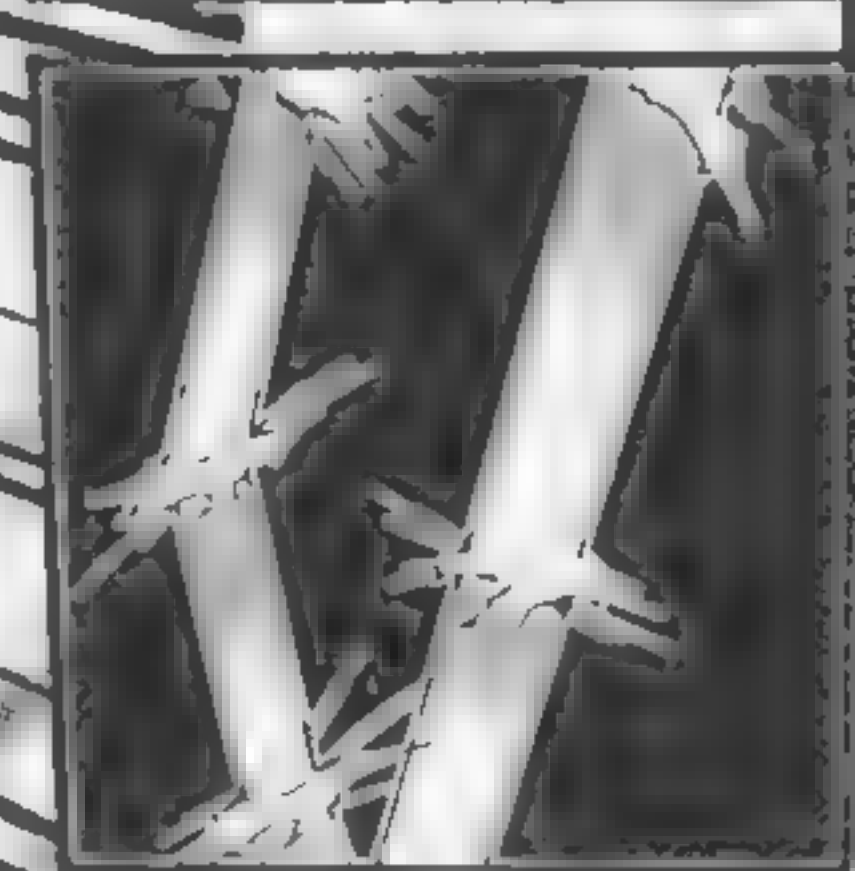
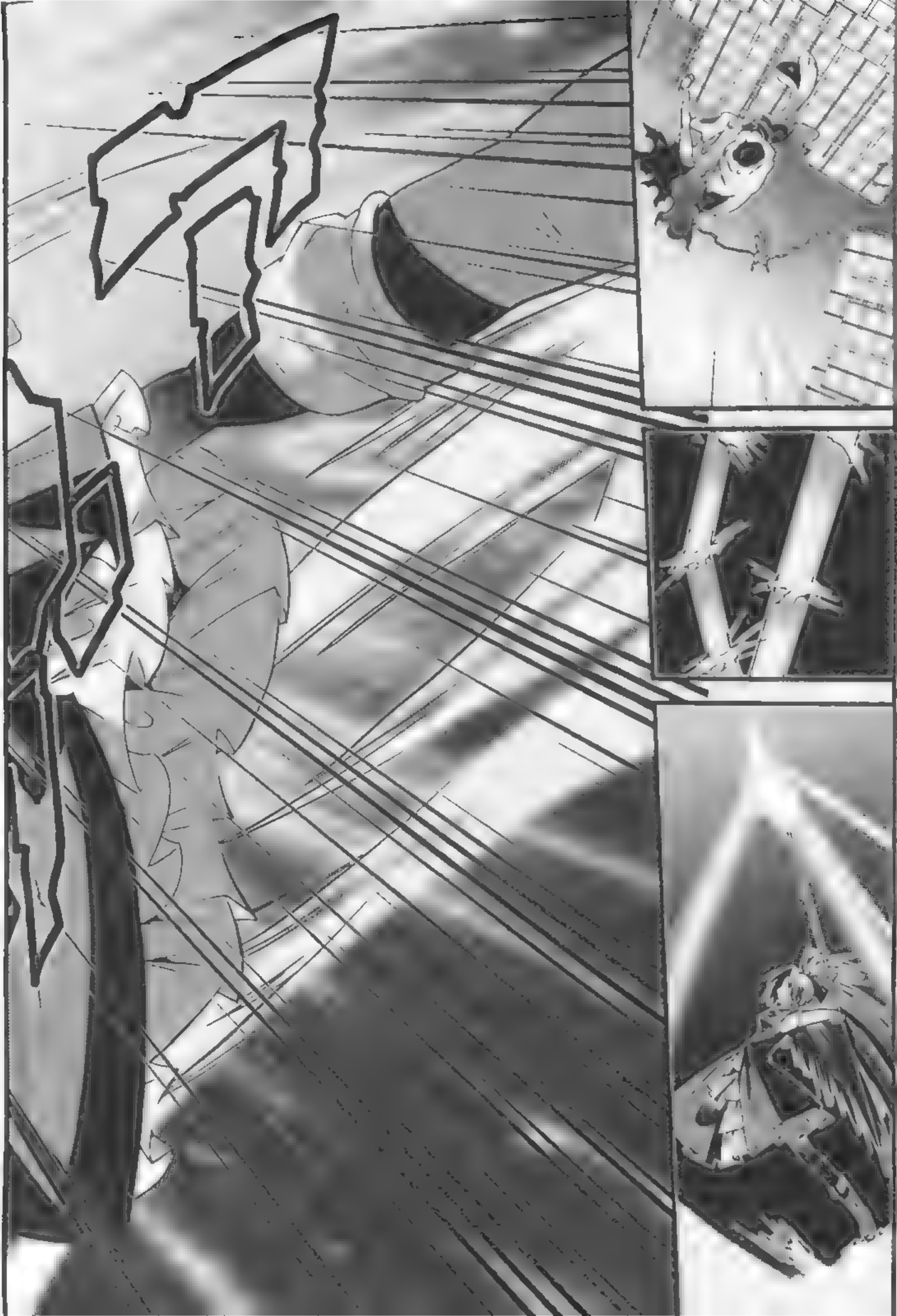
一度ぐらい幸せな夢でやつ
見てみたかったけど……

……まあいいや

もう終わりだし

だめッ！











やったね！

キョーッ！



ゆまにも
魔法少女の
素質が
あるよ



え……

ゆま

なんで

魔法少女に
なった？

だって……

だってじゃ
ねえ!!

言った
だろうが!!

魔法少女に
なんかなるな
って!!!!



だって…

だって…

杏子さんをお探しかしら

彼女は
魔女と
戦って

どうして



織莉子がゆった…!!



貴方に
運命の輪を
回せるのかしら?

おねえちゃん
教えて



死ぬ運命

だって!

かわいいだけの
役立たずさん

ゆったー！

ゆったよー！

うわあああああああ

あああ

あ

ゆっ

ゆまっは

やくたたず……
ない……

役立たず
なんかじゃない！

キョーコの
役に立つ！

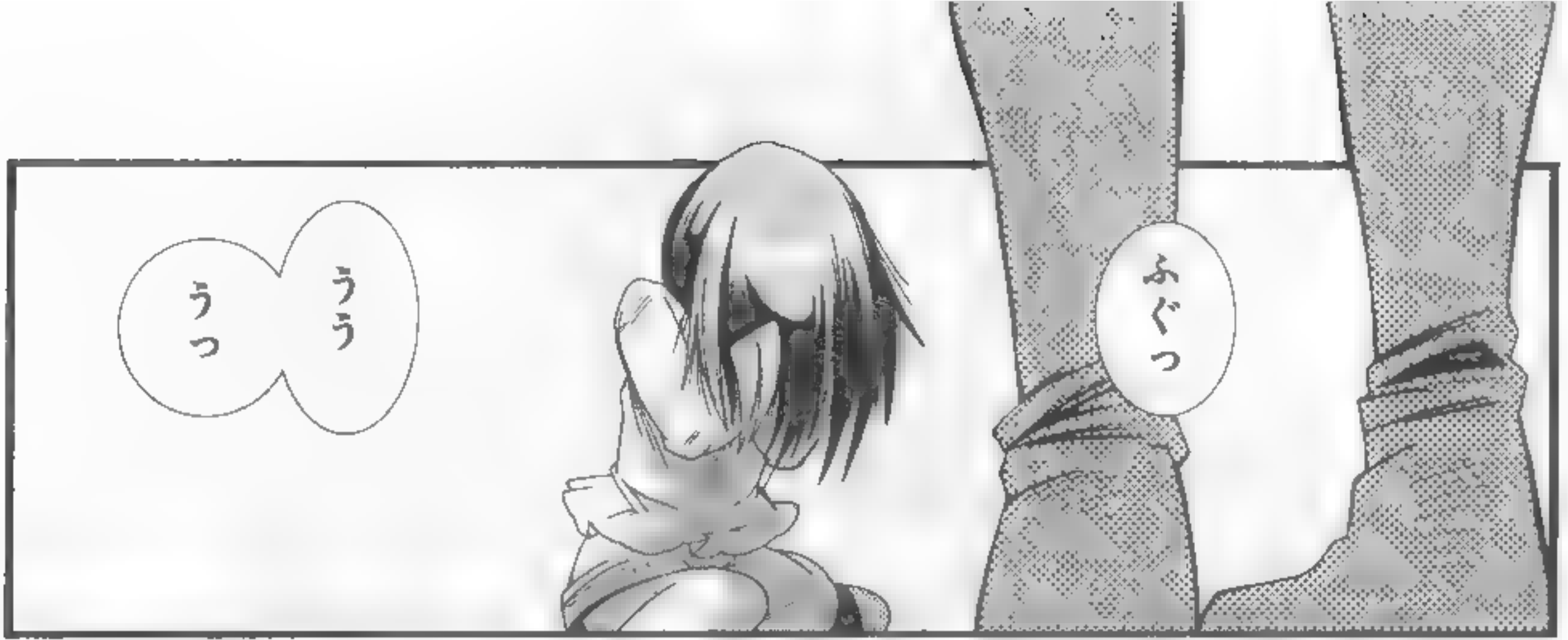
言うこと
なんでもきく！

好き嫌いだって
言わない！

だから……！

ゆまを
ひとりに
しないで









織莉子。。。。。。！！

ばーか
泣いてなんか
ないよ……



このオトシマエは
必ずつけさせてやる

やあ
織莉子

でも

少し時間を
くれないかな

今夜？
うん

いいよ
キミの頼みを断るわけ
ないじゃないか

きゃ

ちよつと
汚れちゃった
んだ

魔法少女
PUELLA MAGI
ORIKO
MAGICA

おりこ☆マジカ

M A G I C A X M A G I C A



お父様のお仕事は
みんなが平和に
暮らすための
大事なお仕事
なのでしょ

そうだよ

この国が
幸せになるためには
まずこの町が幸せに
ならないとね

勿論 織莉子の
幸せの為にもね

織莉子はもっと
がんばります！

お父様のために
みんなのために

天国のお母様も
お父様を誇りに
思っているわ

お父様 賄賂は
だめよ！

ははは
参ったな

ご褒美は
何がいいかな？

ありがとう
織莉子

嘘吐き

第3話

愛は無限に有限なんだ





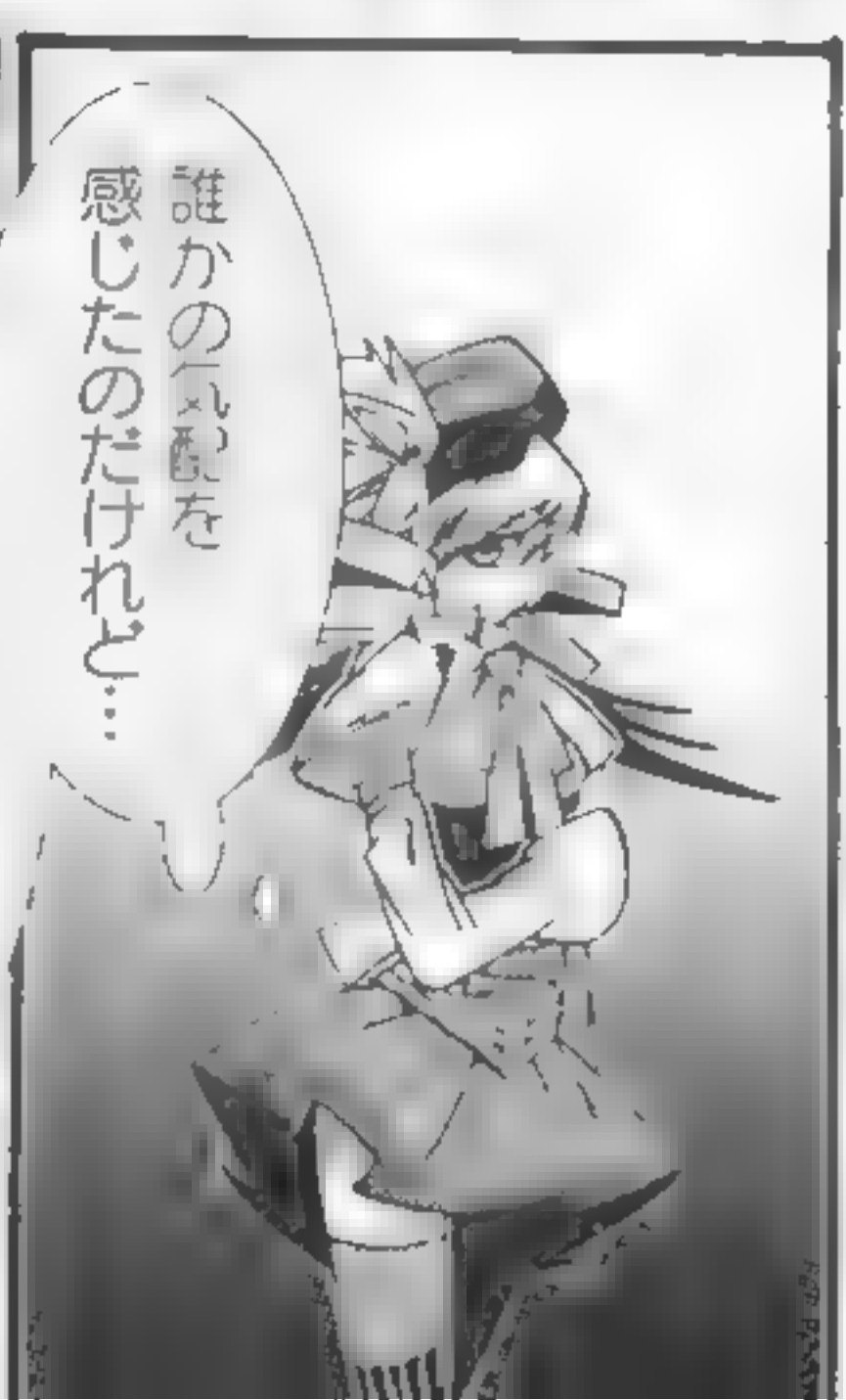
危なかった…

油断していたら
やられてたわね

それに



気のせいかしら…

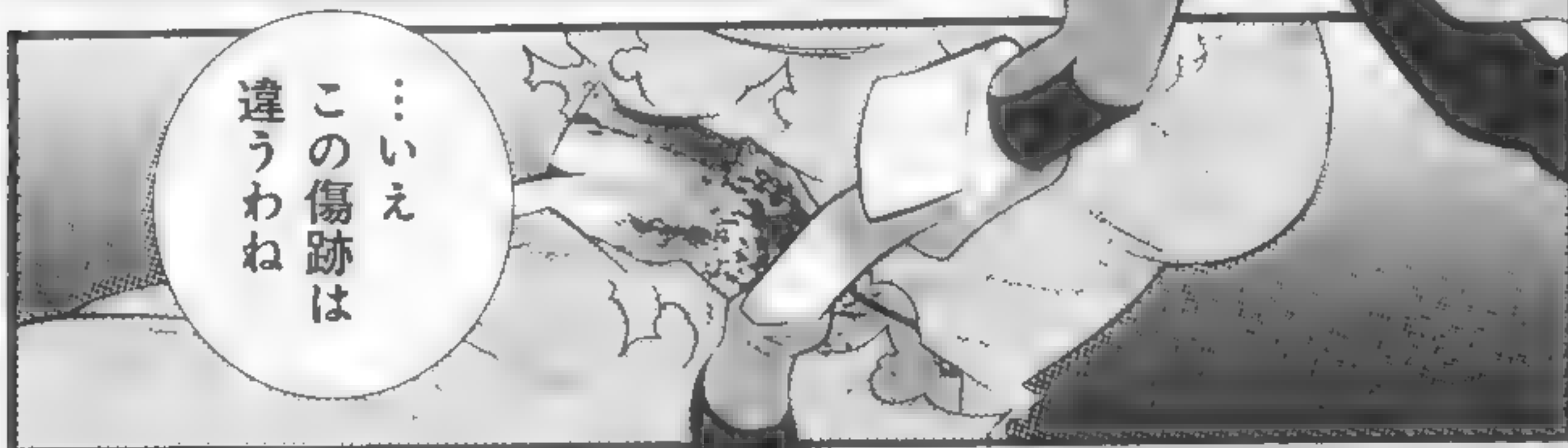


誰かの気配を
感じたのだけれど…



魔法少女…？

あの魔女に
やられたの
かしら…



…いえ
この傷跡は
違うわね



こんな鋭利な
攻撃はして
こなかった
もの

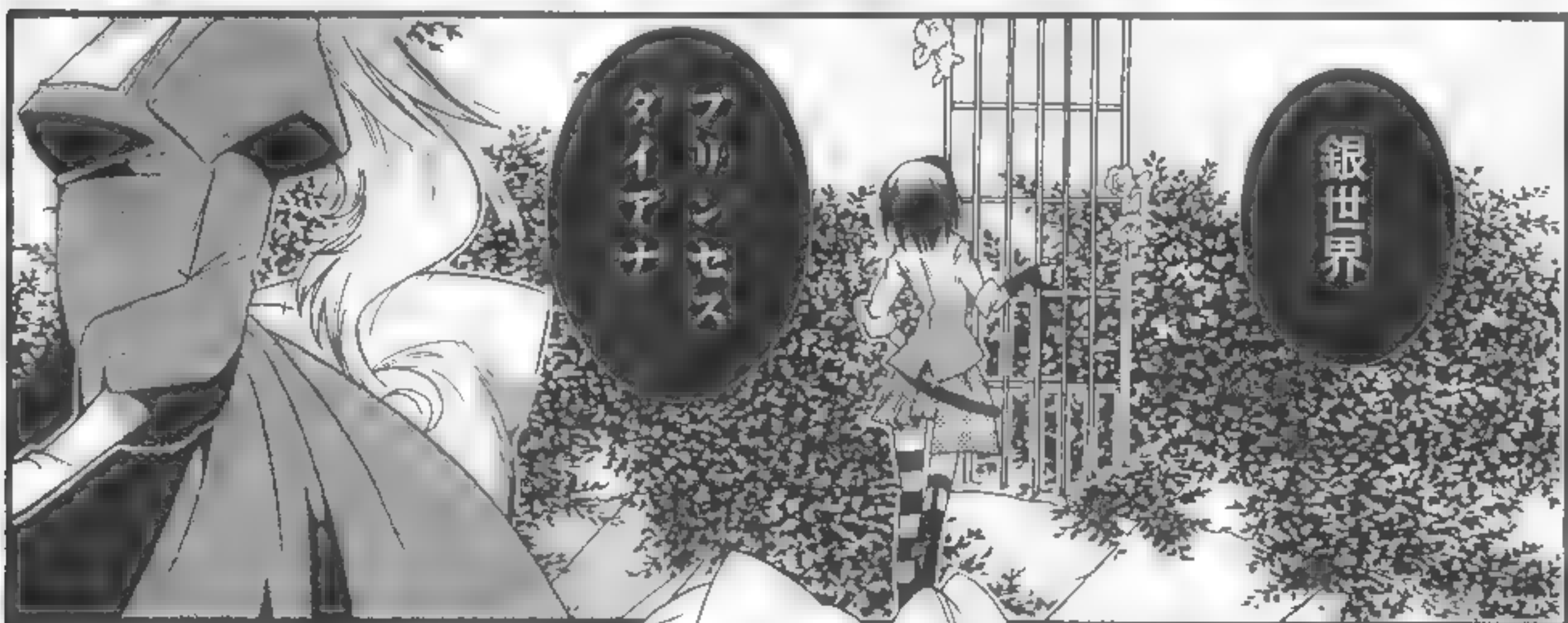


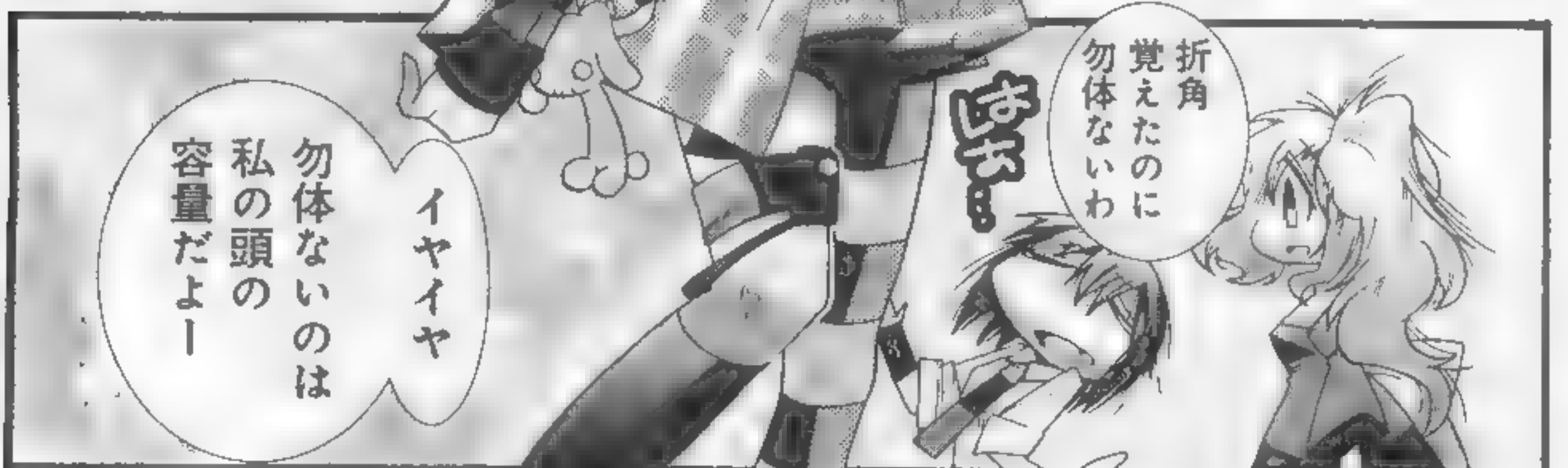
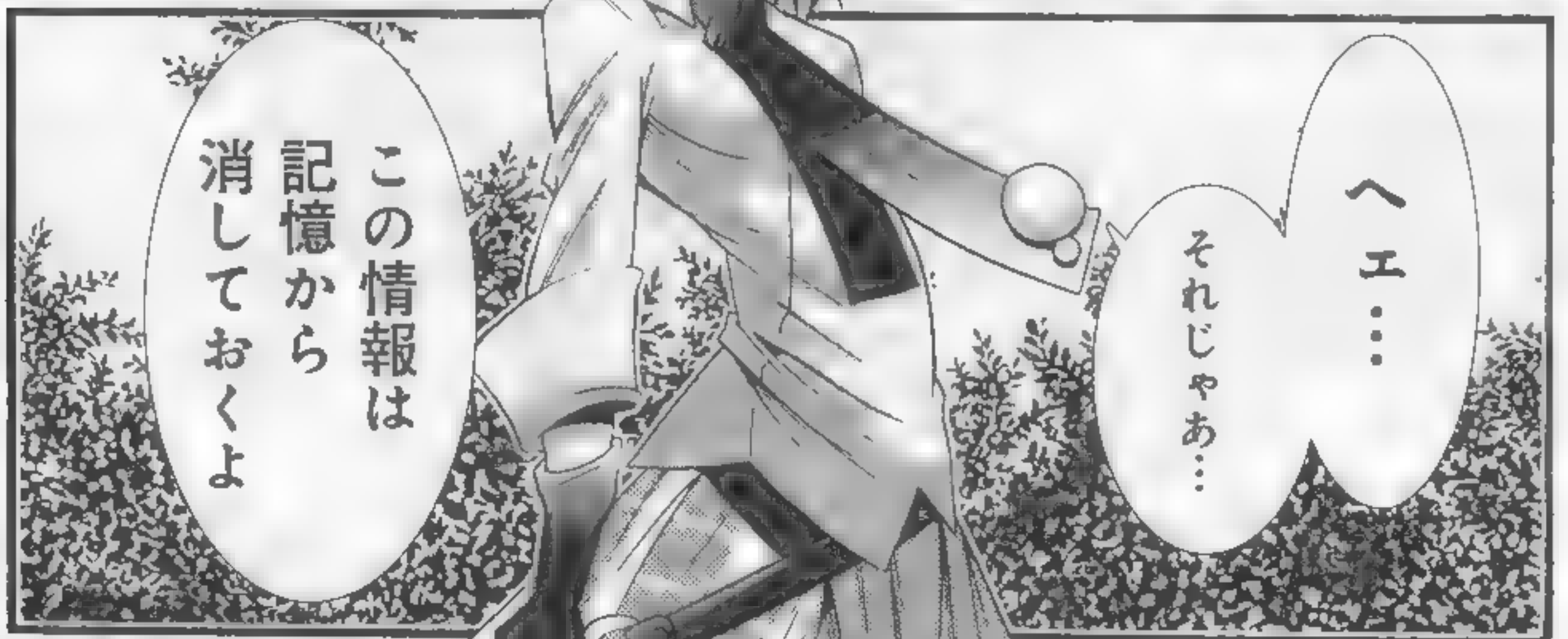
どういうこと
かしら

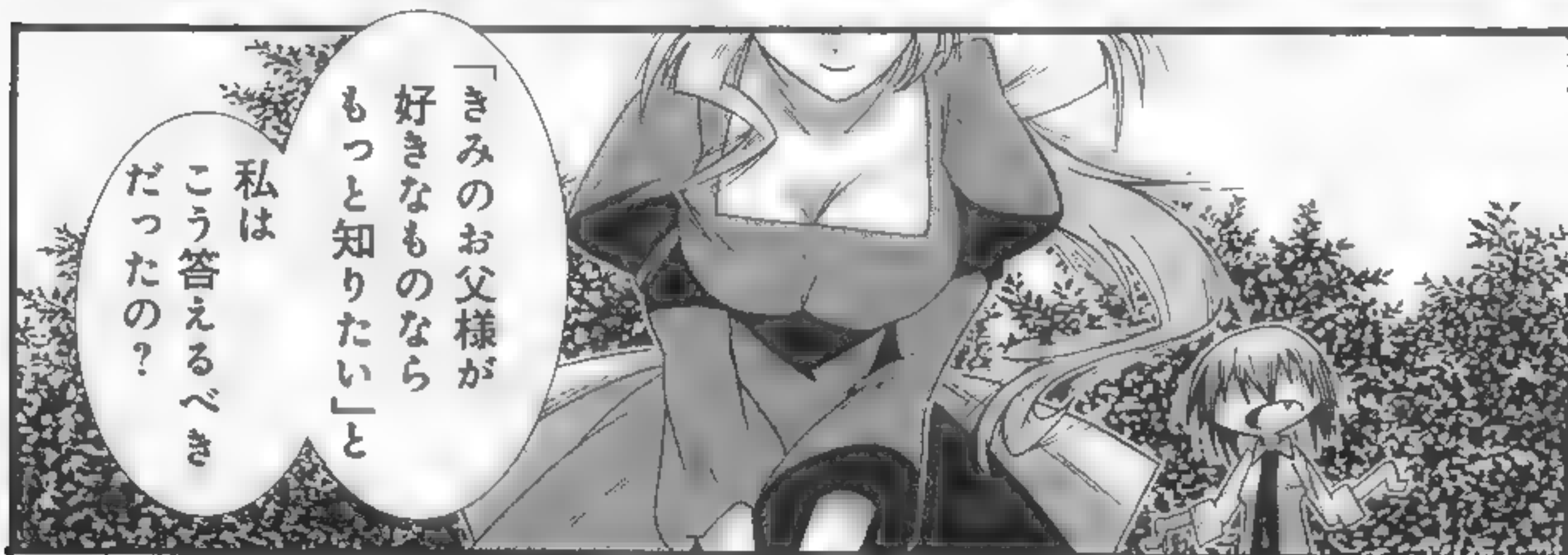
近くに違う魔女が
いるということ？

それも違うよ

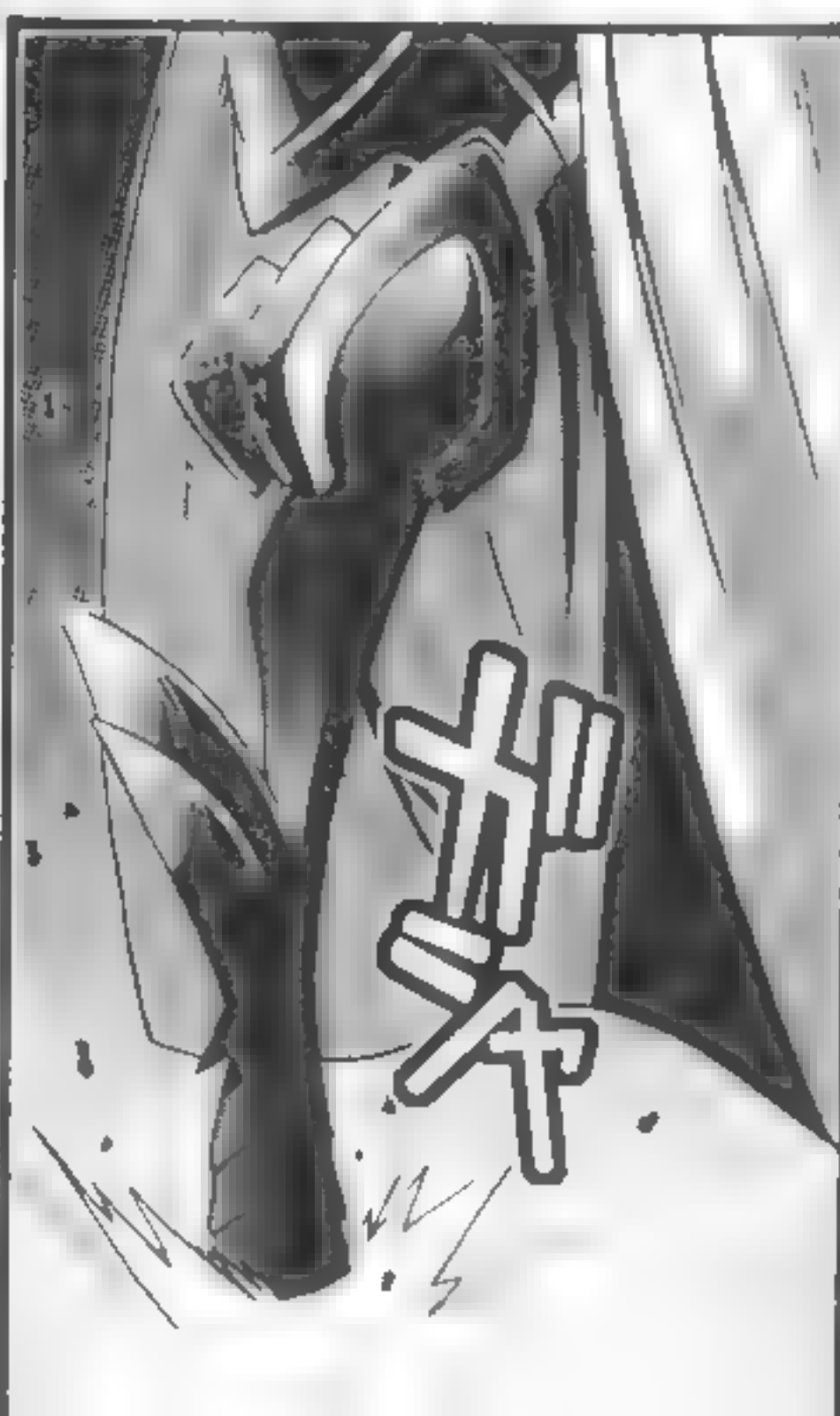


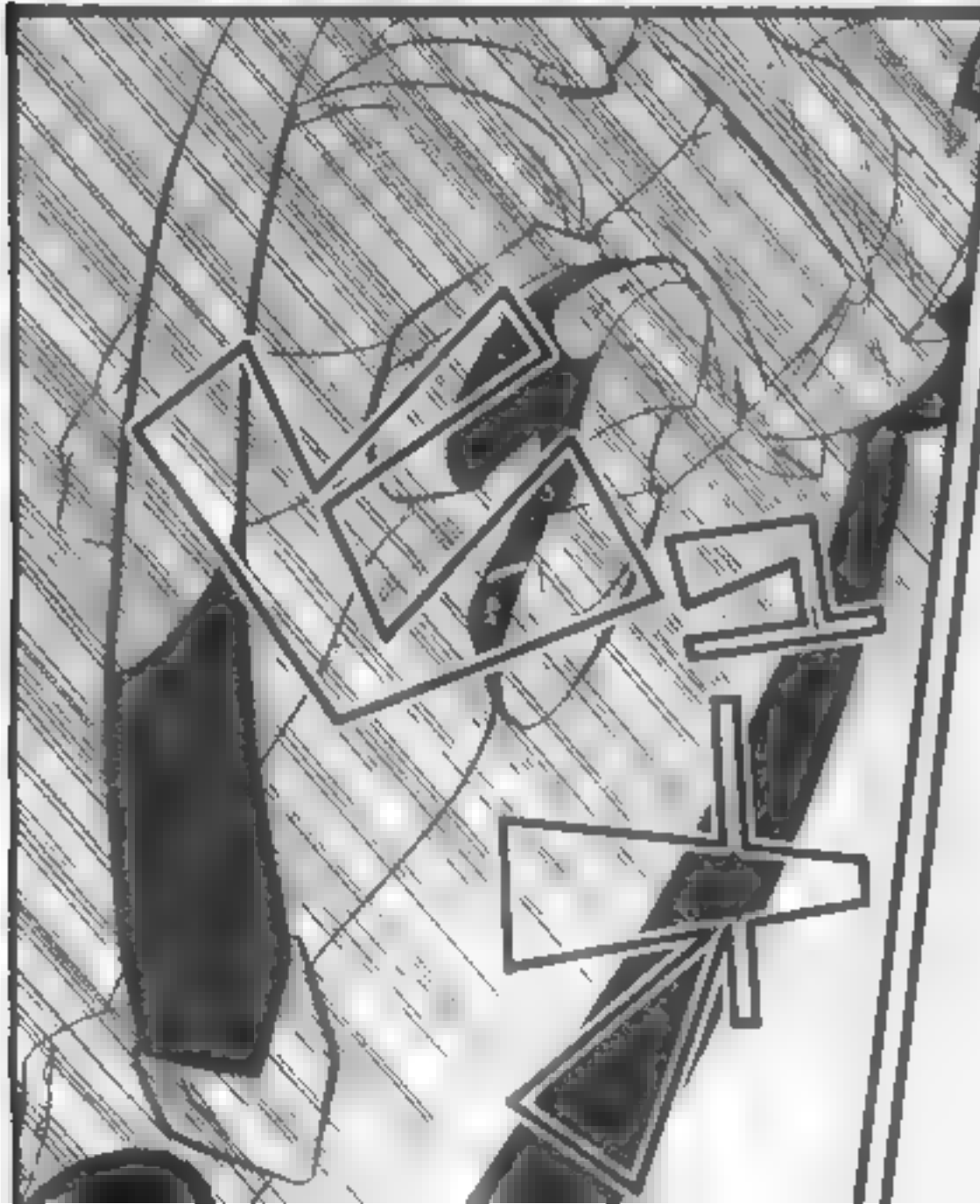
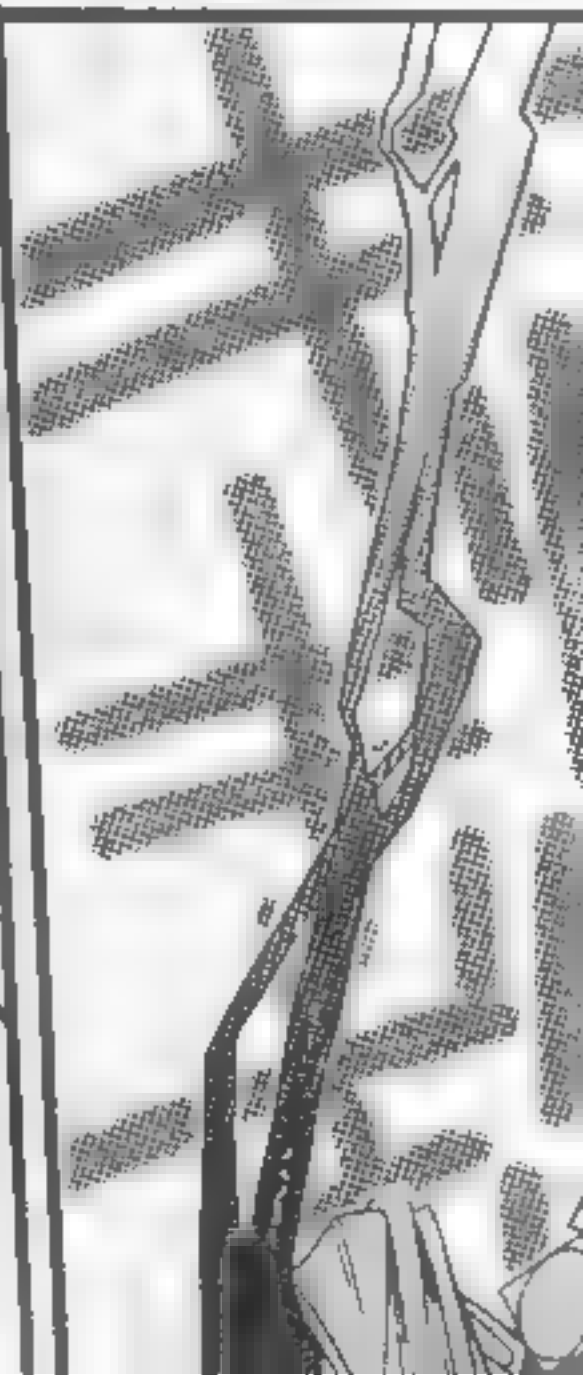






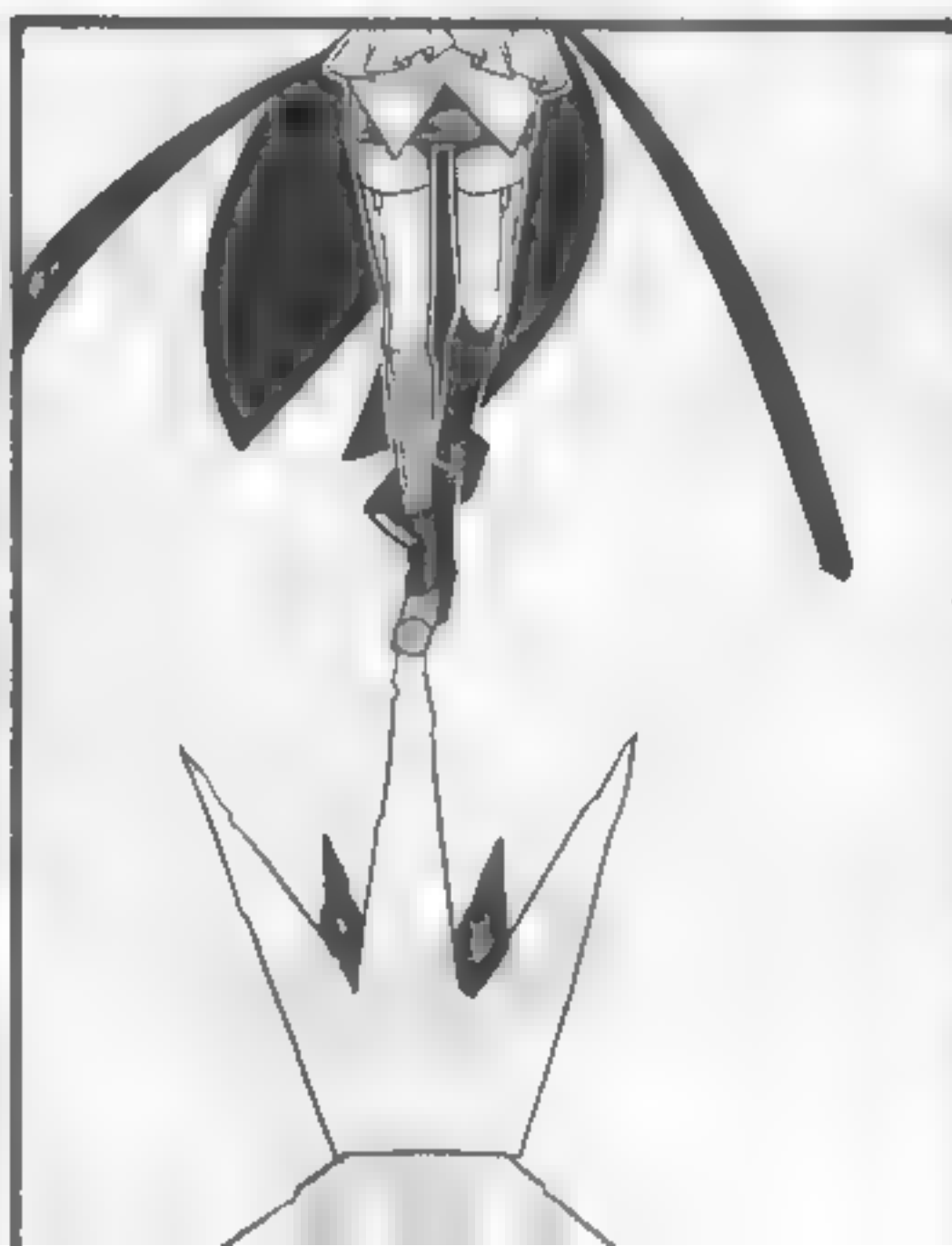
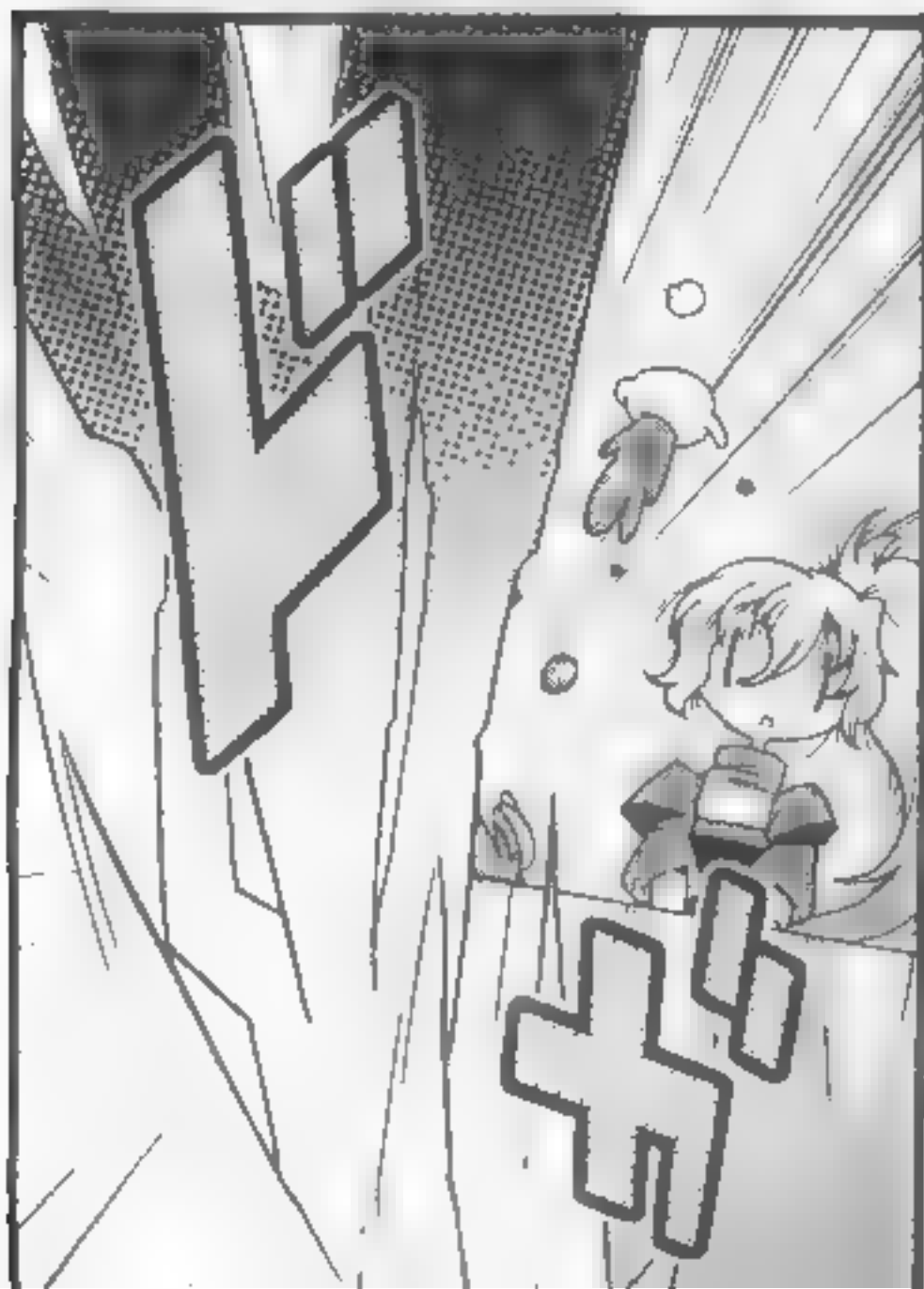


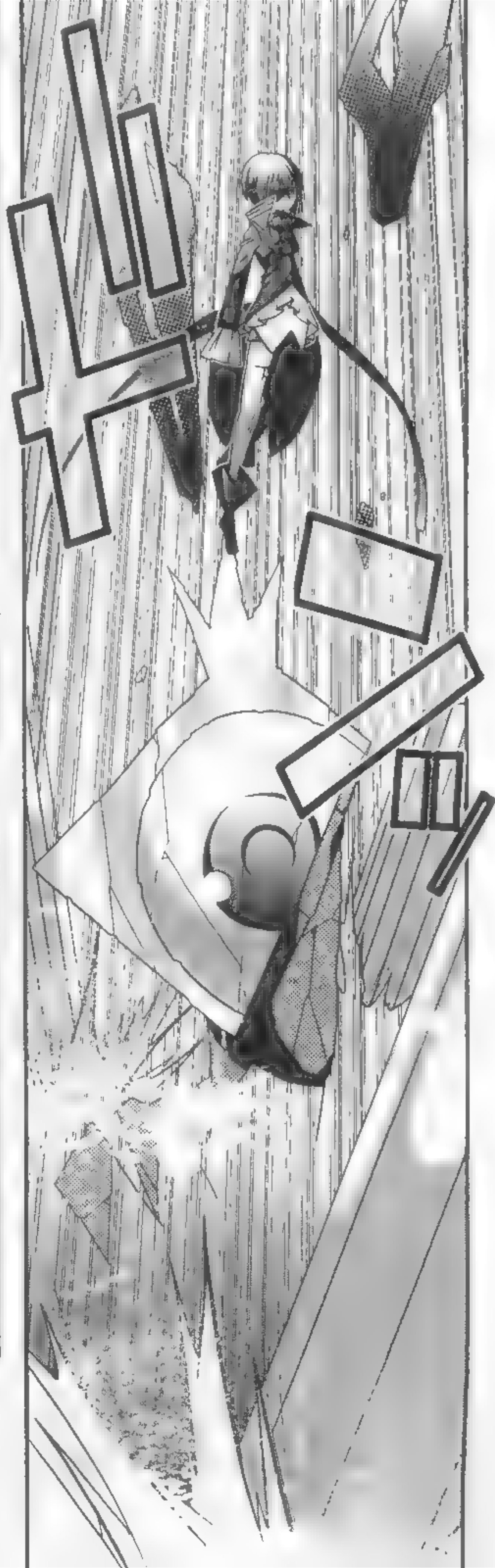


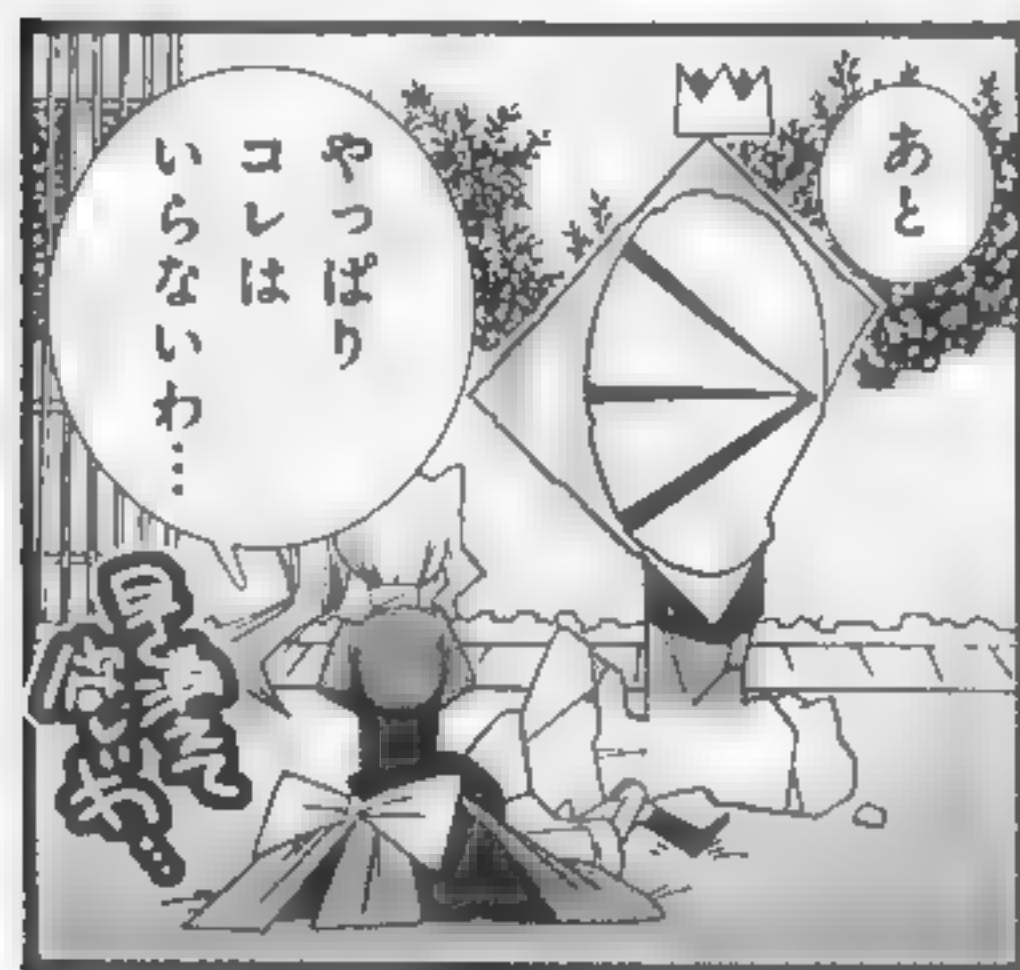


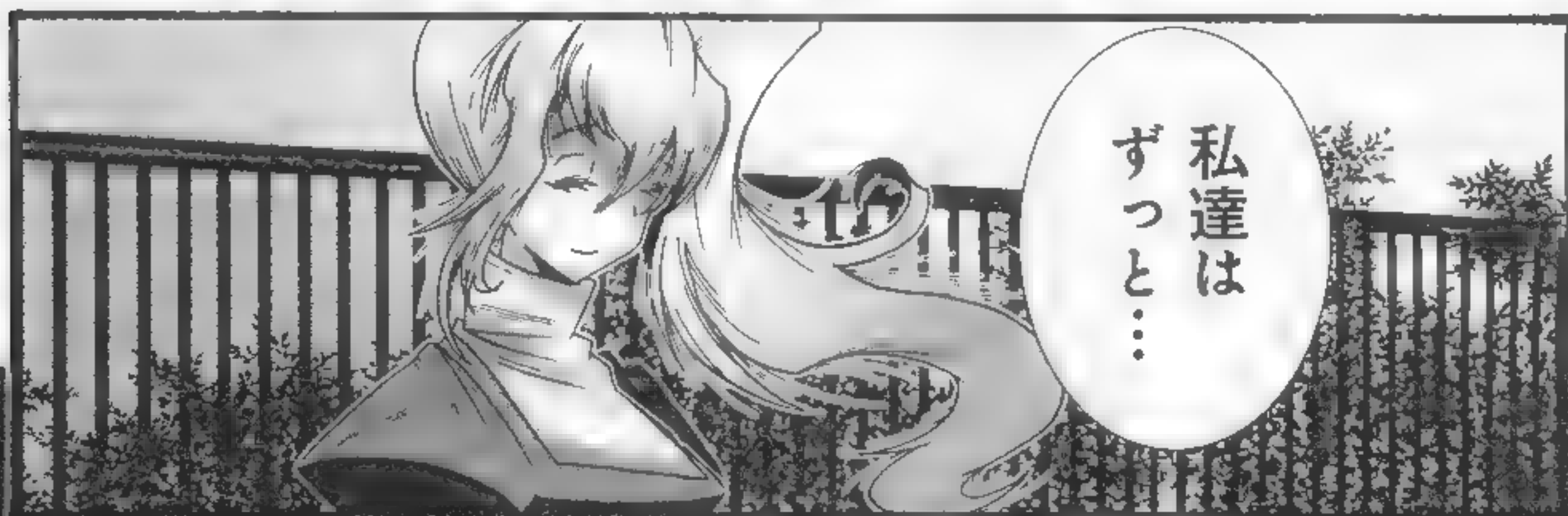


だいっ好き！











あれに
手を貸す者が
いる…



あれだけは
なんとしても
止めなくては…



御免なさい キリカ
また貴女を使うわ



私と貴女の
世界を守る
為に



ふあ…





くるい……
まほうしょうじょ……



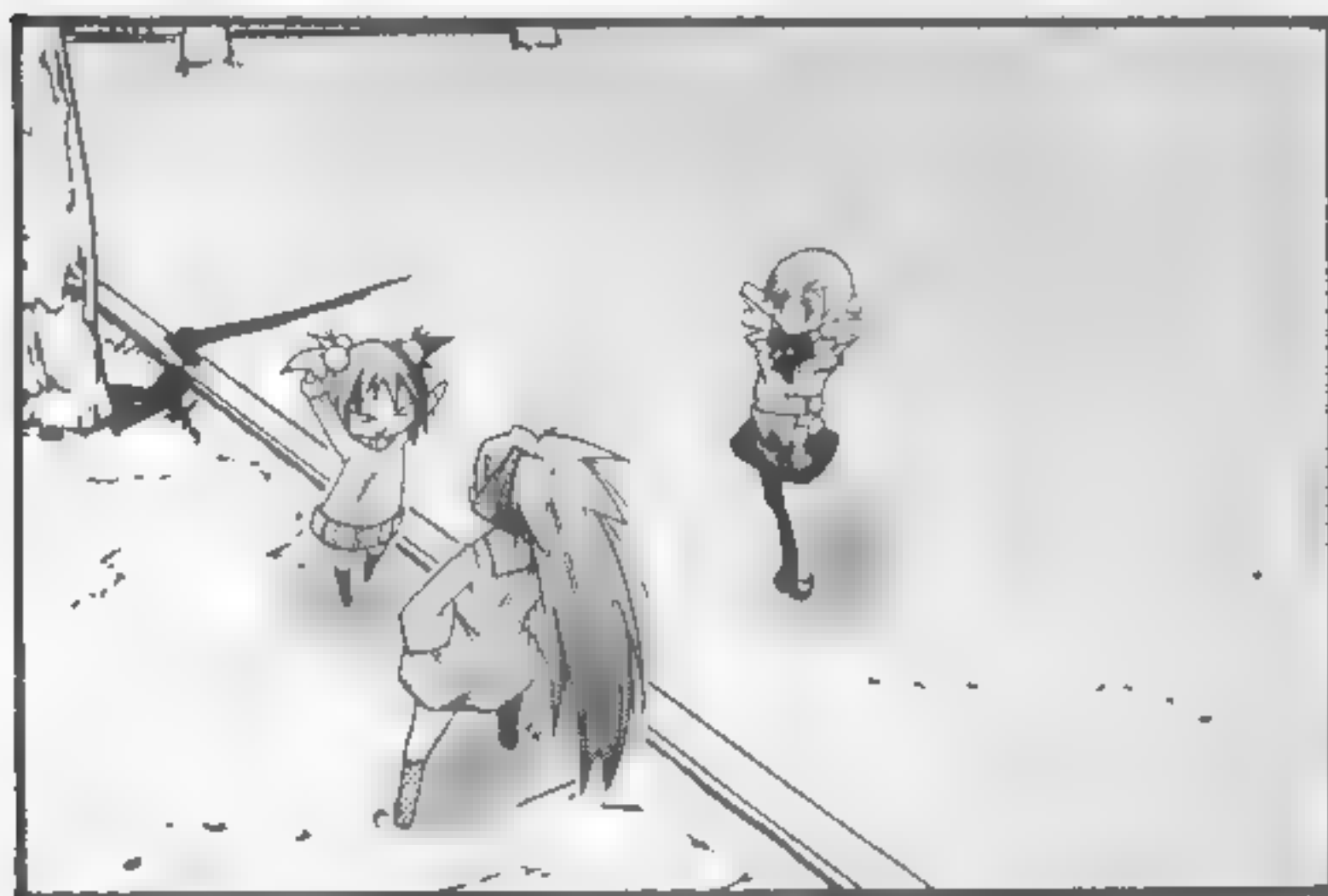
黒い魔法少女……

調べてみる必要が
ありそうね



知ってるよ
魔法少女狩り
だろ？







織莉子って
やつだ



白い魔法少女
織莉子…?



知らないなら
いいや

ソイツには
ちよっと借りが
あってね

借り?

あんだ
ママには関係
ないことさ



知らないし
知ったことではないわ



大体
そんなことをして
私に一体どんな
得があるの？



それをそのまま
受け取れるほど
私は
あなたのことを
知らないわ



ほむら
ちゃーん♪

早く帰ろ
さやかちゃんも
仁美ちゃんも
待ってるよー

すぐ行くわ



忠告はしたわよ
あなたも
気をつけることね





私達に
さっわ
接触
しないで

暁美ほむら
何を考えているのか解らない子



うーん…

こちらの件とは
直接関係は
なさそうね

佐倉さんの言っていた
「織利子」という子が
気になるけど





何故黒い魔法少女は
魔法少女を殺すのか



結局手掛かり
なしかあ…



魔女の結界内に死体があつたのは
偶然だったのだろうか

魔女退治に来る魔法少女を
待ち伏せしていた？

殺し方も残虐で
「殺すために殺した」
ように見えた



サササ



「グリーンフィードの独占」
そう考えるのが
一番自然だけれども

あれは違う感じがした



そんなことをしたら
他の魔法少女だって
黙ってはいない
でしょう…

なのに何故？

目的は

魔法少女の
殲滅…？

う

うあああ

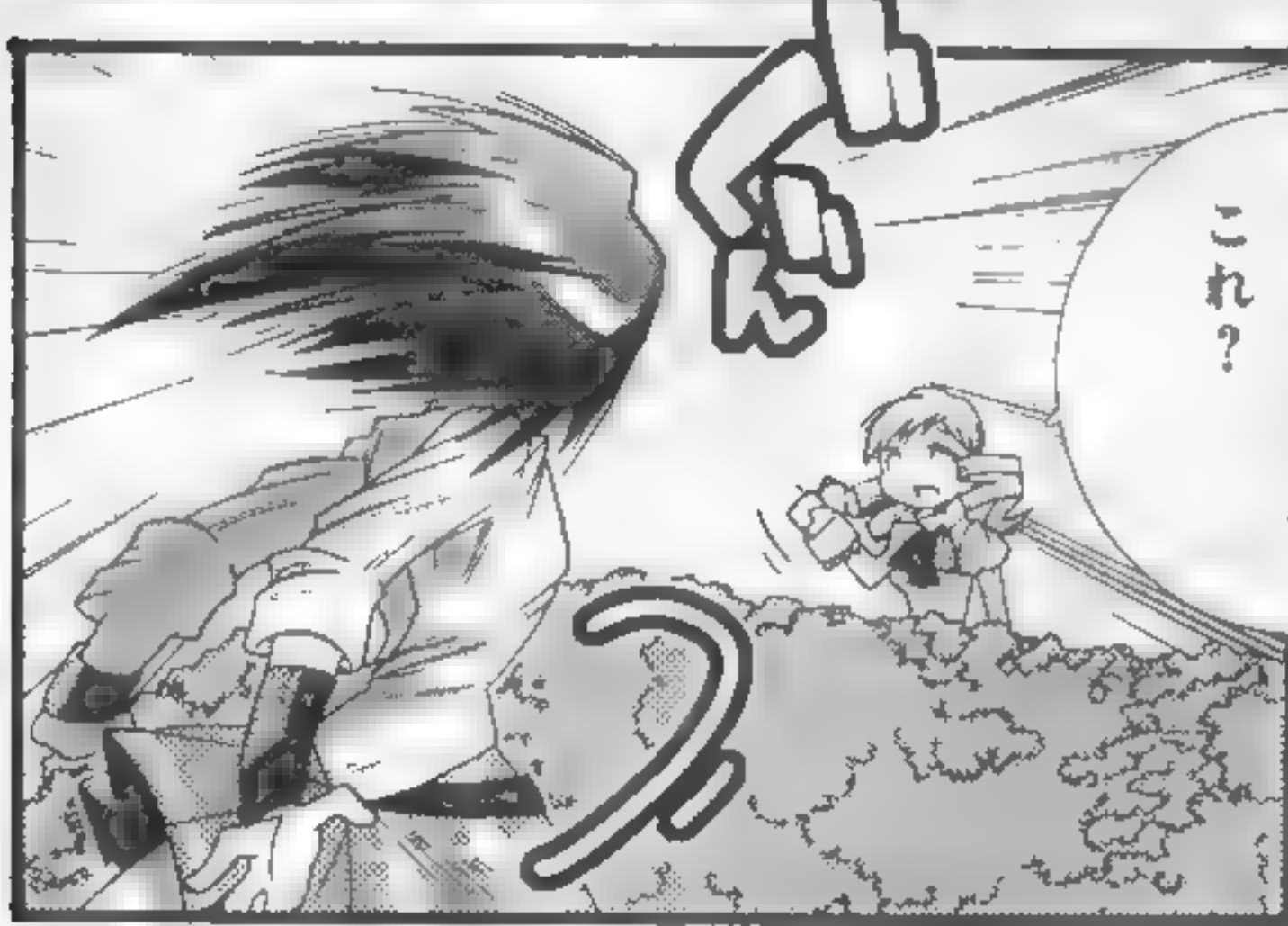
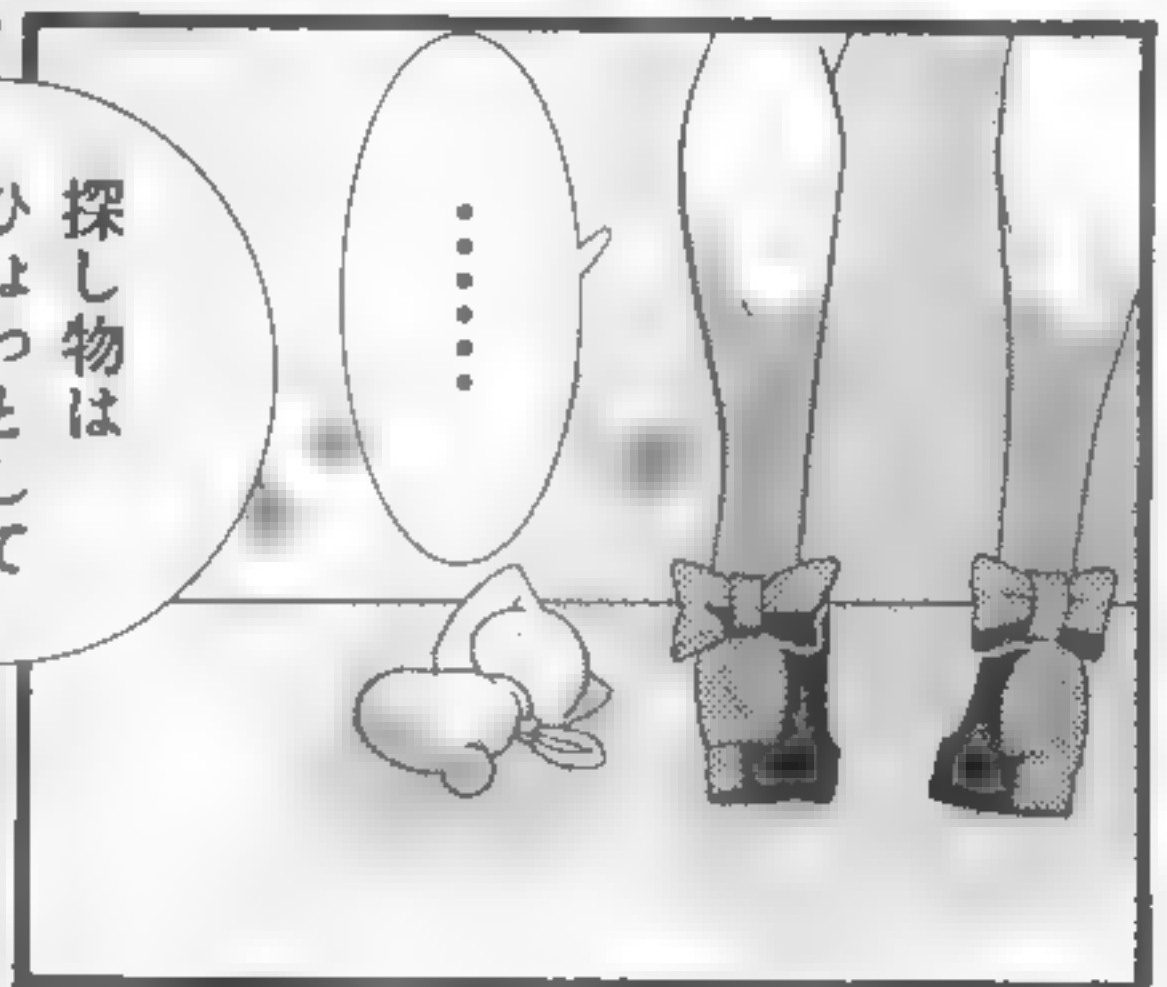
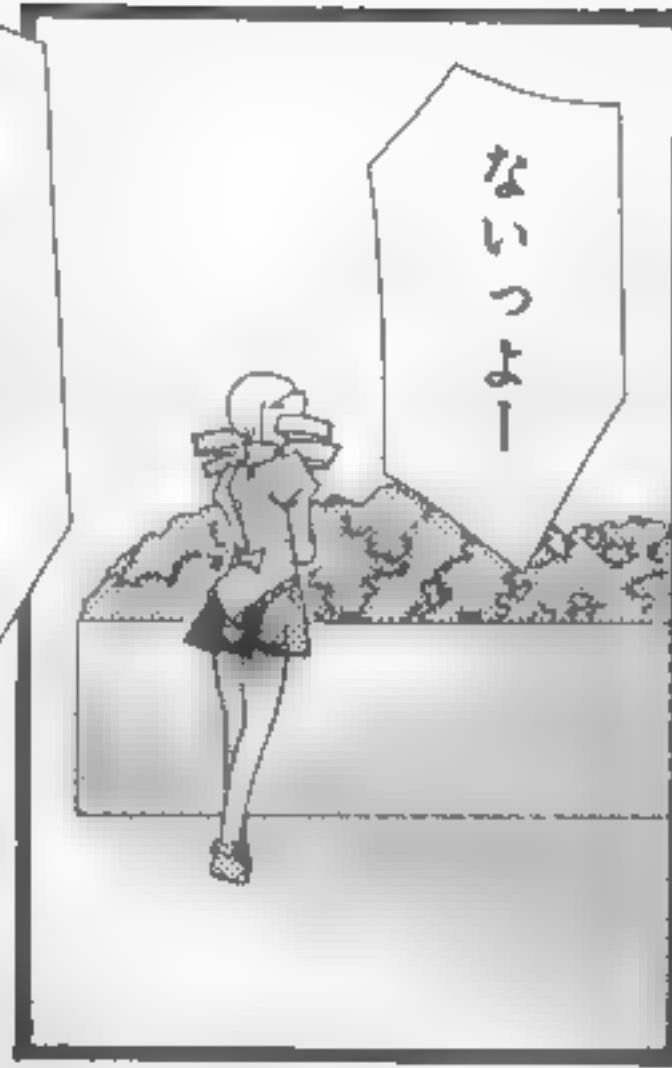
あああ
—っ

あああ
あああ

大丈夫
かしら…

ないよ！
ないようー！

？









く呉さん？

愛はすべてだ

好きだの大好きだの
愛を単位であらわす
ようなやつは
愛の本質を知らないっ

スルスル

わっ

いい!!

恩人

キミは本当の
愛ってのを
知ってるの？

ちょ

ちよっと…
どうしたの
呉さん

7000

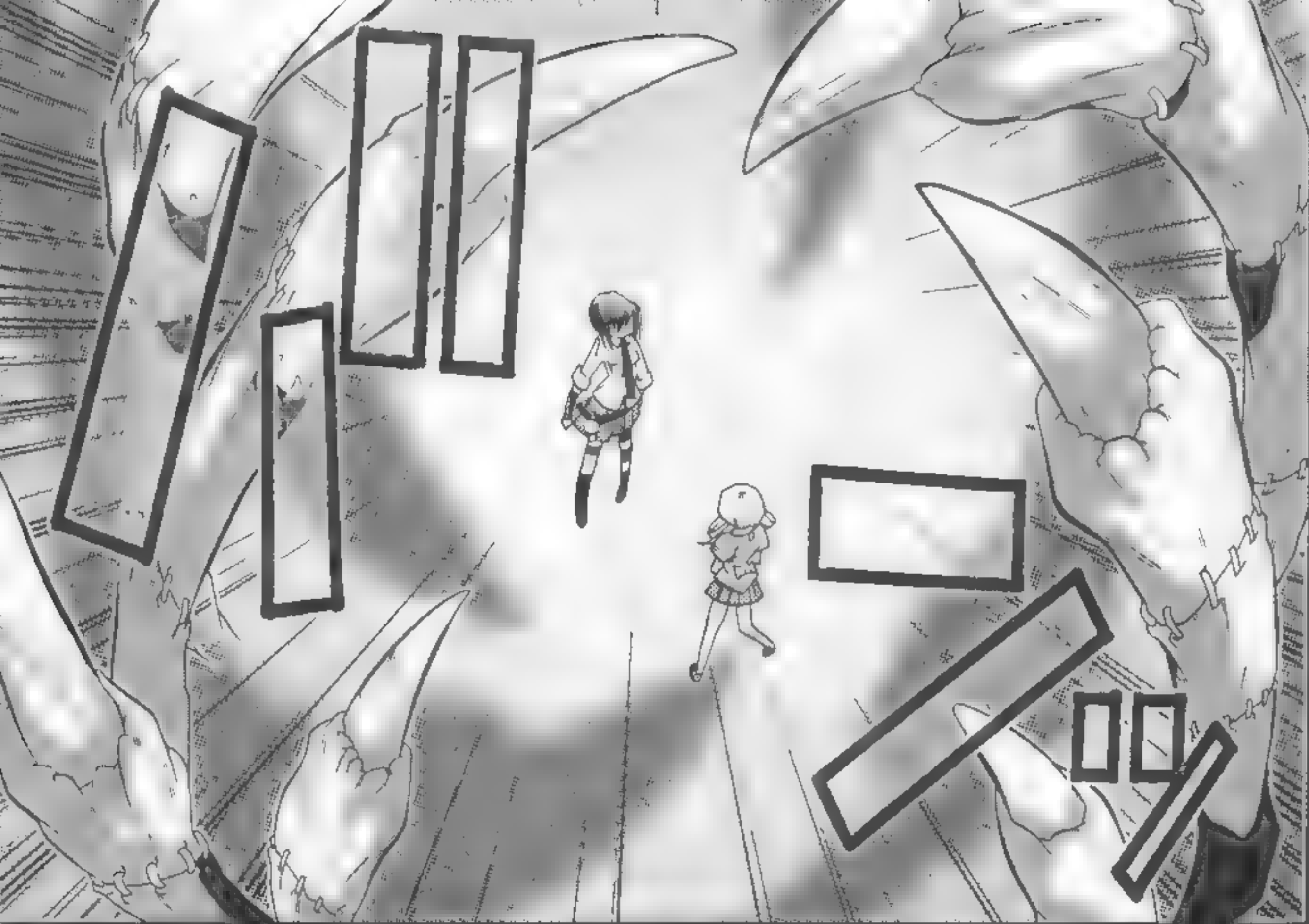
少し
落ち着いて…

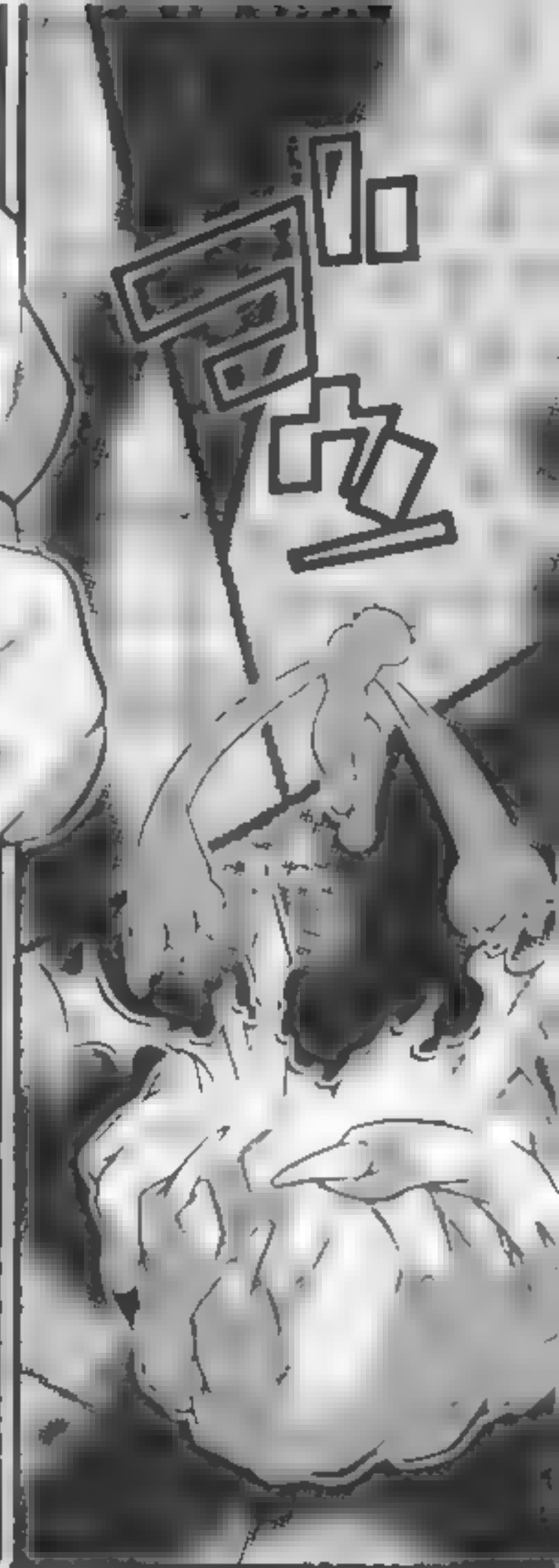
たって

愛は

無限に有限だよ







呉さんはあの中で
まだ生きてるはず

大技は使えないわね

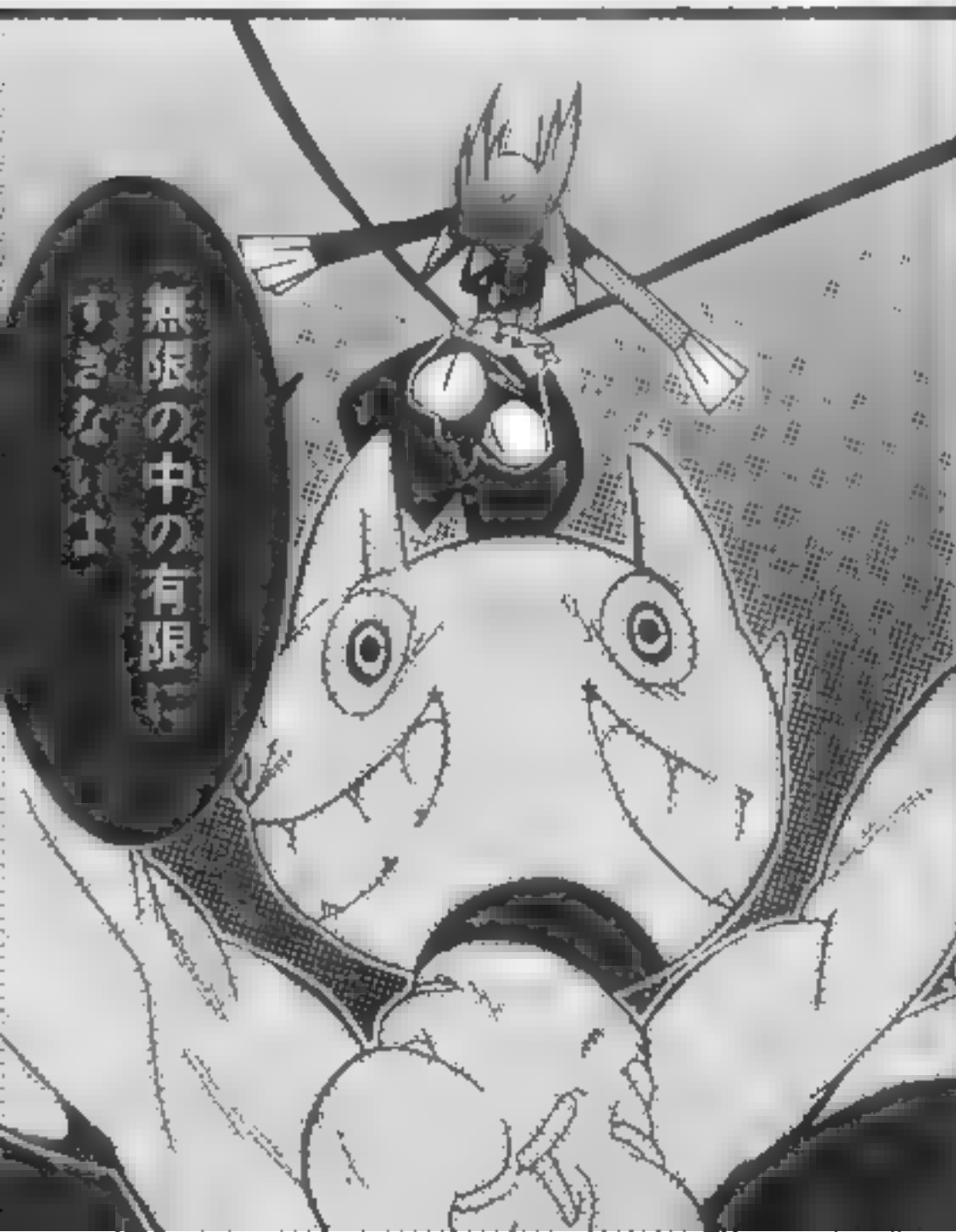
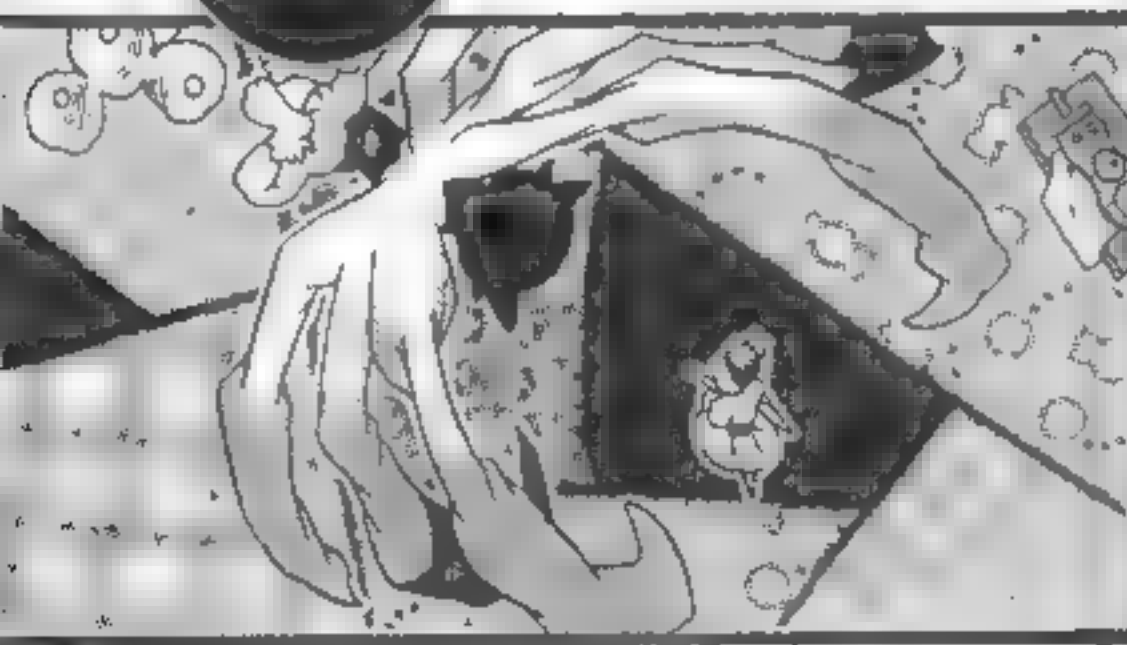
彼女も巻き込んで
しまうわ…



この声！



恩人を故人にするのも



無限の中の有限にすぎないよ



私は彼女に無限に尽くす



いやは



愛は無限に有限なんだ

だから

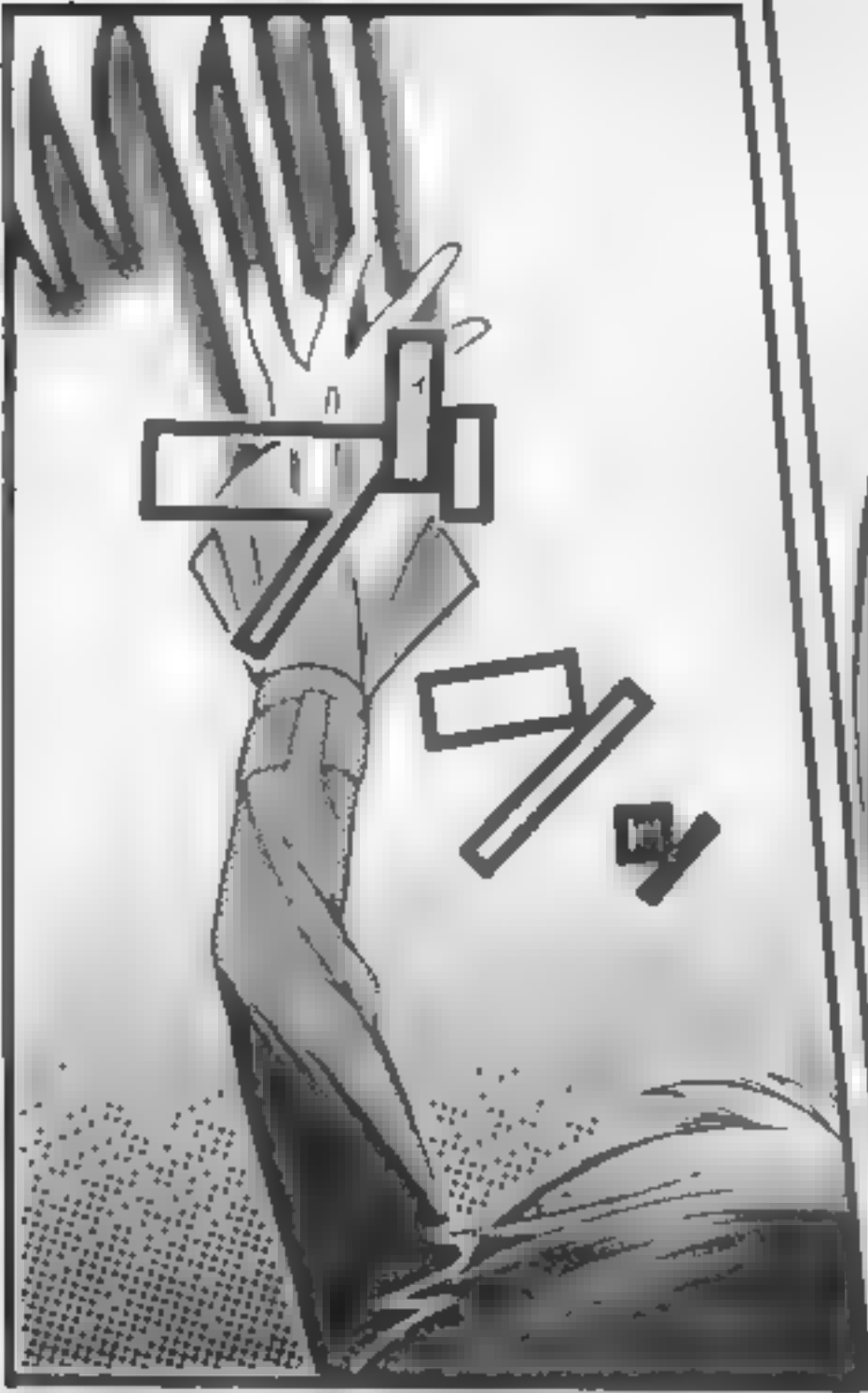


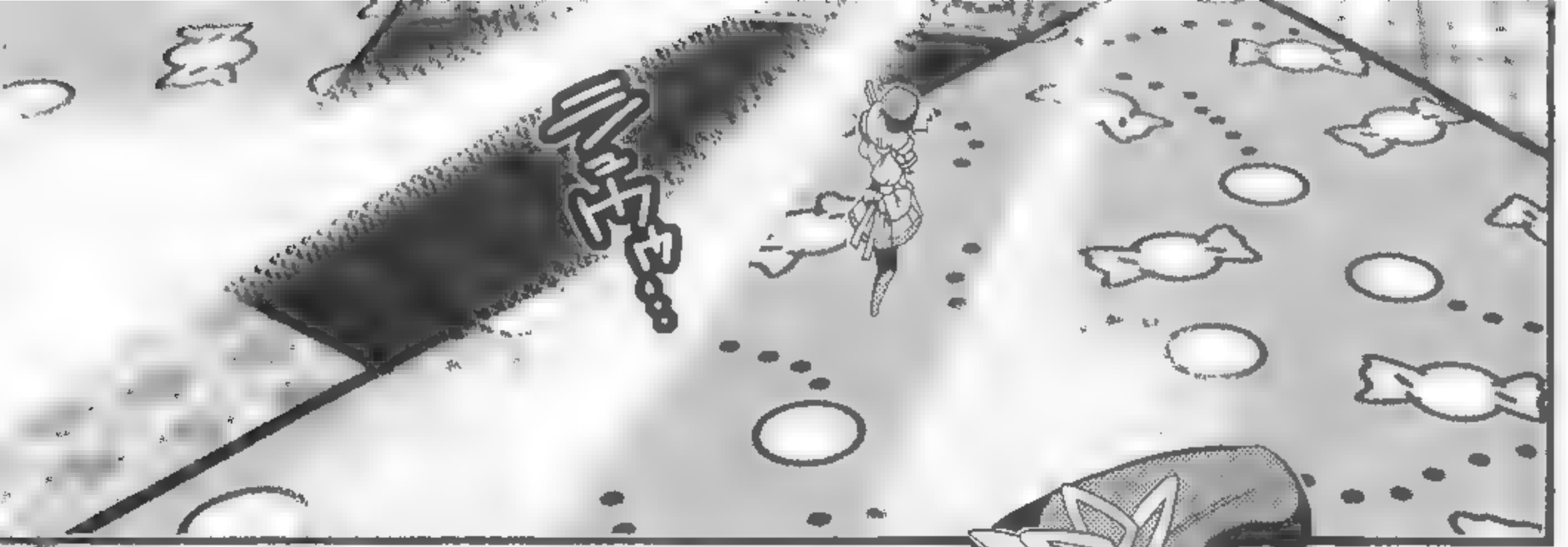


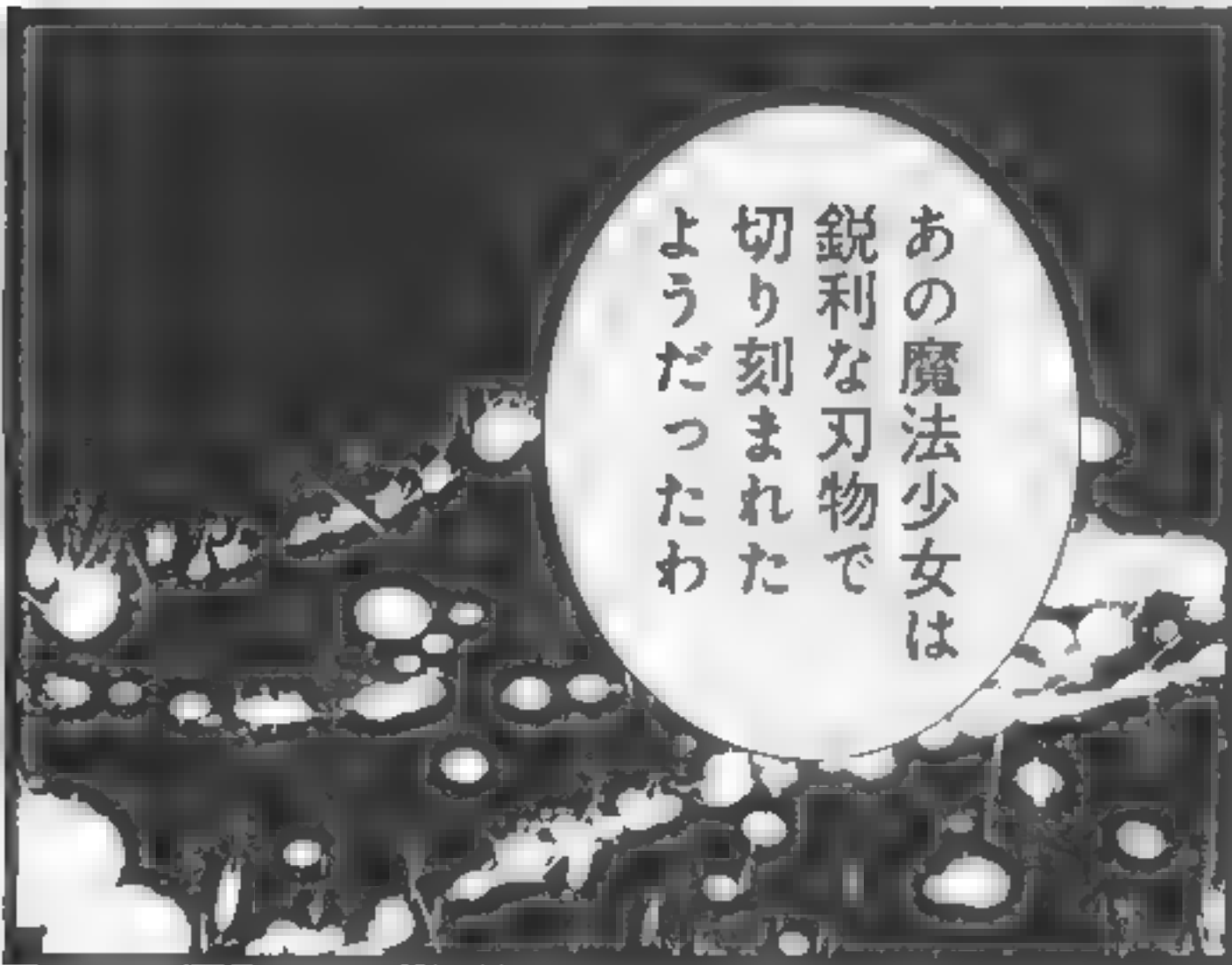
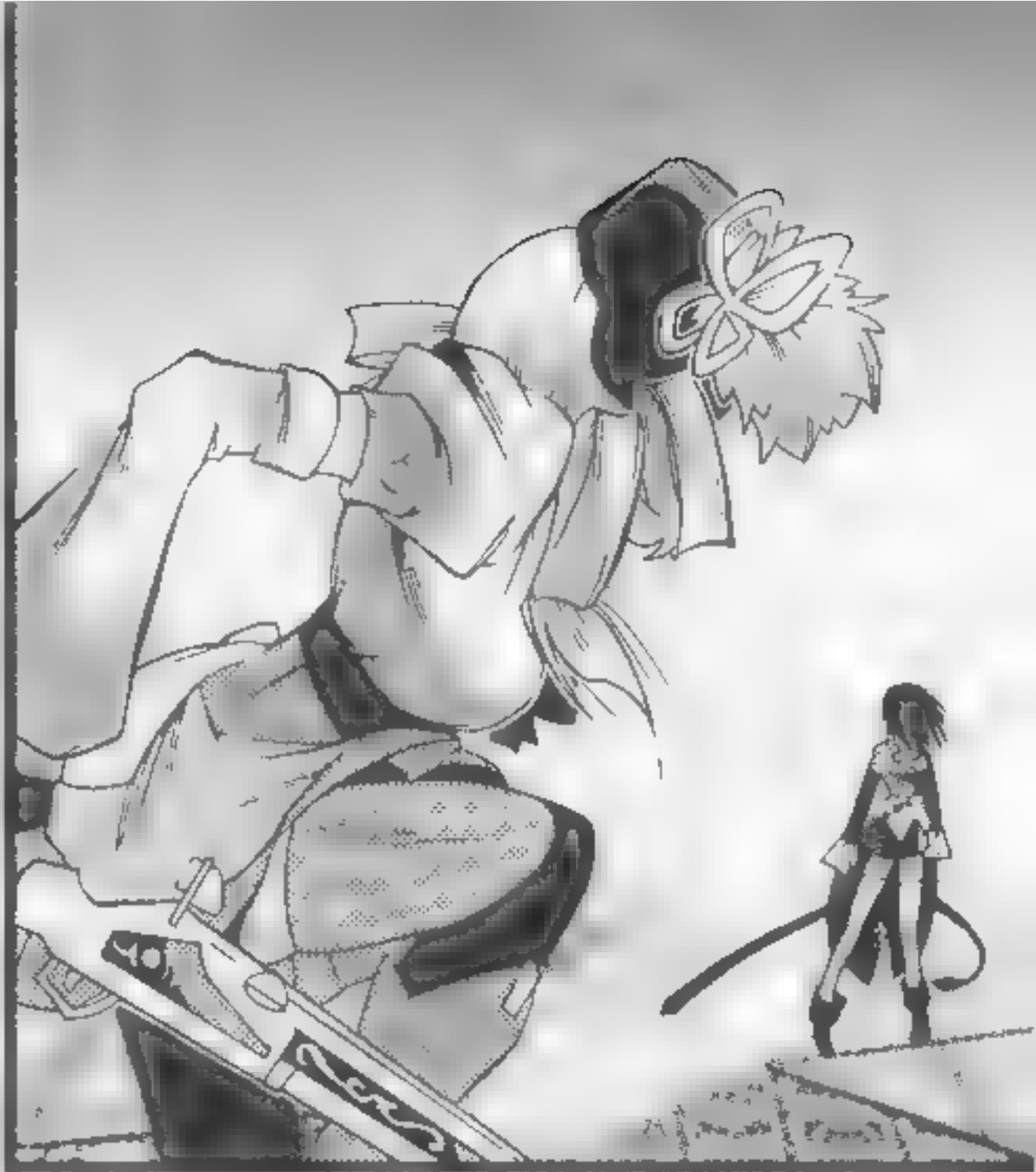
えっ……？

黒い魔法少女……!!?

…

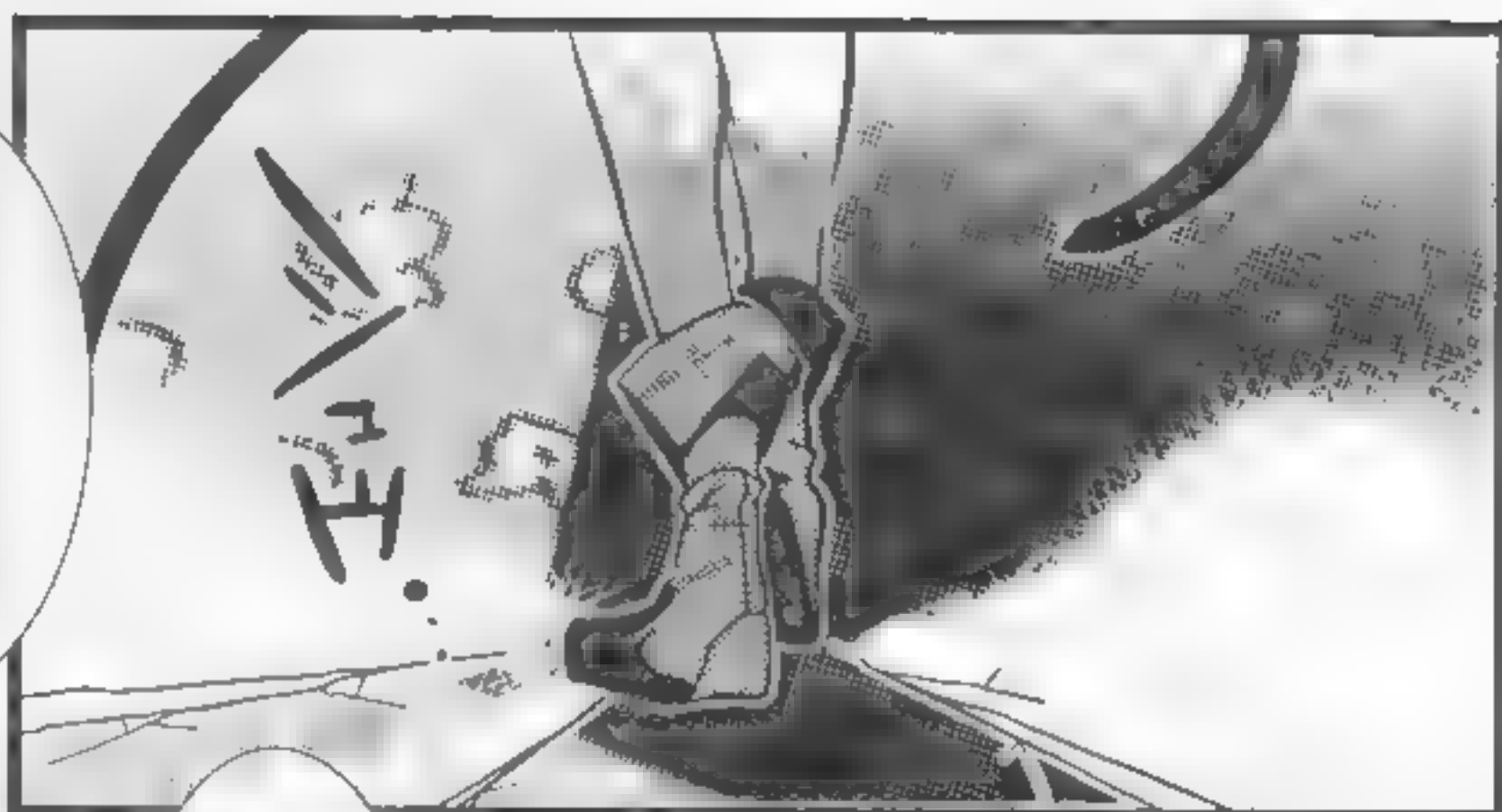




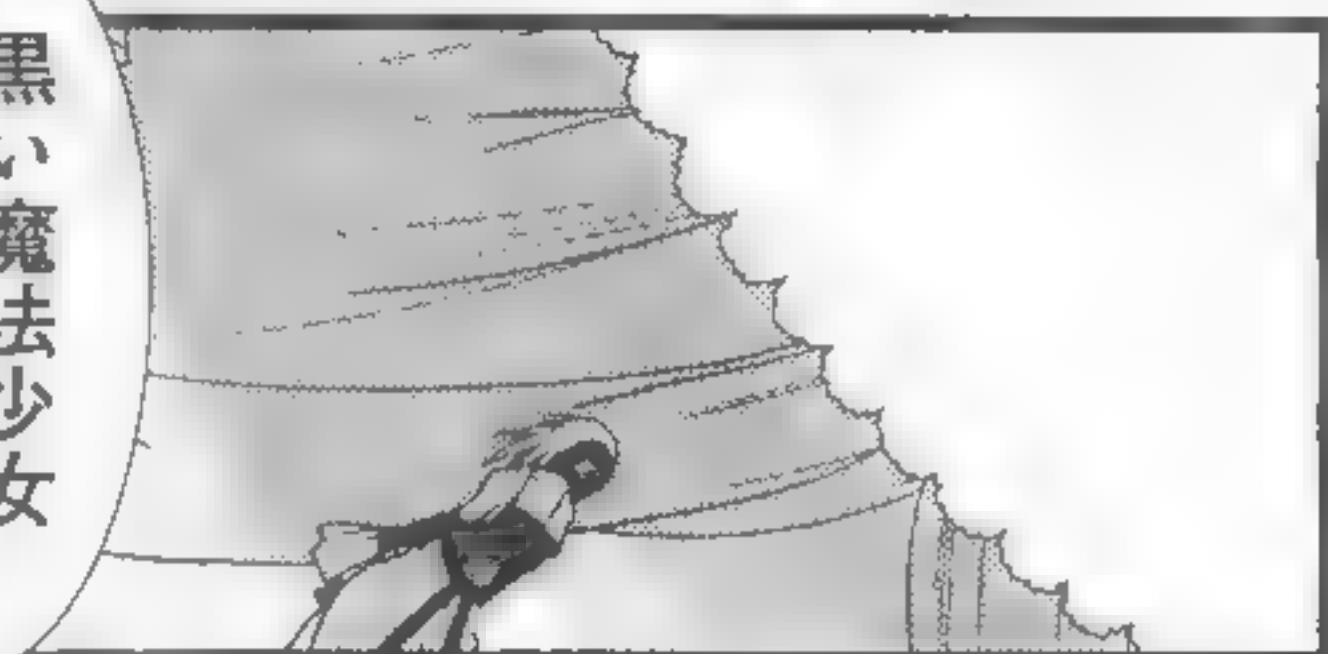




あなたの足元
みたいだね

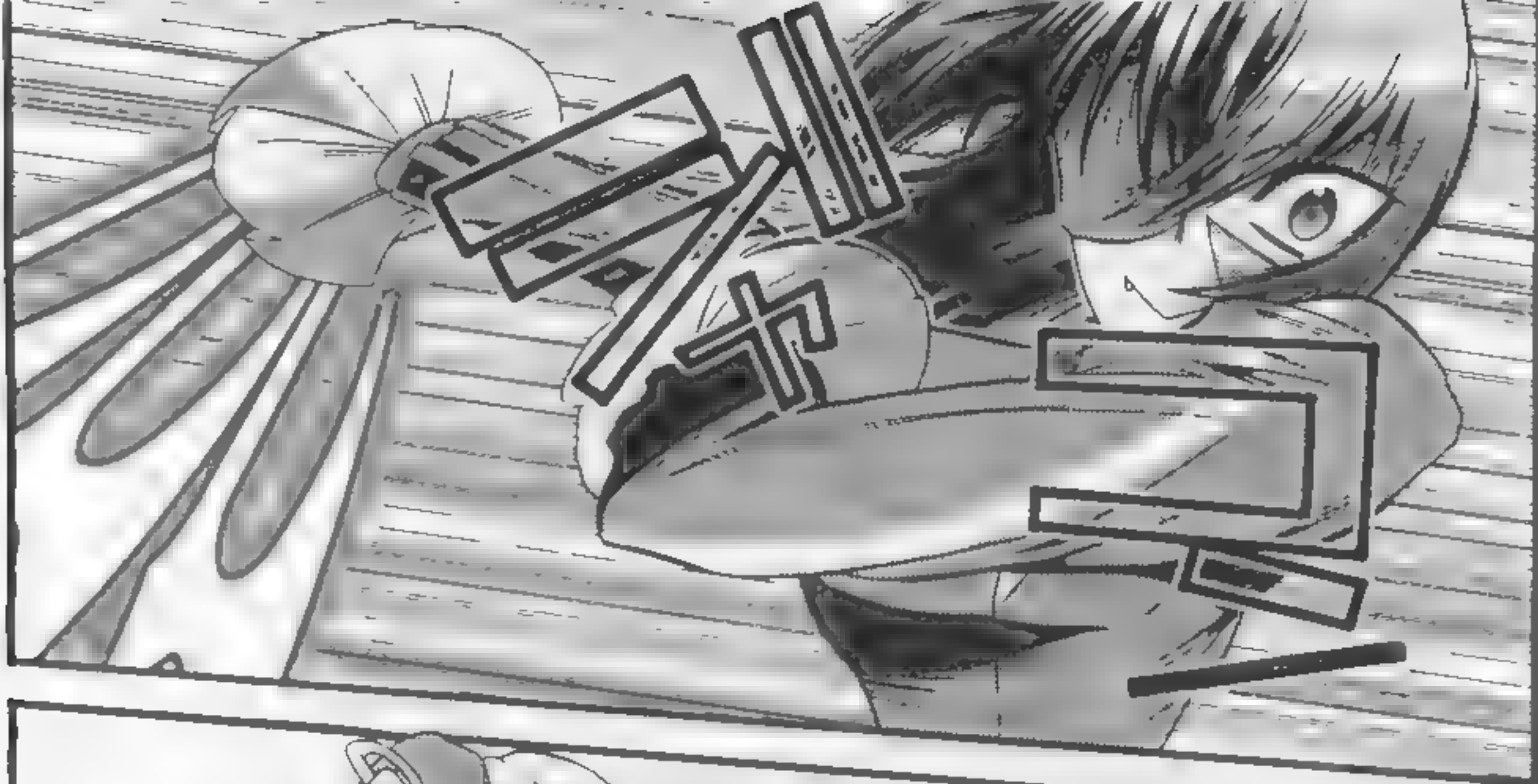


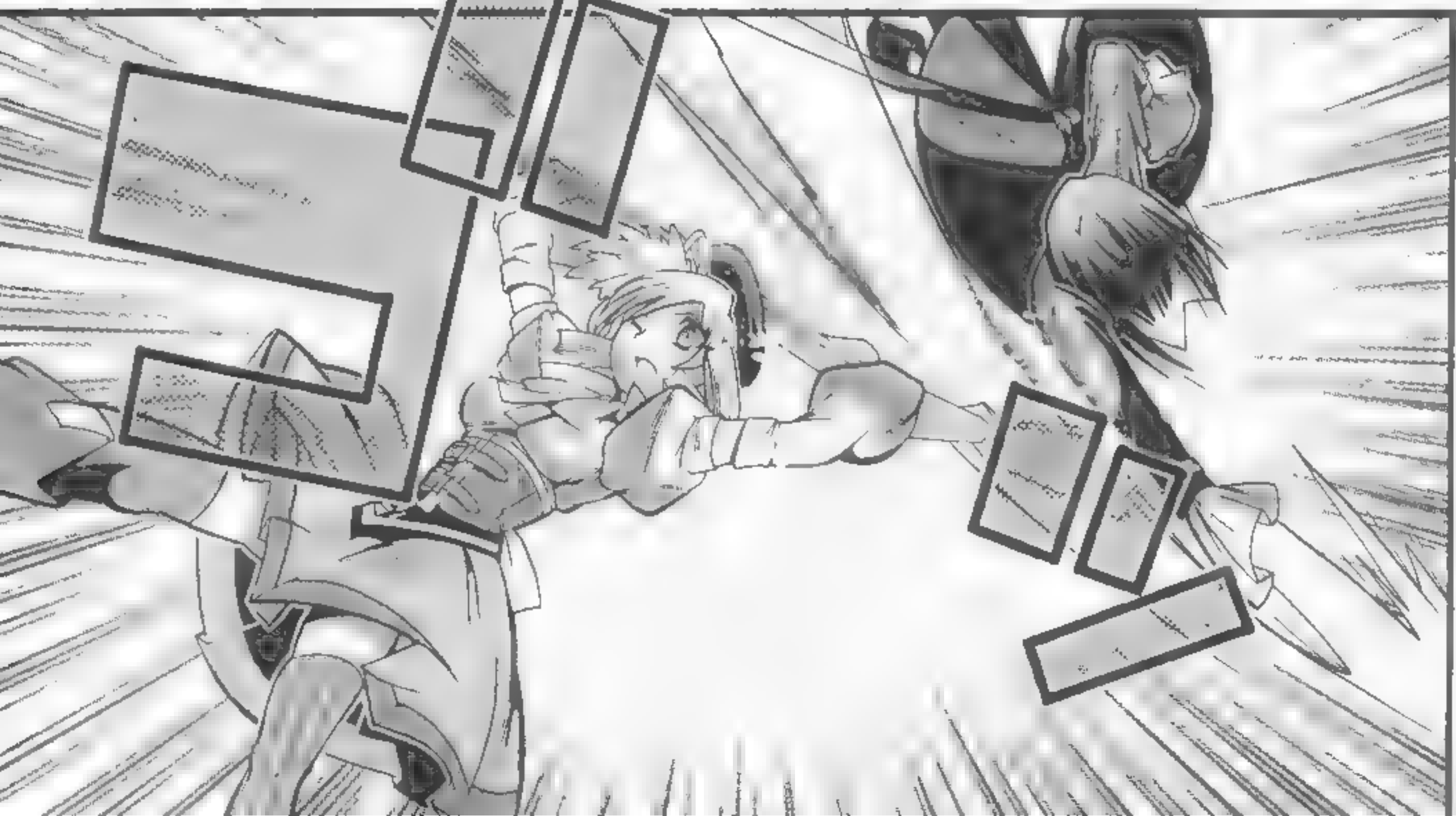
黒い魔法少女
呉キリカ…



あなたが
魔法少女狩りの
犯人ね









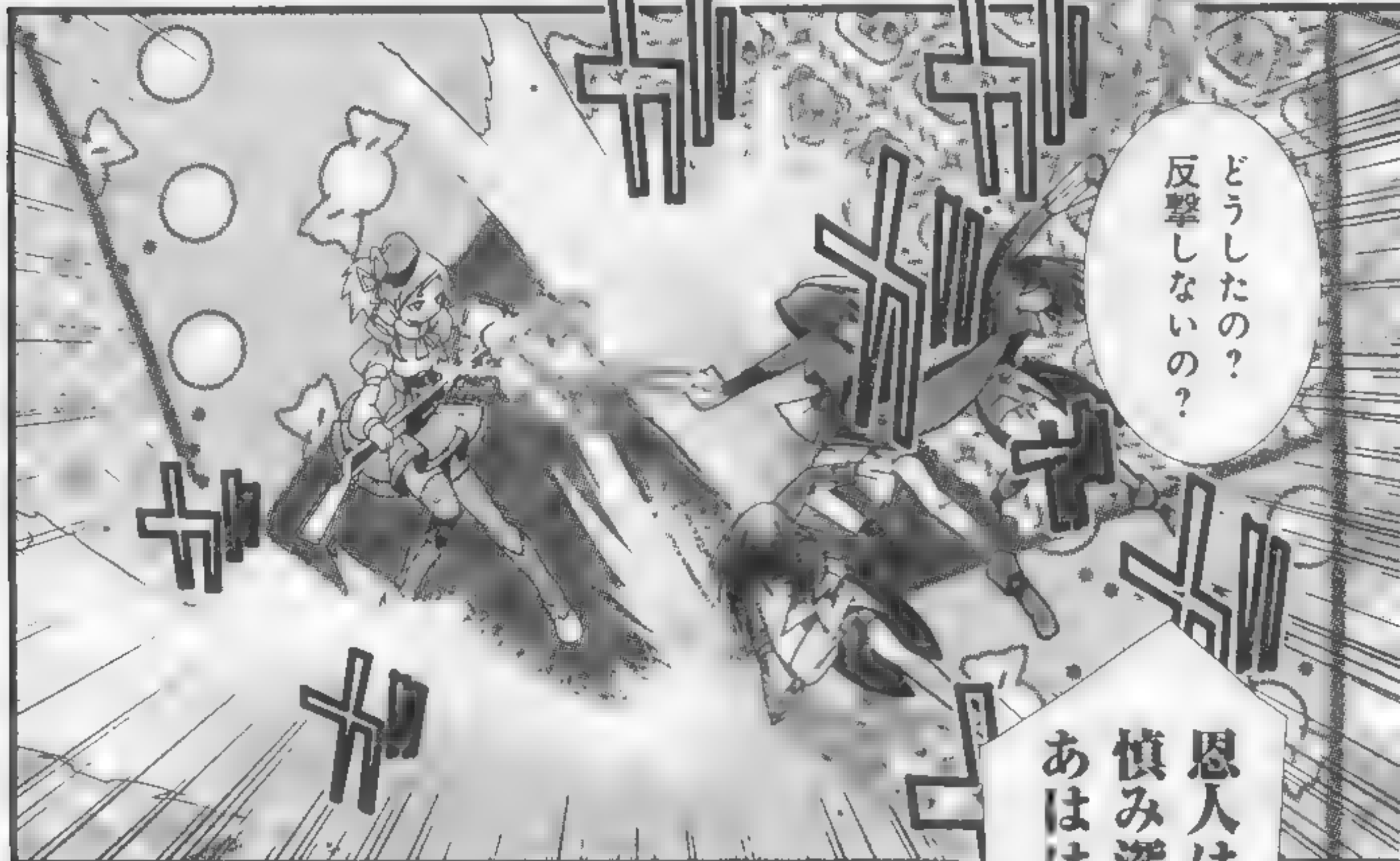
すごいねッ
止めたッ！

でも！

次もあるよ！

次々次次
次っ！！

この子
壊れてる……！



どうしたの？
反撃しないの？

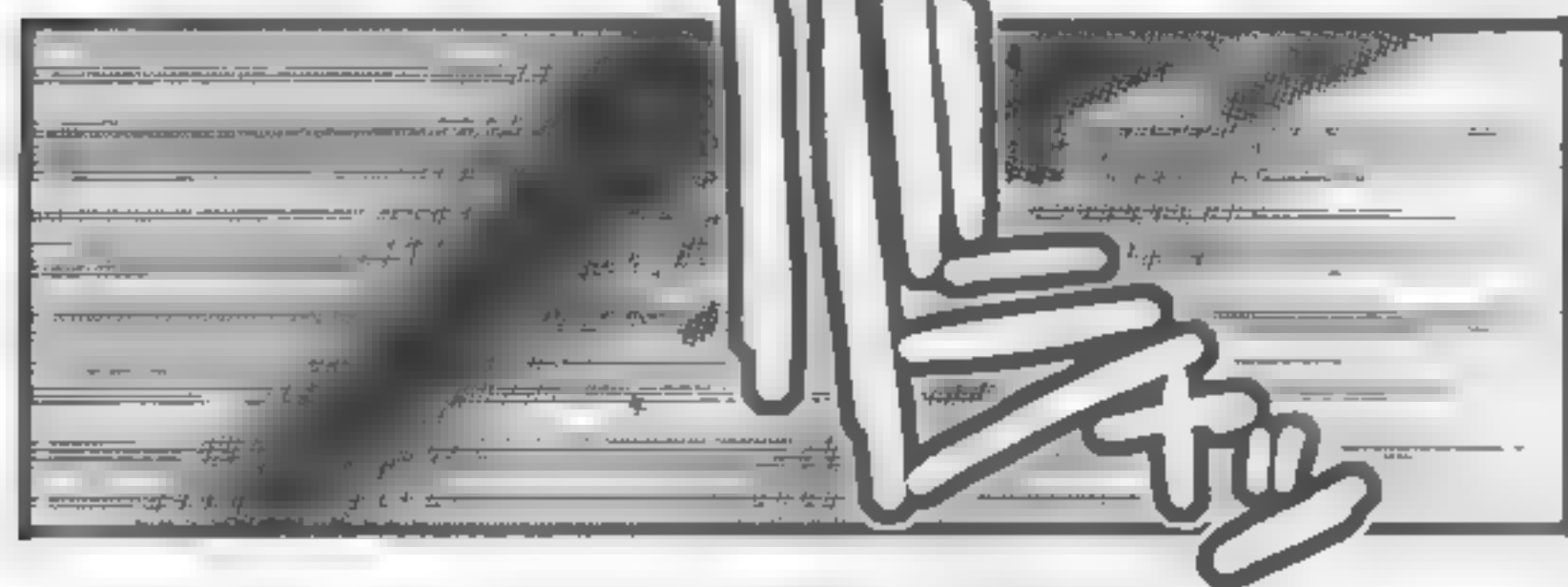
恩人は
恨み深いのかな？
あははははっ！

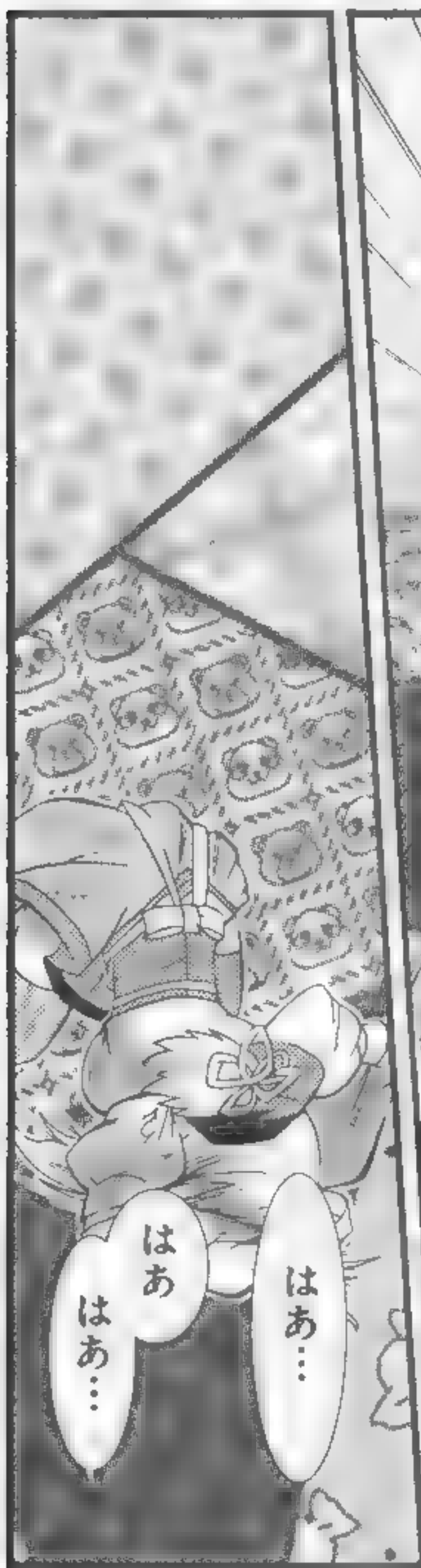
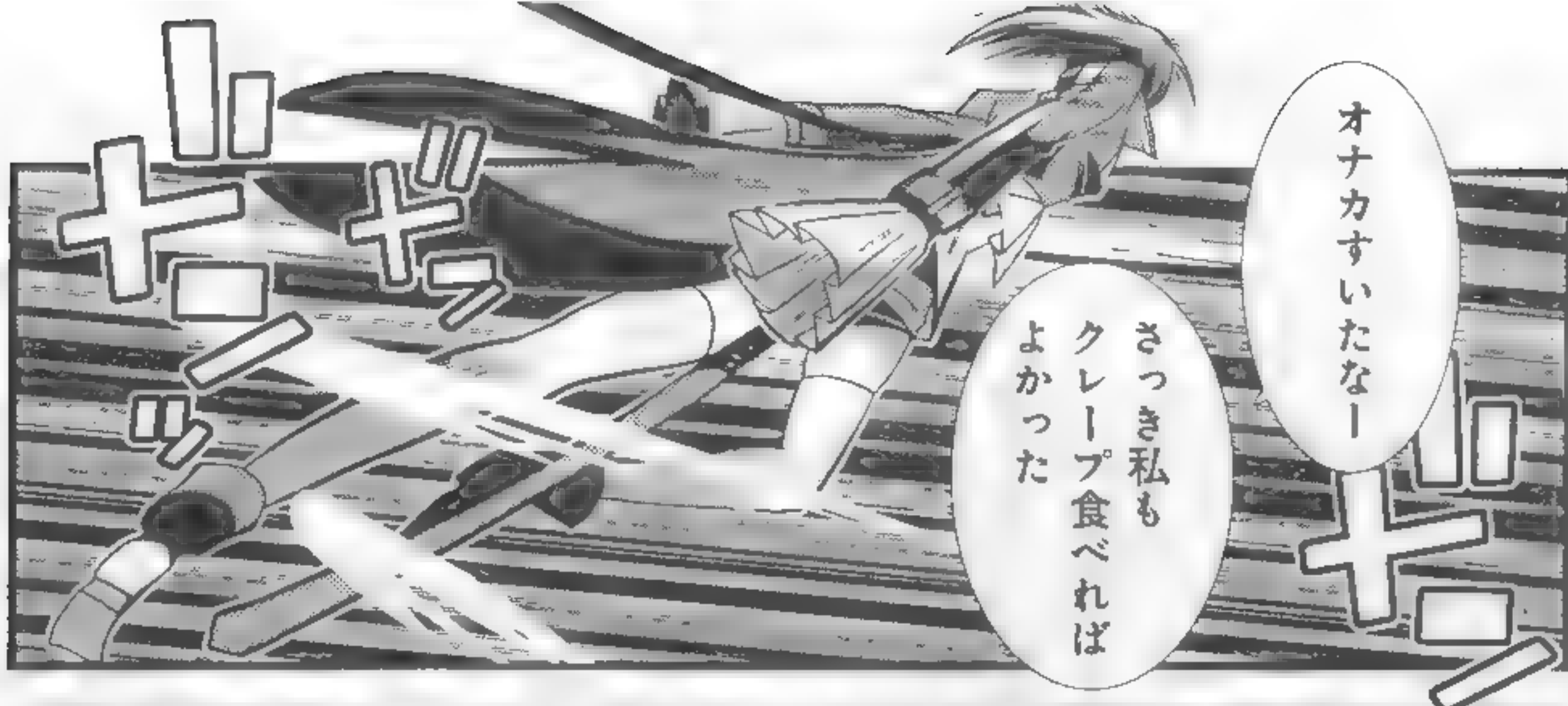


速すぎるー！

構えるひまも
拘束魔法を使うひまも
与えてくれない！

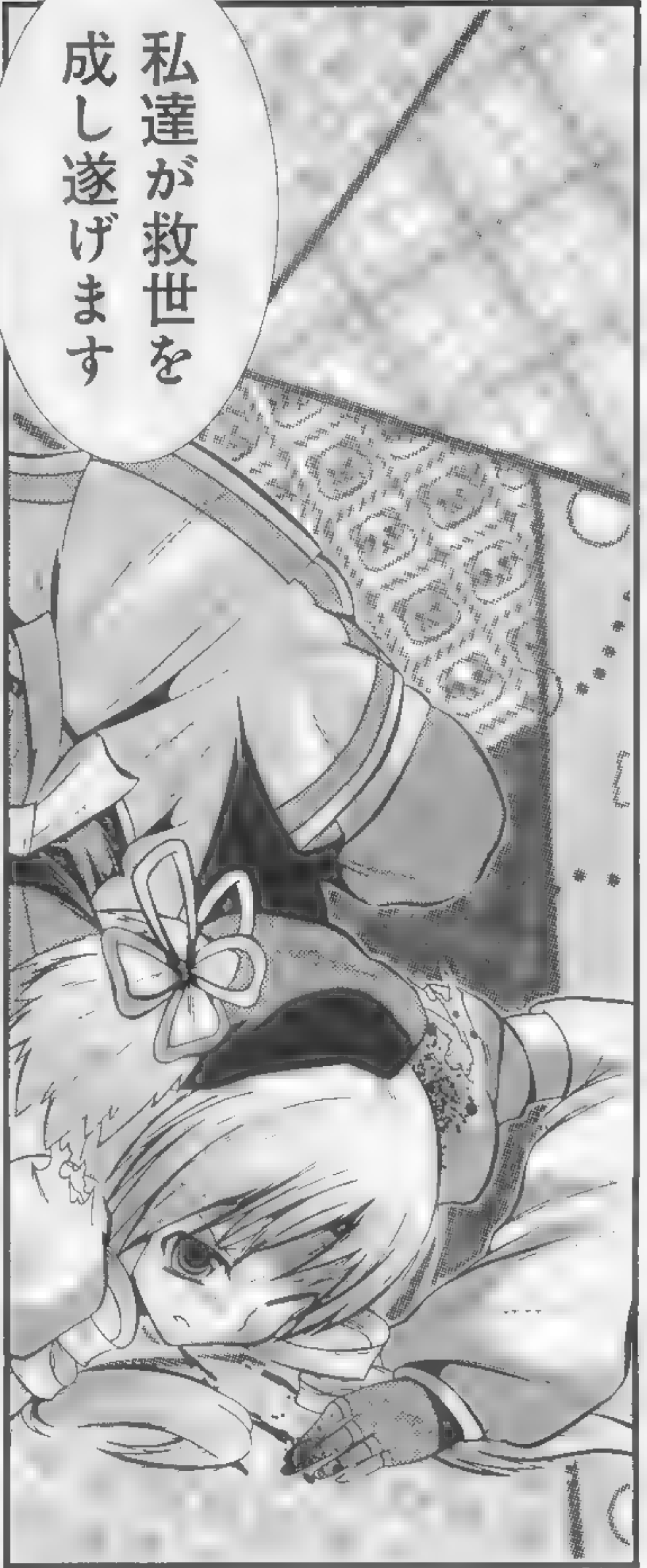








私達が救世を
成し遂げます





設定資料集



千歳 ゆま

初期魔法少女案

私願

決定稿

首のうしろのソウルジェムが
ついてます

ようじょにはねこみみだと思えます

決定稿

ラスボスみたいな主人公
そのせいか初期案には虫を見るような目をする とか
ムチャなことが書いてありました

呉 キリカ

私版

決定稿

初期案

当初は目にハイライトが無かったりクマがあったり
やばそうな子でした...魔法少女？みたいな格好なのは仕様です。

まじよ・すかん

第1話

玩具の魔女

ローザシャーン



第2話

謎の魔女

シズル



第3話
猫の魔女
ステーシー



第3話
鎧の魔女
バージニア





最後まで読んでいただきありがとうございました
また次巻でお会いできれば幸いです

ムラ黒江

本書は原作に基づいて新たに描き下ろした
スピンオフ作品として刊行しております。

KIRARA MENU 516

魔法少女おりこ☆マギカ①

2011年 5月27日 第1刷発行

著者 原案／Magica Quartet
漫画／ムラ黒江

©Magica Quartet/Aniplex・Madoka Partners・MBS

発行者 伊東朋視

発行所 株式会社 芳文社

〒112-8580 東京都文京区後楽1-2-12

電話：03-3815-1521（代表）

振替：00110-8-174056

装丁 染谷洋平（BALCOLONY）

印刷所 凸版印刷株式会社

製本所 株式会社三森製本所

Printed in Japan 2011

※造本には十分注意しておりますが、万一、落丁、乱丁などの不良品がありましたら、ご購入された書店名を明記して「業務部」宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。

但し、古書店でご購入の本はお取り替えできません。

また本書の一部または全部を無断転載・複写（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

ISBN978-4-8322-4016-2